

共謀シ久七カ蛇投ヲ實行シタルモノニシテ公務執行妨害罪トシテ各懲役二ヶ月ニ處セラレ

第四十八回議會 大正十三年一月三十一日ノ本會議ニ於テ濱田國松君ノ思想惡化ニ關スル緊急質

問ニ對シ小松鐵道大臣及清浦内閣總理大臣答辯ヲ爲サムトシ議場騷然タル際三名ノ暴漢相前後

シテ議場ニ闖入シタルニ依リ議長ハ直ニ守衛ニ命シテ犯人ヲ取押ヘ一應取調ノ上警視廳ニ引渡

シタリ(木島福松、島岡伊之助及松原文藏ノ暴漢ハ孰レモ公務執行妨害罪トシテ起訴セラレ目下

東京地方裁判所ニ於テ審理中ナリ)

# 附 錄



衆議院先例彙纂附錄

總目次

|    |                                  |     |
|----|----------------------------------|-----|
| 一  | 開院式勅語及奉答竝之ニ對スル勅語                 | 一   |
| 二  | 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰(附、建議ニ對スル勅語) | 四五  |
| 三  | 皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上                   | 六七  |
| 四  | 外國ニ對スル祝電及表謝其ノ他ノ往復                | 七五  |
| 五  | 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶              | 七九  |
| 六  | 慰問及挨拶(帝國軍隊ニ對スル分ヲ除ク)              | 九九  |
| 七  | 弔詞及通牒                            | 一〇五 |
| 八  | 議長、副議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭               | 一一五 |
| 九  | 辭職願、死亡届、失格ノ通告                    | 一五三 |
| 一〇 | 議員資格ニ關スル報告書竝照會往復                 | 一五六 |

附錄

一



|    |                      |     |
|----|----------------------|-----|
| 一一 | 議決又ハ要求ニ對スル政府ノ覆牒      | 一七六 |
| 一二 | 議案ノ提出、送付、奏上其ノ他ノ様式    | 一七七 |
| 一三 | 開院式閉會式式場圖、議員席次並徽章ノ形狀 | 一九五 |
| 一四 | 參考諸規則                | 二〇五 |
| 一五 | 期日期間其ノ他ノ比較表          | 二一九 |

## 附錄小目次

|     |                                  |    |
|-----|----------------------------------|----|
| 一   | 開院式勅語及奉答並之ニ對スル勅語                 | 一  |
|     | 第一回議會開院式勅語及奉答並之ニ對スル勅語            |    |
|     | 第二回乃至第四十八回議會開院式勅語及奉答             |    |
| 二   | 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰(附、建議ニ對スル勅語) | 四五 |
| (一) | 議會會期延長ノ上奏                        | 四五 |
| (二) | 國事犯特赦ノ上奏                         | 四五 |
| (三) | 內閣不信任ノ上奏及之ニ對スル詔勅並奉答              | 四六 |
| (四) | 條約改正ノ上奏                          | 五一 |
| (五) | 選舉干涉ニ關スル上奏                       | 五三 |
| (六) | 議長星亨不信任ノ上奏並勅問、奉答                 | 五五 |
| (七) | 官紀振肅ノ上奏                          | 五六 |
| (八) | 現內閣ノ行爲ニ對シ本院ノ意思ヲ表明スル上奏並御沙汰        | 五七 |



|      |                        |    |
|------|------------------------|----|
| (九)  | 征清事件ニ關スル上奏             | 五九 |
| (一〇) | 製艦費ニ關スル上奏並勅語           | 六一 |
| (一一) | 償金ノ一部ヲ帝室御料ニ編入ノ建議ニ對スル勅語 | 六二 |
| (一二) | 上奏(日露戰役ニ關スル件)          | 六三 |
| (一三) | 上奏(日露戰爭平和克復祝賀ニ關スル件)    | 六三 |
| (一四) | 憲法發布三十年記念祝賀上奏          | 六四 |
| (一五) | 上奏(世界戰爭平和克復祝賀ニ關スル件)    | 六五 |

三 皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上

|     |                        |    |
|-----|------------------------|----|
| (一) | 皇太子殿下御結婚御成約ニ付賀表及賀牋     | 六七 |
| (二) | 皇太子殿下御結婚ニ付賀表及賀牋        | 六七 |
| (三) | 即位ノ大禮ニ付賀表捧呈ノ決議         | 六八 |
| (四) | 皇太子殿下(裕仁親王)立太子式ニ付賀表    | 六九 |
| (五) | 皇太子殿下(裕仁親王)御成年式ニ付賀表    | 七〇 |
| (六) | 皇太子殿下(裕仁親王)攝政御就任ニ付言上ノ辭 | 七一 |

四 外國ニ對スル祝電及表謝其ノ他ノ往復

|     |                                  |    |
|-----|----------------------------------|----|
| (一) | 土耳其帝國議會ノ開設ニ對スル祝電                 | 七五 |
| (二) | 明治天皇 崩御ノ際列國議會ノ表明セル弔意ニ對シ謝意ヲ表スルノ決議 | 七五 |
| (三) | 聯合軍ノ戰捷ニ對シ各國議員ヨリ祝電ヲ受領ス            | 七六 |
| (四) | 大震災ニ付各國議院ヨリ見舞電報ヲ受領ス              | 七六 |
| (五) | 震災ニ際シ列國ノ同情ニ對シ感謝ノ決議               | 七六 |
| (六) | 講和條約成立ニ關スル通牒及答詞                  | 七七 |

五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶

|     |                    |    |
|-----|--------------------|----|
| (一) | 戰功表彰ニ關スル決議、謝辭、謝電   | 七九 |
| (二) | 軍隊慰問ニ對スル謝電及答電並御下賜品 | 九二 |
| (三) | 凱旋ニ關スル決議           | 九六 |
| (四) | 軍隊後援ニ關スル決議         | 九六 |
| (五) | 「ジヨッフ」元帥歡迎ノ決議      | 九七 |

附錄



六 慰問及挨拶(帝國軍隊ニ對スル分ヲ除ク)

- (一) 伏見宮博恭王殿下御負傷ノ際御見舞書並挨拶
- (二) 北白川宮成久王殿下同妃殿下並朝香宮鳩彦王殿下ノ御奇禍ニ罹ラセラレタル際御見舞電報及御謝電
- (三) 伊藤内閣總理大臣負傷セラレタル際ノ慰問ニ對スル挨拶
- (四) 伊國大震災ノ際慰問並挨拶
- (五) 聯合軍ニ對スル慰問ノ決議
- (六) 佛國首相遭難ノ際慰問並謝電

七 弔詞及通牒

- (一) 皇族及王族ノ薨去
- (二) 外國皇帝ノ崩御及大統領ノ逝去
- (三) 元勳其ノ他ノ薨去
- (四) 議員ノ逝去

八 議長、副議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭

- (一) 議長就職ノ辭
- (二) 副議長就職ノ辭
- (三) 年長議員ノ祝辭
- (四) 議長副議長辭任ノ挨拶並年長議員ノ謝辭
- (五) 前議長、副議長ノ挨拶並年長議員ノ謝辭

九 辭職願、死亡届、失格ノ通告

- (一) 議長及副議長ノ辭職願並奏上
- (二) 議員ノ辭職願
- (三) 死亡届
- (四) 議員資格喪失ニ關スル通告

一〇 議員資格ニ關スル報告書並照會往復



- (一) 議員資格審査ノ報告書 一五七
- (二) 議員資格ニ關スル裁判確定ノ通報方ニ關スル回答 一六六
- (三) 補闕選舉ノ請求ニ關スル照會及回答 一六八
- (四) 當選證書取消ノ際通報方照會及回答 一六九

一一 議決又ハ要求ニ對スル政府ノ覆牒

- (一) 憲法第六十七條ニ依レル修正議決ニ對スル政府ノ覆牒 一七一
- (二) 國務大臣出席ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒 一七二
- (三) 政府委員交換ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒 一七三
- (四) 勾留中ノ議員ニ關スル決議及司法大臣ノ覆牒並通知 一七四

一二 議案ノ提出、送付、奏上其ノ他ノ様式

- (一) 議長副議長候補者奏上ノ形式 一七七
- (二) 政府提出議案提出文ノ形式 一七九
- (三) 議員提出議案及修正案提出文ノ形式 一八〇

- (四) 政府提出議案緊急議決ノ要求、修正、撤回及正誤ノ様式 一八〇
- (五) 議案ノ送付、回付、通知等ノ様式 一八三
- (六) 議案奏上ノ様式 一八八
- (七) 建議、決議、請願送付ノ様式 一八九
- (八) 政府委員出席説明請求ノ様式 一九二
- (九) 議員資格異議申立書送達ノ様式 一九三
- (一〇) 資格審査委員長ニ審査期限通知ノ様式 一九四
- (一一) 資格異議申立議員及被告者議員召喚ノ様式 一九四

一三 開院式閉會式式場圖、議員席次並徽章ノ形狀

- (一) 開院式及閉會式式場圖(議長、副議長、議員、書記官長及書記官ノ席次) 一九五
- (二) 議員ノ議席 一九八
- (三) 議員及事務局員其ノ他ノ徽章 二〇一

一四 參考諸規則

二〇五



|     |                          |     |
|-----|--------------------------|-----|
| (一) | 衆議院規則中改正                 | 二〇五 |
| (二) | 法律ノ制定ニ關スル請願取扱規則          | 二〇七 |
| (三) | 投票ニ關スル規則                 | 二〇八 |
| (四) | 質問ニ關スル規程                 | 二〇八 |
| (五) | 兩院協議會規程                  | 二〇九 |
| (六) | 列國議會同盟日本議員團規約 附 列國議會同盟規則 | 二一〇 |

一五 期日期間其ノ他ノ比較表

|     |                          |     |
|-----|--------------------------|-----|
| (一) | 各會期ニ於ケル召集令ト召集期日及期間比較表    | 二一九 |
| (二) | 解散ヨリ次ノ議會召集日迄ノ期日表         | 二二三 |
| (三) | 議院成立ヨリ開院式迄ノ期間比較表         | 二二四 |
| (四) | 議長及副議長候補者選舉及奏上ト勅任迄ノ期間比較表 | 二二八 |
| (五) | 本會議開會日數比較表               | 二三〇 |
| (六) | 開院式日ト豫算案提出ノ期間比較表         | 二三三 |
| (七) | 年末年始休會表                  | 二三七 |

|      |                    |     |
|------|--------------------|-----|
| (八)  | 兩院年末年始休會比較表        | 二三九 |
| (九)  | 會期終了ト閉會式迄ノ期間比較表    | 二四二 |
| (一〇) | 會期終了日ニ於ケル兩院散會時間比較表 | 二四六 |
| (一一) | 特別委員ノ選舉方法一覽        | 二四八 |
| (一二) | 兩院協議委員選舉方法一覽       | 二五二 |
| (一三) | 議長指名一覽表            | 二五四 |
| (一四) | 特別委員ノ員數一覽表         | 二五八 |



一 開院式勅語及奉答竝之ニ對スル勅語

第一回議會開院式勅語 (明治二十三年十一月二十九日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕即位以來二十年間ノ經始スル所内治諸般ノ制度粗、其ノ綱領ヲ舉ケタリ庶幾クハ皇祖皇宗ノ遺德ニ倚リ卿等ト俱ニ前ヲ繼キ後ヲ啓キ憲法ノ美果ヲ收メ以テ將來ニ益、我カ帝國ノ光烈ト我カ臣民ノ忠良ニシテ勇進ナル氣性トヲシテ中外ニ表明ナラシムルコトヲ得ム

朕又夙ニ各國ト盟好ヲ修メ通商ヲ廣メ國勢ヲ振張セムコトヲ期ス幸ニ締約諸國ノ交際ハ益、親厚ヲ加ヘタリ

陸海ノ軍備ハ内外ノ平和ヲ保全スル爲ニ歲ヲ積ミテ完實ヲ期セサルヘカラス

明治二十四年度ノ豫算及各般法律案ハ朕之ヲ國務大臣ニ命シテ議會ノ議ニ付セシム朕ハ卿等カ公平慎重以テ審議協贊スル所アルコトヲ期シ併セテ將來ニ繼クヘキノ模範ヲ貽サムコトヲ望ム



右勅語ニ對スル奉答 (明治二十三年十一月二十九日議決)

恭シク惟ニ我

天皇陛下帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル聖詔ヲ賜ヘリ臣等感喜ノ至リニ堪ハス臣等此ヨリ心力ヲ盡シテ協贊ノ責ヲ全シ以テ

陛下ノ信任ニ對ヘ以テ國民ノ委託ニ酬ントス茲ニ謹テ奉答ス

右奉答ニ對スル勅語 (明治二十三年十二月一日)

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

(備考)

每會期之ヲ賜フヲ例トス故ニ以下之ヲ略ス

第二回議會開院式勅語 (明治二十四年十一月二十六日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ帝國議會第二期開會ノ式ヲ舉ク

明治二十五年度ノ豫算及各般ノ法律案ハ國務大臣ニ命シテ之ヲ議會ノ議ニ付セシム朕既ニ我カ帝國ノ光輝アル憲法上ノ進行ヲ誤ラサルコトヲ嘉シ更ニ卿等カ帝國ノ隆昌ト人民ノ幸福トヲ以テ目的トシ和衷協同シテ益、其ノ公務ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十四年十一月二十六日議決)

臣衆議院議員等恭ク

天皇陛下ニ上奏ス

車駕親臨シテ帝國議會第二期開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至リニ堪ヘス臣等 聖旨ヲ奉體シ益、心力ヲ盡シテ以テ協贊ノ責ヲ全シ以テ國民ノ委託ニ酬ントス謹テ奉答ス

第二回(特別)議會開院式勅語 (明治二十五年五月六日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ開院ノ式ヲ行フ

明治二十五年度ノ歳出歳入ハ既ニ前年度ノ豫算ニ依ラシメタリ仍國務大臣ニ命シテ緊急ナル追加豫算ヲ以テ議會ノ議ニ付セシメ並ニ必要ナル法律案ヲ提出セシム



惟フニ各般進張ノ事業ハ實ニ國家ノ隆運ト關係ヲ相爲ス朕ハ卿等カ慎重討議シ以テ協贊ノ任ヲ完クセムコトヲ望ム

四

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十五年五月六日議決)

臣衆議院議員等恭ク

天皇陛下ニ上奏ス

車駕親臨シテ帝國議會開會ノ成典ヲ舉ケ臣等ニ賜フニ  
天顏ニ咫尺シ優渥ナル 聖詔ヲ拜スルノ榮ヲ以テセラル臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス臣等 聖旨ヲ奉體シ慎重討議協贊ノ任ヲ完シ以テ  
陛下ノ隆恩ニ對ヘ以テ國民ノ委託ニ酬ントス謹テ奏ス

第四回議會開院式勅語 (明治二十五年十一月二十九日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ開院ノ式ヲ行フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治二十六年度ノ豫算及必要ナル法律案ヲ議會ニ提出セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シテ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十五年十一月二十九日議決)

臣衆議院議員等恭ク

天皇陛下ニ上奏ス

車駕親臨シテ帝國議會開會ノ盛典ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至ニ勝ヘス臣等 聖旨ヲ奉體シ國家ノ要務ヲ慎重討議シ協贊ノ責ヲ完シ以テ  
陛下ノ隆恩ニ對ヘ以テ國民ノ委託ニ酬ントス謹テ奏ス

第五回議會開院式勅語 (明治二十六年十一月二十八日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ帝國議會開院ノ式ヲ行フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ行政諸般ノ整理ヲ經テ調製シタル明治二十七年度ノ豫算及必要ナル法律案ヲ提出セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シテ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム



右勅語ニ對スル奉答 (明治二十六年十一月二十八日議決)

恭ク惟ニ

第五回帝國議會開會ノ日ニ當リ

車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ益々心力ヲ盡シテ國家ノ要務ヲ填重審議シ協贊ノ責ヲ完シ以テ 陛下ノ隆恩ニ對ヘ國民ノ委託ニ酬ントス衆議院議長 臣星亨誠恐誠惶謹テ奏ス

第六回(特別)議會開院式勅語 (明治二十七年五月十五日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ開會ノ式ヲ行フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ急要ナル追加豫算及法律案ヲ提出セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シ審議ヲ盡シ協贊ノ任ヲ致サンコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十七年五月十五日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨第六回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ益々心力ヲ盡シテ國家ノ要務ヲ慎重審議シ協贊ノ責ヲ完シ以テ 陛下ノ隆恩ニ對ヘ國民ノ委託ニ酬ントス衆議院議長 臣楠木正隆誠恐誠惶謹テ奏ス

第七回(臨時)議會開院式勅語 (明治二十七年十月十八日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ臨時帝國議會ヲ召集シ特ニ國務大臣ニ命シテ刻下ノ急要ナル陸海軍費ニ關スル議案ヲ提出セシム

朕ハ清國カ帝國ト共ニ東洋ノ和平ヲ保持スルノ任ヲ忘レ遂ニ今日ノ事局ヲ見ルニ至リタルヲ憾トス然レトモ釁端既ニ開ク交戦ノ目的ヲ達セスムハ以テ止ムヘカラス朕ハ帝國ノ臣民カ 致和協朕カ事ヲ獎順シ全局ノ大捷ヲ以テ早く東洋ノ和平ヲ回復シ以テ國光ヲ宣揚セムコトヲ望ム各員其レ旃ヲ勗メヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十七年十月十八日議決)



本院ノ決議ヲ具シ謹テ奏ス恭ク惟ニ  
天皇陛下聖明神武 列聖ノ遺烈ヲ承ケ中興ノ偉業ヲ啓セ給フ比年清國兇暴ニシテ鄰邦ノ交誼ヲ  
破リ東洋ノ平和ヲ紊ル

陛下赫怒爰ニ六師ヲ出シ親ラ大譟ヲ進メ帝國議會ヲ大本營ノ下ニ召集シ車駕親臨シ開會ノ式ヲ  
舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激恐懼ノ至ニ堪ヘス  
今ヤ軍備ノ整理擴張ハ實ニ我帝國ノ最大急務タリ 聖詔ニ示シ給フ陸海軍備ハ臣等審議シテ協  
贊ノ責ヲ完ウセム臣等奮テ全局ノ大捷ヲ以テ早ク東洋ノ平和ヲ回復シ國光ヲ宣揚シ交戰ノ目的  
ヲ達セスムハ止マサルヲ期シ以テ 聖旨ヲ奉體セムコトヲ誓フ臣楠本正隆誠惶誠恐謹テ奏ス

### 第八回議會開院式勅語 (明治二十七年十二月二十四日)

朕茲ニ帝國議會ノ開院式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
朕ハ國務大臣ヲシテ明治二十八年度ノ豫算及其ノ他ノ必要ナル議案ヲ提出セシム  
朕カ外征ノ師ハ每戰捷ヲ奏シ漸次敵地ニ進入ス今ヤ嚴冬ニ際ス互塞ヲ冒シ艱苦ヲ嘗メ益々其ノ  
勇武ヲ著ハセリ

中立列國ノ交際ハ益々親睦ヲ敦クシ朕カ宿望タル條約改正ノ業既ニ成績ヲ告クルモノノ外仍ホ  
協商ニ在ルモノ亦均シク其ノ歩ヲ進ム  
朕ハ此ノ光輝アル進運ニ膺リ國度ノ文明ヲ躋シ祖宗ノ遺烈ニ賴リ有終ノ美ヲ濟サムコトヲ欲ス  
卿等其レ能ク中外ノ大勢ヲ察シ上下和協ノ實ヲ舉ケ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

### 右勅語ニ對スル奉答 (明治二十七年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ  
陛下爰ニ第八回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス今ヤ皇  
師百艱ヲ排シテ遠ク敵地ニ入り連戰捷ヲ奏ス而シテ列國ノ交際益々親睦ヲ致シ將ニ大ニ其ノ面目  
ヲ改メムトス 陛下ノ聖武ニ賴ルニ非サレハ安ソ能ク帝國ノ威信ヲ宣揚スル此ノ如クナルヲ得  
ムヤ臣等幸ニ此ノ隆運ニ際ス謹テ協贊ノ責ヲ完ウシ以テ  
陛下ノ聖旨ニ奉對セム衆議院議長 臣楠本正隆誠惶誠恐謹テ奏ス

### 第九回議會開院式勅語 (明治二十八年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開會ノ式ヲ行ナヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク



十  
朕ハ文武臣僚及各員ノ協翼ト民庶ノ戮力トニ依リ光榮ヲ以テ干戈ヲ戢ムルコトヲ得タルヲ喜フ  
今ヤ内ハ臺灣平定ニ歸シ外ハ到國ト交誼ノ厚キヲ加フ向後ノ急務ハ專ラ平和ヲ保持シテ國運ノ  
伸張ヲ求ムルニ在リ朕乃チ國務大臣ニ命シテ殖産交通及教育等ニ關シテ國家ノ發達ニ必要トス  
ル諸般ノ計畫ヲ盡サシメ明治二十九年年度豫算及諸法律案トシテ之ヲ提出セシム  
國防ハ曾テ漸ヲ以テ完實ヲ期セリ今交戰ノ爲メ缺損セルモノヲ補充シ竝ニ自衛ニ必要ナル設備  
ヲナサムトシ朕カ臣僚ヲシテ贊畫ノ任ニ當ラシメ必要ノ支出ニ付テ議會ノ協贊ヲ待タシム而シ  
テ其ノ止ムヲ得サル國費ノ増加ハ朕カ忠良ナル臣民ノ進テ之ヲ負擔スルニ躊躇セサルヲ信ス  
帝國ハ列聖ノ遺烈ト臣民ノ忠勇トニ依リ既ニ長足ノ進歩ヲ見タルモ仍ホ大成ヲ前途ニ期スルモ  
ノアリ各員能ク和衷協贊ノ任務ヲ罄シ朕カ望ニ副ハムコトヲ力メヨ

### 右勅語ニ對スル奉答 (明治二十八年十二月二十八日議決)

恭ク惟ニ

陛下爰ニ親臨シテ第九回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘ  
ス今ヤ對清ノ戰役全局ノ大捷ヲ奏シ以テ國光ヲ中外ニ發揚ス  
陛下ノ威稜ニ頼ルニ非サレハ焉ソ能ク此ノ如クナルヲ得ムヤ願フニ國運ノ伸張ニ伴ヒ諸般ノ政

務更ニ大ニ規畫スヘキモノアルヲ信ス

陛下聖明天縱國家ノ要務ヲ舉ケテ 臣等ニ諭シタマフ 臣等慎重討議以テ協贊ノ任ヲ盡シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムトス衆議院議長 臣楠本正隆誠惶誠恐謹テ奏ス

### 第十回議會開院式勅語 (明治二十九年十二月二十五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟列國トノ交際ハ和親益ニ厚キヲ加ヘ條約改正ノ業亦將ニ其ノ效ヲ告ケムトス國防ハ  
平和ニ保障ナリ國家經濟ノ整理ト相待テ漸次完實セシムコトヲ期ス

臺灣ニ於ケル人民ノ撫育ハ朕カ深く軫念スル所ナリ將來益々秩序ヲ整頓シ福祉ヲ増進セムコト  
ヲ要ス

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治三十年年度豫算及必要ナル各般ノ法律案ヲ提出セシム卿等國家ノ要務  
ニ對シテ和衷協贊ノ任ヲ盡シ朕カ望ニ副ハムコトヲ力メヨ

### 右勅語ニ對スル奉答 (明治二十九年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ



車駕親臨シテ第十回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス 陛下天縱文武既ニ威徳ヲ八紘ニ震耀シ仁恩ヲ四表ニ光被ス 茲ニ方今中外ノ要務ヲ舉ケテ 臣等ニ諭シタマフ 臣等謹テ 神衷聖謨ヲ奉體シ慎重以テ職ニ從ヒ 審議協贊ノ任ヲ完ウシ上 陛下ノ聖明ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス 衆議院議長 臣嶋山和夫 誠恐誠惶謹テ奏ス

第十一回議會開院式勅語 (明治三十年十二月二十四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 締盟諸國ノ交際ハ益親密ニシテ條約ノ改正完結ヲ告ケムトスルハ朕ノ喜フ所ナリ、 明治三十一年度豫算ニ於テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲ニ國務大臣ニ命シ租稅增加ノ經畫ヲ定メシメ法典ノ修正案及國運ノ振張行政ノ發達ニ必要ナル諸法律案ト共ニ之ヲ議會ニ提出セシム 朕ハ卿等カ和衷審議シ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十年十二月二十四日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ第十一回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス

臣等慎重審議以テ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス 衆議院議長 臣嶋山和夫 誠恐誠惶謹テ奏ス

第十二回(特別)議會開院式勅語 (明治三十一年五月十九日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 維新開國ノ國是ニ基ケル條約改正ノ業ハ今ヤ其ノ實施ヲ見ル將サニ近キニアラムトス 朕ハ忠良ナル臣民ノ上下一致之ヲ遂行スルニ勗メ以テ益國光ヲ發揚セムコトヲ望ム 法典ハ曩ニ其ノ施行ヲ延期シ逐次修正ヲ加ヘシメ其ノ一部ハ既ニ公布セシメタリ 茲ニ爾後ノ修正ニ屬スルモノヲ以テ議會ノ議ニ付セシム 朕ハ時運ノ進歩ニ伴ヒ憲政ノ益鞏固ナラムコトヲ望ミ 衆議院議員選舉法改正案ヲ議會ニ提出セシム

明治三十一年度ノ歲出歲入ハ既ニ前年度ノ豫算ニ依ラシメタリ 仍財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲ニ 國務大臣ニ命シ租稅增加ノ經畫ヲ定メシメ其ノ他ノ緊急ナル追加豫算及諸法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム 朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シテ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭クサムコトヲ望ム



右勅語ニ對スル奉答 (明治三十一年五月十九日議決)

恭ク惟ルニ

車駕親臨シテ第十二回帝國議會開院ノ盛典ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス

臣等 慎重審議協贊ノ任ヲ盡シ以テ上

陛下ノ叡慮ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十三回(特別)議會開院式勅語 (明治三十一年十二月三日)

(通常)

朕茲ニ帝國議會ノ開院式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

締約諸國ノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘ改正條約ノ實施ハ其ノ期近キニ在リ朕ハ上下相勗メテ之カ效  
果ヲ收メムコトヲ望ム

朕ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル爲國務大臣ニ命シテ之カ經畫ヲ盡サシメ之ニ關スル法律案ハ  
明治三十二年度ノ豫算及各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シ  
テ公平慎重以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十一年十二月三日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第十三回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス 臣等

謹テ 聖旨ヲ奉體シ憲章ヲ恪遵シ慎重審議以テ上

陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院副議長 臣元田肇誠恐誠惶謹テ奏ス

第十四回議會開院式勅語 (明治三十二年十一月二十二日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

條約改正ノ業茲ニ其ノ完成ヲ告ケ締盟各國ノ交際益々其ノ親睦ヲ加フルハ朕ノ喜フ所ナリ朕ハ  
忠良ナル臣民ノ一致和協我國運進暢ノ好果ヲ收メムコトヲ望ム

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治三十三年度ノ豫算及必要ナル各般ノ法律案ヲ提出セシム

卿等國家ノ要務ニ對シ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ニ副ハムコトヲ努メヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十二年十一月二十二日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第十四回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪



へス今ヤ條約改正ノ業其ノ完成ヲ告ク 臣等幸ニ此ノ隆運ニ際シ謹テ協贊ノ任ヲ完フシ上  
陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十五回議會開院式勅語 (明治三十三年十二月二十五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
朕ハ締盟各國ノ交誼益々深厚ナルヲ喜フ  
北清ニ於ケル痛惜スヘキ事件ノ起ルヤ朕ハ朕ノ代表者其ノ他ノ臣民及他ノ外國人ヲ救濟セシム  
ル爲必要ナル陸海軍隊ノ派遣ヲ命シタリ  
朕ノ軍隊カ諸外國ノ軍隊ト協力シテ其ノ任務ヲ盡スニ際シ發揮シタル忠勇ハ朕ノ深ク嘉ミスル  
所ナリ朕ノ政府ハ列國ト協同シテ清國ノ秩序ヲ恢復シ將來ニ於ケル平和ノ保證ヲ得ムコトヲ努  
ム  
朕ハ國家必要ノ軍費ヲ支辨シ並ニ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲國務大臣ニ命シテ租稅增加ノ經畫  
ヲ定メシメ明治三十四年度豫算案及諸法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム  
朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シ和衷審議シ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十三年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第十五回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪  
ヘス刻下東洋多事ニ際ス 臣等慎重審議以テ協贊ノ任ヲ盡シ上  
陛下ノ聖慮ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十六回議會開院式勅語 (明治三十四年十二月十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
朕ハ帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加フルヲ喜フ  
北清ノ事變ニ就キテハ列國ト協同シテ當初ノ冀望ヲ達シ善後ノ計亦將サニ成ヲ告ムトス朕ハ文  
武臣僚ノ勵精及各員ノ協贊ニ依リ帝國ノ光輝ヲ宣揚シタルヲ嘉ミス  
朕ハ國務大臣ニ命シテ明治三十五年度ノ豫算及各般ノ法律案ヲ提出セシム卿等國家ノ要務ニ對  
シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十四年十二月十日議決)



恭ク惟ニ

十八

車駕親臨シテ爰ニ第十六回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス今ヤ北清ノ事變漸ク鎮定ニ歸ス

陛下ノ稜威ニ頼ルニアラスムハ焉ソ能ク此ノ如クナルヲ得ムヤ願フニ東洋尙多事タルヲ免レス

臣等 國家ノ要務ニ對シ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖慮ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

### 第十七回議會開院式勅語

(明治三十五年十二月九日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加ヘ且北清事變ニ對スル善後ノ措置其ノ機宜ヲ誤ラス克ク

東洋ノ平和ヲ復セルハ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シ時局ノ狀勢ニ鑑ミ國防ノ充實ト國運ノ振張ニ必要ナル經畫ヲ定メシメ之ニ

基キタル明治三十六年度豫算案ハ各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等慎重審議以テ和

衷協贊ノ任ヲ完フセムコトヲ望ム

### 右勅語ニ對スル奉答

(明治三十五年十二月九日議決)ハ略第十二回議會ニ同シ

### 第十八回(特別)議會開院式勅語

(明治三十六年五月十二日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

明治三十六年度ノ歳出歳入ハ既ニ前年度ノ豫算ニ依ラシメタリ仍國務大臣ニ命シテ國防ノ充實

ト國運ノ振張ニ關シ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ提出セシム卿等國家ノ要務ニ對シテ慎重審

議以テ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

### 右勅語ニ對スル奉答

(明治三十六年五月十二日議決)ハ略第十一回議會ニ同シ

### 第十九回議會開院式勅語

(明治三十六年十二月十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ而シテ東洋ノ平和ト帝國ノ利權ヲ

保持スル爲緊要ナル國際ノ交渉ニ關シテハ國務大臣ヲシテ慎重其ノ事ニ當ラシム

朕ハ國務大臣ニ命シテ財政ニ關スル經畫ヲ定メシメ明治三十七年度ノ豫算ハ各般ノ法律案ト共



ニ議會ノ議ニ付セシム卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

二十

### 右勅語ニ對スル奉答

(明治三十六年十二月十日議決翌十一日奉呈スヘキ答ノ處御都合)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第十九回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス今ヤ國運ノ興隆洵ニ千載ノ一遇ナルニ方テ閣臣ノ施設之ニ伴ハス内政ハ彌縫ヲ事トシ外交ハ機宜ヲ失シ臣等ヲシテ憂虞措ク能ハサラシム仰キ願クハ 聖鑑ヲ垂レ給ハムコトヲ臣等協贊ノ任ニ在リ慎重審議以テ上

陛下ノ聖旨ニ答ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣河野廣中誠恐誠惶謹テ奏ス

### 第二十回(臨時)議會開院式勅語

(明治三十七年三月二十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ東洋ノ平和ヲ永遠ニ保持スルノ目的ヲ以テ朕カ政府ヲシテ露國ト交渉セシメタリ而モ露國ハ平和ヲ尊重スルノ誠意ヲ缺キ遂ニ干戈相見ルニ至レルハ朕カ憾トスル所ナリ然レトモ事既ニ

此ニ至ル交戦ノ目的ヲ達セスムハ止ムヘカラス今ヤ朕カ軍人ハ艱苦ヲ排シテ其ノ忠勇ヲ致セリ朕ハ帝國臣民カ協同一致以テ國光ヲ宣揚セムコトヲ望ム  
朕ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル豫算案及法律案ヲ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭シ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

### 右勅語ニ對スル奉答

(明治三十七年三月二十日議決)

恭ク惟ニ

勅聖文武天皇陛下茲ニ臨時帝國議會ヲ召集シ

車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス願フニ帝國カ東洋ノ平和ヲ保持スルニ切ナルハ一日ニアラス然ルニ露國ハ平和ヲ尊重スルノ誠意ナク清國トノ盟約

及列國ニ對スル累次ノ宣言ヲ破レリ

陛下ノ戰ヲ宣シ給ヒタルハ臣等ノ感激ニ堪ヘサル所ナリ

今ヤ外征ノ師ハ連戰連勝益々忠勇ヲ致ス是レ

陛下ノ稜威ニ頼ラスムハアラス臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ期ス衆議院議

長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス



第二十一回議會開院式勅語 (明治三十七年十一月三十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際益、親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ國務大臣ニ命シ刻下ノ急要ナル臨時軍事費支辨ニ關スル經畫ヲ定メシメ明治三十八年度豫  
算案及法律案ト共ニ之ヲ提出セシム  
朕カ外征ノ師ハ每戰捷ヲ奏シ今ヤ益、其ノ勇武ヲ發揮シテ戰局漸次其ノ歩ヲ進ム  
朕ハ臣民ノ忠誠ニ倚信シ終局ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス卿等克ク朕カ旨ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ  
竭サムコトヲ努メヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十七年十一月三十日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第二十一回帝國議會ヲ召集シ

車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激恐懼ノ至ニ堪ヘス今ヤ皇師連捷戰局  
歩ヲ進メ兵氣外ニ張り民心内ニ振フ是レ

陛下ノ稜威ニ頼ルニアラスムハ焉ソ能ク此ニ至ルヲ得ムヤ然レトモ前途尙遠遠ニシテ軍費ヲ要  
スル愈、多ク内外ノ施設又多端ニ際ス方ニ舉國一致堅忍持久以テ報効ヲ圖ルヘキノ秋ナリ臣等

益、心力ヲ竭シテ協贊ノ任ヲ完フシ上

陛下ノ信任ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十二回議會開院式勅語 (明治三十八年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ文武臣僚及各員ノ翼贊ト民庶ノ忠誠ニ依リ光榮ヲ以テ干戈ヲ戢メ已ニ露國ト善鄰ノ誼ヲ復  
シタリ而テ英國トノ協約曩ニ改締ヲ經締盟各國トノ交際益、親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ  
帝國ト韓國ノ關係ハ數次ノ協約ニ依リ愈、密接ヲ加フ今後益、友好ノ誼ヲ厚フシ以テ指導啓發ノ  
道ヲ完フセムコトヲ勗メサルヘカラス  
朕ハ國務大臣ニ命シ明治三十九年度豫算案及法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク國家ノ進運  
ニ鑑ミ大成ヲ前途ニ期シテ和衷協贊ノ任ヲ竭シ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十八年十二月二十八日議決)



恭ク惟ニ

車駕親臨シテ第二十二回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘ  
ス今ヤ戰勝ノ後ニ際シ帝國ノ責任益々重ヲ加フ 臣等慎重審議協贊ノ任ヲ盡シ上 聖旨ニ對ヘ  
下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス

二十四

第二十三回議會開院式勅語 (明治三十九年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ國務大臣ニ命シテ國力ノ發展ト國防ノ充實ニ必要ナル經畫ヲ定メ之ニ基キタル明治四十年  
度豫算案ハ各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭シ  
以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十九年十二月二十八日議決)ハ略第十二回議會ニ同シ

第二十四回議會開院式勅語 (明治四十年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟列國トノ交際愈々深厚ニ英國トノ同盟益々鞏固ナルハ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ東洋ノ平和ヲ永遠ニ保持スルノ目的ヲ以テ佛國及露國ト協約ヲ締結シ又韓國ニ付テハ更ニ  
協約ヲ重ネ以テ兩國ノ關係ヲ益々密接ナラシメタリ  
朕ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムカ爲國務大臣ニ命シテ其ノ經畫ヲ定メシメ明治四十一年度豫  
算案ハ各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコ  
トヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治四十年十二月二十八日議決)ハ略第十二回議會ニ同シ

第二十五回議會開院式勅語 (明治四十一年十二月二十五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ年ヲ逐テ益々親厚ニ東洋ノ平和更ニ鞏固ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ國務大臣ニ命シテ財政ニ關スル整理ヲ行ハシメ明治四十二年度ノ豫算案ハ各般ノ法律案ト共  
ニ議會ノ議ニ付セシム卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム所ニ副ヘヨ



右勅語ニ對スル奉答 (明治四十一年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第二十五回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス 臣等 國家ノ要務ニ對シ慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上 陛下ノ睿慮ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣長谷場純孝誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十六回議會開院式勅語 (明治四十二年十二月二十四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加ヘ東洋ノ平和愈、鞏固ナルハ朕ノ欣フ所ナリ  
朕ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシメムカ爲國務大臣ニ命シ財政整理ノ經畫ヲ定メシメ明治四十三年度ノ豫算案及各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム 卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治四十二年十二月二十四日議決)ハ略第二十五回議會ニ同シ

第二十七回議會開院式勅語 (明治四十三年十二月二十三日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟列國ノ交際益、親厚ニ英國トノ同盟愈、鞏固ナルハ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ東洋ノ平和ヲ保持セム爲曩ニ露國ト協約ヲ重ネ又韓國ヲ帝國ニ併合セリ朕ハ衆庶ト共ニ永ク其ノ效果ヲ收メムコトヲ期ス  
朕ハ國務大臣ニ命シテ國運ノ伸張ニ必要ナル諸般ノ計畫ヲ定メシメ明治四十四年度豫算案及法律其ノ他ノ諸案ヲ議會ニ提出セシム 卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治四十三年十二月二十三日議決)ハ略第十二回議會ニ同シ

第二十八回議會開院式勅語 (明治四十四年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益親厚ヲ加ヘ條約ノ改正多ク其ノ成ヲ告ケ英國トノ協約ハ更ニ改締ヲ經タリ朕深ク之ヲ欣フ



清國ノ擾亂ハ朕太タ之ヲ憂フ速ニ秩序ヲ復シ和平ヲ期ルニ至ラムコトヲ望ム  
朕ハ國務大臣ニ命シテ明治四十五年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ提出セシム卿等和衷審議以テ  
協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治四十四年十二月二十七日議決)ハ略第十二回議會ニ同シ

第二十九回(臨時)議會開院式勅語 (大正元年八月二十三日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
朕新ニ大統ヲ繼キ祖宗ノ宏謨ニ遵ヒ先帝ノ遺緒ヲ紹述セムコトヲ期ス  
朕今皇考大喪ノ儀ヲ行ハムトスルニ方リ國務大臣ニ命シテ之ニ關スル豫算案ヲ提出セシム卿等  
審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正元年八月二十三日議決)

衆議院議長 臣大岡育造誠惶誠恐謹ミテ奏ス恭ク惟ルニ

先帝天縱睿明登極ノ初首トシテ大誓ヲ天地神明ニ立テ宏謨ヲ開國進取ニ定メタマヒ内ニハ政刑

ヲ整ヘ文教ヲ施シ軍制ヲ振ヒ庶績ヲ勸メ大憲ヲ宣布シテ憲政ヲ創定シタマヒ外ニハ列國ト輯  
睦シ夙ニ東洋平和ノ大局ヲ軫念シタマヒ事アレハ則國力ヲ舉テ之ヲ保持スルコトヲ惜ミタマ  
ハス是ヲ以テ大義感孚シテ列國親交シ盛德大業臣庶ノ懷服スル所萬邦ノ具瞻スル所タリ何ソ  
圖ラム一朝奄ニ晏駕シタマヒ率薄驚悼豈翹ニ考妣ヲ喪スルカ如クナルノミナラムヤ臣等痛傷  
悲慟涕泣已ムナシ今

陛下聖德乾覆克文克武即チ大統ヲ承ケサセタマヒ茲ニ帝國議會ヲ開キ忝ク 聖勅ヲ賜ヒ大喪ノ  
費用ヲ議定セシメタマフ 臣等恐懼ノ至ニ勝ヘス 臣等肅ミテ 聖旨ヲ奉體シ慎重ニ審議シ以テ  
國民ノ至誠ヲ表シ奉ラムコトヲ期ス衆議院議長 臣大岡育造誠惶誠恐謹ミテ奏ス

第三十回議會開院式勅語 (大正元年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議員ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ニ英國トノ同盟愈々鞏固ナルハ朕深ク之ヲ欣ブ  
朕ハ國務大臣ニ命シテ大正二年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ  
意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム



右勅語ニ對スル奉答 (大正元年十二月二十七日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第三十回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス 臣等憲法ノ條章ニ遵ヒ慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣大岡育造誠恐誠惶謹テ奏ス

第三十一回議會開院式勅語 (大正二年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ヲ加ヘ英國トノ同盟愈々鞏固ナリ又曩ニ鄰邦ノ政府ヲ承認シ其ノ交誼ヲ敦フセリ朕深ク之ヲ欣フ即位ノ禮及大嘗祭ハ大正三年ニ於テ之ヲ行ヒ忠良ナル臣民ト其ノ慶福ヲ共ニセムコトヲ庶幾フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ行政及財政ノ整理ヲ爲シ國運ノ進暢ニ必要ナル經畫ヲ定メシメ大正三年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正二年十二月二十六日議決) ハ「略」第三十回議會ニ同シ

第三十二回(臨時)議會開院式勅語 (大正三年五月五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕今皇妣大喪ノ儀ヲ行ハムトスルニ方リ國務大臣ニ命シテ之ニ關スル豫算案ヲ提出セシム卿等審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正三年五月五日議決)

衆議院議長 臣奥繁三郎誠惶誠恐謹ミテ奏ス恭ク惟ニ

皇太后陛下坤德克ク乾猷ヲ補ヒ惠澤克ク蒼生ヲ霑ス中外瞻仰億兆欽慕セサルナシ何ソ圖ラム今奄ニ登遐シタマフ 臣等哀悼悲痛措ク所ヲ知ラス

陛下睿明至孝茲ニ臨時議會ノ開會ヲ命シ 聖詔ヲ賜ヒテ大喪ノ費用ヲ議定セシメタマフ 臣等恐懼ノ至ニ勝ヘス 臣等肅ミテ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議以テ國民ノ至誠ヲ表シ奉ラムコトヲ期ス 衆議院議長 臣奥繁三郎誠惶誠恐謹ミテ奏ス



第三十三回(臨時)議會開院式勅語 (大正三年六月二十二日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ニ命シ海軍軍備補充ニ必要ナル大正三年度追加豫算案ヲ提出セシム卿等慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正三年六月二十二日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ臨時帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ堪ヘス

臣等 慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣 奥繁三郎 誠恐誠惶謹テ奏ス

第三十四回(臨時)議會開院式勅語 (大正三年九月四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

歐洲戰亂ノ殃禍今ヤ東洋ニ波及シ朕ハ東洋永遠ノ平和ヲ保持セムカ爲終ニ獨逸國ニ對シ戰ヲ宣

スルノ已ムヲ得サルニ至レリ

朕ハ帝國臣民カ義勇克ク公ニ奉シ一致和協速ニ交戰ノ目的ヲ達シ以テ國光ヲ宣揚セムコトヲ期ス朕ハ國務大臣ニ命シテ時局ニ關シ特ニ緊急ナル豫算案及法律案ヲ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正三年九月四日議決)

恭ク惟ニ

天皇陛下茲ニ臨時帝國議會ヲ召集シ

車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ勝ヘス 臣等肅ミテ 敬慮ヲ奉

體シ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣 奥繁三郎 誠恐誠惶謹テ奏ス

第三十五回議會開院式勅語 (大正三年十二月七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟列國トノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘ英國トノ同盟及佛露兩國トノ協商ハ今次ノ危局ニ際



シ愈、其ノ鞏固ナルコトヲ昭ニシタリ朕深ク之ヲ欣フ

朕カ外征ノ師ハ聯合國軍ト共ニ敵ノ勢力ヲ摧キ東洋爲ニ漸ク其ノ安ヲ保タムトス然レトモ戰局猶未タ收マラス朕ハ臣民ノ忠誠ニ倚信シ速ニ終局ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス

朕ハ國務大臣ニ命シテ更ニ行政及財政ノ整理ヲ爲シ時勢ノ必要ニ應スル諸般ノ經畫ヲ定メシメ大正四年度及臨時事件費ノ豫算案ハ各般ノ法律案ト共ニ帝國議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正三年十二月七日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第三十六回(特別)議會開院式勅語 (大正四年五月二十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ニ命シ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正四年五月二十日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第三十七回議會開院式勅語 (大正四年十二月一日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ニシテ英國トノ同盟及佛露兩國トノ協商ハ其ノ基礎愈々鞏固ナリ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正五年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正四年十二月一日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第三十八回議會開院式勅語 (大正五年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ニシテ英國トノ同盟並佛國トノ協約ハ愈々鞏固ヲ加ヘ今次新ニ露國ト協約ヲ重ネタリ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ國運ノ伸張ニ必要ナル諸般ノ計畫ヲ定メ大正六年度豫算案及法律案ヲ帝



國議會ニ提出セシム卿等克ク時局ニ鑑ミ和衷審議以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

三十六

右勅語ニ對スル奉答 (大正五年十二月二十七日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第三十九回(特別)議會開院式勅語 (大正六年六月二十三日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク時局ニ鑑ミ和衷審議以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (大正六年六月二十三日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第四十回議會開院式勅語 (大正六年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ歐洲戰況ノ益、重大ナルニ鑑ミ努メテ聯合列強トノ協調ヲ鞏ウシ同盟履信ノ實ヲ舉ケ以テ

東洋ノ和平ヲ保全シ終局ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス

朕ハ此ノ時ニ當リ國務大臣ニ命シテ國防ノ充實其ノ他國運ノ伸張ニ必要ナル諸般ノ計畫ヲ定メシメ大正七年度豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (大正六年十二月二十七日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第四十一回議會開院式勅語 (大正七年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加ヘ今次ノ戰局ハ聯盟國ノ大捷ヲ以テ終結ヲ告ケムトス朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正八年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正七年十二月二十七日議決)



恭ク惟ニ

陛下玆ニ第四十一回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ勝ヘス今  
ヤ世界平和ノ曙光ヲ認メ帝國ノ任益、重ヲ加フ 臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議上  
陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣大岡育造誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十二回議會開院式勅語 (大正八年十二月二十六日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加ヘ平和ノ協定其ノ成ヲ見ムトス朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ國務大臣ニ命シテ大正九年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ  
意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正八年十二月二十六日議決)

陛下玆ニ第四十二回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ勝ヘス今  
ヤ世界ノ平和將ニ成ラムトス帝國ノ任益、重ヲ加フ 臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議上  
陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣大岡育造誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十三回(特別)議會開院式勅語 (大正九年七月一日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ  
體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正九年七月一日議決)

恭ク惟ニ

陛下玆ニ第四十三回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ勝ヘス臣等  
慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上  
陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣奧繁三郎誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十四回議會開院式勅語 (大正九年十二月二十七日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ



四十  
朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正九年十二月二十七日議決)ハ第四十三回議會ニ同シ

第四十五回議會開院式勅語 (大正十年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘ華盛頓會議モ亦將ニ其ノ成果ヲ見ムトス朕深ク之ヲ欣フ今ヤ帝國ハ外列強ニ伍シテ負荷重キヲ加ヘ内文運ノ伸暢ニ伴ヒ時務愈々滋カラムトス朕ハ忠良ナル臣民ノ協力ニ倚藉シ以テ國勢隆昌ノ實ヲ舉ケ世界平和ノ確立ト文化ノ進展トニ資セムコトヲ期ス  
朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十一年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十年十二月二十六日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第四十五回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ 攝政殿下台臨優渥ナル 聖詔ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ勝ヘス 臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣奥繁三郎 誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十六回議會開院式勅語 (大正十一年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十二年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十一年十二月二十七日議決)ハ第四十三回議會ニ同シ

第四十七回(臨時)議會開院式勅語 (大正十二年十二月十一日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク



今次ノ變災ニ當リ官民一致賑恤救護ニ勉メ同胞共存ノ精神ヲ發揮シタルハ朕深ク之ヲ欣ブ此時ニ際シ字内ノ友邦亦咸我國民ニ救援ノ至情ヲ寄セタルハ朕ノ特ニ銘記スル所ナリ  
朕ハ國務大臣ニ命シテ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十二年十二月十一日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第四十七回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケサセラレ 攝政殿下台臨優渥ナル 聖詔ヲ賜フ

臣等 感激ノ至ニ勝ヘス今次ノ變災ハ眞ニ曠古ノ殃禍ニシテ罔極ノ損失タリ

陛下深ク此ニ軫念アラセラレ惠撫愛恤範ヲ垂レ訓ヲ弘メ民心ヲシテ嚮フ所ヲ知ラシメ給フ臣等

謹テ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議協贊シテ災後ニ善處シ上

陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス

衆議院議長 臣粕谷義三 誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十八回議會開院式勅語 (大正十二年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣ブ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十三年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕

カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十二年十二月二十七日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第四十八回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケサセラレ 攝政殿下台臨優渥ナル 聖詔ヲ賜フ

臣等 感激ノ至ニ勝ヘス 臣等 慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣粕谷義三 誠恐誠惶謹テ奏ス



## 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰

(附、建議ニ對スル勅語)

### (一) 議會會期延長ノ上奏

第一回議會 (明治二十四年二月二十四日議決)

帝國議會開會以來既ニ八十有餘日<sup>臣等</sup>精勵勤勉事ニ茲ニ從フト雖事創始ニ屬シ議事整理等ノ爲メ幾多ノ日子ヲ費ヤシ又議院燒失ノ災ニ罹リ定期ノ日數ニ不足ヲ來タシ殊ニ尙ホ議スヘキ議案積テ堆ヲ爲セリ仰キ願クハ相當ノ日數延長ノ令ヲ下シ賜ハラントヲ誠恐誠懼謹テ奏ス

### (二) 國事犯特赦ノ上奏

第一回議會 (明治二十四年三月七日議決)

我輩聖文武ナル 天皇陛下ハ夙ニ王政維新ノ大業ヲ舉ケ親ラ文武百官ヲ統率シ僅々二十年ノ歲月ヲ以テ立憲代議ノ新制ヲ立テラレシハ各國ノ歴史ニ於テ未タ曾テ見サル所ナリ而シテ曩キニ大典ノ發布セラルルヤ凡ソ國事犯罪ハ皆大赦ノ恩ニ沾フヲ得天下ノ人士皆聖德ノ洪大ナルヲ讚

附錄

二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 【一、二】



美シ天恩ノ優渥ナルニ感泣セサル莫シ然リ而シテ現時幾多ノ罪囚中立憲政體ノ設立ヲ願望シ熱心ノ極誤テ刑律ニ觸レ常事犯ノ附帯セルカ爲メ若クハ其行爲ノ全ク尋常犯罪ニ類シタルカ爲メ未タ赦免ノ典ニ與ルコトヲ得サル者少カラス今ヤ代議制度實施ノ盛運ニ際會セリ陛下深仁深慈願クハ有司ニ勅シ其犯罪ヲ審査セシメ其心事ノ最モ憐ムヘキモノハ特ニ赦宥ヲ賜ヒ彼輩ヲシテ青天白日ノ身トナリ順ニ歸シ正ニ就キ感激シテ以テ忠君愛國ノ務ヲ盡スコトヲ得セシメラレ  
ンコトヲ誠惶誠懼謹テ奏ス

(三) 内閣不信任ノ上奏及之ニ對スル詔勅竝奉答

第四回議會 (明治二十六年二月七日議決)

衆議院議長 巨星亭本院ノ決議ヲ具シ謹テ奏ス伏シテ惟レハ

天皇陛下經文緯武丕ニ中興ノ昌運ヲ啓キ參天貳地始メテ立憲ノ大典ヲ定メ特ニ上下一心和衷協同

懿訓ヲ垂レサセタマヒ

天恩徧ク覆ヒ

皇澤洽ク潤ヒ海内ノ臣民孰レカ感激シテ以テ報効ヲ圖ラサラム 臣等竊ニ惟レハ立憲ノ要ハ上下心

ヲ一ニシ以テ大政ヲ翼贊スルニ在リ是故ニ立法行政各部ノ期スル所相與ニ赤誠ヲ披瀝シ以テ和衷協同ノ實ヲ舉ルヨリ重且ツ大ナルハナシ然ルニ議會創開以來立法行政ノ兩部常ニ調和ヲ失ヒ百揆滯礙シ庶績否塞シ終ニ世局ノ進運ニ隨ヒ革新改善ノ効ヲ收ムル能ハス是レ臣等ノ精誠未タ貫徹セサルニ因ルト雖抑々内閣大臣其ノ職ヲ盡ササルノ致ス所ナリ 臣等政費ヲ削減シ用度ヲ裁節セムト欲スルハ政府過大ノ弊ヲ矯メ民力休養ノ事ヲ行ハムカ爲メニシテ即チ第一期議會以來終始一貫敢テ渝ルコトナシ本院茲ニ明治二十六年度豫算案ヲ議スルニ當リ反覆審査深ク國力ノ消長ヲ慮リ詳カニ事務ノ緩急ヲ察シ以テ歲出ヲ節省シ憲法第六十七條ノ規定ニ係ル歲出ハ本條ニ遵由シテ再三政府ノ同意ヲ求メタリ然ルニ政府ハ漫ニ不同意ヲ表シ而シテ其ノ理由及費途ヲ條舉説明セサルノミナラス錢厘ノ微ト雖削減スヘカラスト斷言セリ是ニ於テ本院ハ休會五日以テ政府ノ反省ヲ求ムト雖政府ハ猶ホ前說ヲ固執シ敢テ省ミス夫レ憲法第六十七條範圍内ノ歲出ニ關シ政府ノ不同意ヲ表スルニ當テハ其ノ款項ヲ條舉シ其ノ理由ヲ明示スルハ立憲國大臣ノ德義ニシテ和衷協同ノ道モ亦此ニ在リ然ルニ内閣ノ舉措此ニ出テス是レ臣等ノ甚タ痛歎スル所ナリ又軍艦製造費ニ關シ曰ク議會ハ之ヲ否決セシト雖政府ハ憲法ノ許ス範圍内ニ於テ斷乎トシテ其ノ計畫スル所ヲ徹底スル道ヲ求メサルヘカラスト臣等其ノ言ノ不經ナルヲ異ミ直ニ其ノ説明ヲ求ムト雖答ヘス是レ大臣タル者ノ爲スヘキ所ナラムヤ 臣等

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰



味死敢テ

天威ヲ冒シ

宸廳ヲ煩シ奉ルハ豈ニ臣等ノ素志ナラムヤ誠ニ止ムヲ得サレハナリ蓋シ政府議會比年相隣キ官民相軋ル所以ハ其ノ由テ來ル既ニ久シ今ニ於テ積弊ヲ除キ立憲政治ノ實効ヲ奏セスムハ國家ノ事爲メニ廢墮セムトス夫レ政費國力相伴ヒ上下一途ノ方針ニ據リ内ハ以テ國運ヲ隆興シ外ハ以テ國威ヲ宣揚スルハ實ニ方今ノ急務ナリ臣等民心ノアル所ヲ表明スト雖内閣ハ之ヲ峻拒シ臣等ヲシテ協贊ノ任ヲ全フスルヲ得サラシム是レ財政ヲ調理シ國家ヲ經綸スル所以ノ道ニアラス臣等此ノ如キ内閣ト竝立チ上ハ

聖意ヲ奉體シ下ハ民意ヲ暢達スル能ハサラムコトヲ是レ恐ル伏テ願クハ  
陛下特ニ

叡鑒ヲ垂レタマハムコトヲ臣等誠恐誠惶謹ミ奏ス

右上奏ニ對スル勅語(一) (明治二十六年二月八日)

朕能ク熟覽シ置ク

右上奏ニ對スル詔勅(二) (明治二十六年二月十日)

在廷ノ臣僚及帝國議會ノ各員ニ告ク

古者皇祖國ヲ肇ムルノ初ニ當リ六合ヲ兼ネ八紘ヲ掩フノ詔アリ朕既ニ大權ヲ總攬シ藩邦ノ制ヲ廢シ文武ノ政ヲ革メ又宇内ノ大勢ヲ察シ開國ノ國是ヲ定ム爾來二十有餘年百揆ノ施設一ニ皆祖宗ノ遠猷ニ率由シ以テ臣民ノ康福ヲ増シ國家ノ隆昌ヲ圖ラムトスルニ外ナラス朕又議會ヲ開キ公議ヲ盡シ以テ大業ヲ翼贊セシメムコトヲ期シタリ而シテ憲法ノ施行方ニ初步ニ屬ス始ヲ慎ミ終ヲ克クシ端ヲ今日ニ正シ大成ヲ將來ニ期セサルヘカラス願ルニ宇内列國ノ進勢ハ日一日ヨリ急ナリ今ノ時ニ當リ紛爭日ヲ曠クシ遂ニ大計ヲ遺レ以テ國運進張ノ機ヲ誤ルカ如キコトアラハ朕カ祖宗ノ威靈ニ奉對ズルノ志ニ非ス又立憲ノ美果ヲ收ムルノ道ニ非サルナリ朕ハ在延ノ臣僚ニ信任シテ其ノ大事ヲ終始セムコトヲ欲シ又人民ノ選良ニ倚藉シテ朕カ日夕憂虞ヲ分ツコトヲ疑ハサルナリ

憲法第六十七條ニ掲ケタル費目ハ既ニ正文ノ保障スル所ニ屬シ今ニ於テ紛議ノ因タルヘカラス但シ朕ハ特ニ閣臣ニ命シ行政各般ノ整理ハ其ノ必要ニ從ヒ徐ロニ審議熟計シテ遺算ナキヲ期シ朕カ裁定ヲ仰カシム



國家軍防ノ事ニ至テハ苟モ一日ヲ緩クスルトキハ或ハ百年ノ悔ヲ遺サム朕茲ニ内廷ノ費ヲ省キ六年ノ間毎歲參拾萬圓ヲ下付シ又文武ノ官僚ニ命シ特別ノ情狀アル者ヲ除外同年月間其ノ俸給十分一ヲ納レ以テ製艦費ノ補足ニ充テシム  
朕ハ閣臣ト議會トニ倚リ立憲ノ機關トシ其ノ各々權域ヲ慎ミ和衷ノ道ニ由リ以テ朕カ大事ヲ輔翼シ有終ノ美ヲ成サムコトヲ望ム

右詔勅ニ對スル奉答 (明治二十六年二月十三日)

恭シク惟ニ

陛下聖德天覆地載茲ニ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ 臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス 臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ 和衷協同益心力ヲ盡シ以テ大業補翼ノ任ヲ完クシ以テ陛下ノ隆恩ニ奉對セントス 衆議院議長 臣星亨誠恐謹惶謹テ奏ス

右詔勅奉答ニ對スル勅語 (宮内大臣ノ口達) (明治二十六年二月十三日)

本日ノ奉答ハ御満足ニ思召ス

(四) 條約改正ノ上奏

第四回議會 (明治二十六年二月十五日議決)

衆議院議長 臣星亨誠恐謹惶頓首謹テ

叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス 臣等

立憲ノ聖世ニ生レ人民ノ推選ニ由リ叨ニ乏ヲ大猷贊畫ノ鴻任ニ承ク豈鞠躬盡瘁

陛下ノ聖明ニ答ヘ人民ノ付託ニ副フコトヲ期セサラムヤ伏シテ惟ルニ

皇祖國ヲ關キ統ヲ垂レタマヒシヨリ茲ニ二千五百有餘年

天子聖明臣民忠勇以テ内ヲ綏撫シ以テ外ヲ懷柔シ國威煌耀未タ曾テ汚瀆セサルナリ降テ嘉永安

政ノ間ニ至リ幕府政ヲ失シ海内鼎沸復國是ノ歸向スル所ナシ而シテ列國此ノ隙ニ乘シ我ニ逼

リテ非理ノ條約ヲ締結セシム

陛下聖明ノ德ヲ以テ此ノ間ニ登祚シ深ク皇道ノ陵夷紀綱ノ壞頽ヲ赫怒シタマヒ錦旗一タヒ動テ

宏規維レ新ニ洪模維レ革然レトモ獨リ非理ノ條約ハ未タ更革スル所ナクシテ法權彼ニ及ハ

ス稅權我ニ復ラス國權ノ冒蝕焉ヨリ大ナルハ莫シ 臣等 思フテ茲ニ至ル毎ニ未タ曾テ慷慨痛哭

セスムハアラス蓋シ治外法權ノ撤去セサル海關稅權ノ回復セサル一ハ則チ彼ノ我ニ在ル者ヲ



シテ我法度ノ外ニ立タシメ我ノ彼ニ在ル者ヲシテ彼カ法度ノ中ニ服セシメ一ハ則チ彼ノ我ニ輸スルモノヲシテ我稅權ヲ制セシメ我ノ彼ニ輸スルモノヲシテ彼ノ稅權ニ屈セシム是ヲ以テ法網痿痺シ外人侵凌シ商工萎靡シ民力凋羸シ終ニ拯フ可カラサラムトス之ヲ要スルニ當時上下恬熙有司盲昧宇内ノ情勢ニ通セサルノ尤ニ坐セスムハアラス是レ國民ヲ舉テ寸時モ條約改正ヲ忘ル能ハサラシムル所以ナリ

陛下ノ至聖至明ナル夙ニ茲ニ察スル所アリ明治四年全權大使ヲ歐米各國ニ派シ條約改正ヲ議セシメタマフ爾來二十有餘年在廷ノ有司ニ勅シ銳意勵精事ニ茲ニ從ハシメ曾テ之ヲ忽諸ニ付セサルナリ而シテ有司屢々蹉跌シテ未タ

陛下ノ軫念ヲ安セサル所以ノモノハ廣ク之ヲ國論ニ詢ハサルノ致ス所ナリ臣等竊ニ列國ニ觀ルニ國交ノ事ハ國論ニ決シ廷臣ノ專行ヲ許ササルナリ我國何ソ獨リ然ラサラム惟フニ有司ヲシテ曩ニ此ニ慮ル所アラシメハ條約改正ノ事或ハ肅斧ヲ揮テ朝菌ヲ斬ルノ快アラム何ソ復今日ノ議アルヲ要セムヤ夫レ條約ノ締結ハ

陛下大權ノ存スル所臣等敢テ濫ニ議ス可キニアラス然レトモ

陛下已ニ萬機公論ニ決シ盛ニ經綸ヲ行フヲ以テ天神地祇ニ誓フ則チ國民ノ心ヲ以テ心ト爲シタマヘリ臣等誠惶頓首謹テ衆議院ノ公議國民ノ輿論ヲ

聖聽ニ達セム曰治外法權ノ撤去海關稅權ノ回復沿岸貿易ノ禁止國家ノ法律ニ屬スヘキ事件ノ拒絶等ニシテ對等條約ノ締結是ナリ

陛下聖德宏大覆載容レサセタマハサル所ナシ伏シテ冀クハ輿論ノ在ル所ヲ採納セラレムコトヲ  
臣星亨誠恐誠惶頓首謹テ上奏ス

(五) 選舉干涉ニ關スル上奏

第四回議會 (明治二十六年二月二十八日議決)

衆議院議長 臣星亨茲ニ衆議院ノ決議

ヲ具シ謹ミ奏ス伏シテ惟ルニ

叡聖文武天皇陛下龍飛ノ德ヲ以テ大ニ乾綱ヲ張り憲法ヲ布キ議會ヲ設ケ代議政體ノ基ヲ開キタマヘリ其ノ盛德大業ハ臣民ノ仰瞻スル所ナリ臣等第三期帝國議會ニ於テ内閣ニ對シ選舉干渉ノ非ヲ論シ官吏其ノ職權ヲ濫用シ選舉權ヲ侵犯シタル事實ヲ認メ國務大臣ハ宜ク反省シテ其ノ責ニ任シ自ラ處決スル所アルヘキコトヲ決議セリ然ルニ内閣ハ改悛ニ銳意セス治務猶舊ニ仍リ民政ノ紊亂未タ理セス府縣會ノ紛擾荐リニ起リ官民反目ノ蹟ヲ存シ地方自治ノ制ヲ淆リ其ノ餘毒流レテ今ニ至リ物論沸騰人心恟々タリ抑々立憲ノ昭代ニ在リ輔弼ノ任ニ

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (五)



當ル國務大臣ハ決シテ其ノ責ヲ免ル、コト能ハサルヘシ既ニ内閣ハ本期議會ノ初ニ於テ施政ノ方針ヲ公示シ乃憲法ノ條章ニ遵由シ行政百般ノ機關ヲシテ憲法的動作ヲ爲サシメ以テ益々其ノ改善ヲ圖リ上ハ 宏謨ヲ遵奉シテ國家ノ基礎ヲ鞏固ニシ下ハ人民ノ權理ヲ保全シ其ノ慶福ヲ増進セシメムコトヲ誓言セリ

陛下辱クモ 大詔ヲ降シ弊政ヲ釐革シ紀綱ヲ振肅セムコトヲ命セラル臣等謹テ按スルニ選舉干渉ノ事タルヤ立憲ノ大綱ヲ紊リ國家ノ慶福ヲ妨クルモノナリ乃政務ノ改善ヲ圖リ詔旨ニ率由セムト欲セハ最先ツ此等ノ處分ヲ爲サ、ルヘカラス今敢テ内閣ニ向テ夫ノ干涉ヲ事前ニ防遏セサルヲ追咎スルニアラス其ノ善後ノ責任ヲ正言スルナリ然ルニ内閣ハ口ヲ既往ニ藉テ其ノ責ヲ逃レムトス是

陛下ノ鈞命ヲ遵奉シ 皇猷ヲ恢弘スル所以ノ道ニアラサルナリ臣等國民ヲ代表スルノ職ニ居リ義默止スルニ忍ヒス茲ニ民意ヲ條陳シ謹テ

聖裁ヲ仰キ奉ルモノ萬止ムヲ得サレハナリ仰キ願クハ

陛下勅斷ヲ垂レ國務大臣ヲシテ其ノ職ヲ盡サシメ而シテ非行ノ官吏ヲ戒飭シ大ニ民政ヲ更張セラレムコトヲ臣等誠惶誠恐謹ミ奏ス

(六)議長星亨不信任ノ上奏竝勅問、奉答

第五回議會 (明治二十六年十二月一日議決)

衆議院副議長 臣楠木正隆 誠惶誠恐本院ノ決議ヲ具シ謹ミ

奏ス本院ハ衆議院議長星亨ニ信任ヲ措ク能ハス故ニ其職ニ在ルヲ欲セスト決議ス 臣等曩ニ議

院法第三條ニ據リ星亨ヲ薦

奏シ

勅任ヲ辱フス是レ臣等不明ノ致ス所誤テ

天聽ヲ冒瀆ス惶懼ノ至ニ堪ヘス謹ミ

奏ス

右上奏ニ對スル勅問 (明治二十六年十二月二日)

上奏ノ趣旨ハ

朕ニ議長ヲ更任セヨト請願スルニ在ル乎

議院自ラ不明ナリシトノ過失ヲ朕ニ對シ謝スルト言ニ止乎

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、奉答、御沙汰、(六)



右勅問ニ對スル奉答 (明治二十六年十二月二日議決)

衆議院副議長 臣楠木正隆謹ミ

奏ス本日

上奏スル所臣等不明ノ過失ヲ謝シ奉ルニ在リ行文鹵莽爲ニ

勅問ヲ賜フ臣等惶懼ノ至ニ堪ヘス謹ミ

奏ス

(七) 官紀振肅ノ上奏

第五回議會 (明治二十六年十二月四日議決)

衆議院副議長 臣楠木正隆謹ミ

奏ス伏惟レハ

陛下忠孝ヲ以テ億兆ヲ率キ廉節ヲ以テ群臣ヲ御シ三綱因テ張リ四維因テ立ツ古聖王ノ治ト雖モ何ヲ以テ之ニ尙ヘムヤ任ニ輔弼ニ當ル者宜シク風紀ヲ嚴ニシ内行ヲ肅ミ以テ

陛下聖明ノ治ニ奉答スヘキ也今ヤ我邦

陛下ノ盛徳ニ頼リ國民以テ安シト雖モ宇内ノ形勢ハ敢テ臣庶ノ懈惰疎慢ヲ許サス閣臣タル者宜

シク日夜惴々トシテ敢テ寢食ヲ安セス或ハ民心ヲ失ヒ以テ

陛下ノ至治ニ負カムコトヲ是レ懼ルヘキノ秋ナリ然ルニ閣臣自ラ誠メス漫ニ臨ムヘカラサルノ

席ニ臨ミ會スヘカラサルノ人ニ會シ褒謙ヲ享ケ其官僚ヲシテ贈遺ヲ容レシメ醜聞道塗ニ盈チ

惡聲街巷ニ喧シ政府ノ威嚴行ハレス宰臣ノ信用地ニ墜チタリ今ニシテ之ヲ正サスムハ臣等恐

クハ上

陛下ノ盛徳ヲ累ハシ下衆庶ノ離心ヲ致サムコトヲ臣等願クハ

陛下聖斷以テ閣臣ノ不肅ヲ誡メ給ハムコトヲ臣楠木正隆誠恐謹謹ミ

奏ス

(八) 現内閣ノ行爲ニ對シ本院ノ意思ヲ表明スル上奏竝御沙汰

第六回議會 (明治二十七年五月三十一日議決)

衆議院議長 臣楠木正隆誠恐謹謹ミ奏ス

叡聖文武天皇陛下 登極ノ首メ五事ノ誓文ヲ下シ明カニ億兆ニ示シタマヒ上下心ヲ一ニシ盛ニ

附錄

二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (七、八)



經綸ヲ行ハシム 大詔ノ嚴ナル屹トシテ山嶽ノ如ク

天恩ノ厚キ穆トシテ春風ニ似タリ臣等瞻仰景從日夜孳々トシテ 盛徳ヲ翼賛シ 鴻旨ニ奉答セ

ムト欲スルモノ年已ニ久シ然ルニ比年閣臣其施設ヲ誤リ内治外交共ニ其職責ヲ失シ動モスレ

ハ即チ累ヲ 帝室ニ及ホスニ至ル曩ニ第四期帝國議會ニ方リ閣臣ノ見ト臣等ノ議ト相觸レ臣等

内閣ト並ヒ立ツ能ハス謹テ上奏以テ罪ヲ待ツ

陛下畏クモ誓文ノ意ニ基カセラレ 大詔ヲ下シ在廷ノ臣僚及帝國議會ノ各員ニ告ケ和協ノ道ニ

由リ以テ大事ヲ補翼シ有終ノ美ヲ成サムコトヲ望ミ特ニ閣臣ニ命スルニ行政各般ノ整理ヲ以

テシタマヘリ國務大臣モ亦隆渥ノ

聖旨ヲ奉シ第五期帝國議會ヲ期シ政綱ヲ振厲シ政費ヲ節減シ海軍ヲ釐革セムコトヲ誓ヘリ是ニ

於テカ舉國ノ民

陛下カ輿論ヲ嘉納シタマフヲ聽キ額手シテ第五期帝國議會ヲ俟チ來蘇ノ慶アラムコトヲ翹望セ

リ然ルニ閣臣ノ經營一時ヲ彌縫スルニ止マリ政綱未タ振厲セス海軍未タ釐革セス惟僅ニ費途

ヲ節シ吏員ヲ沙汰シ以テ大事ヲ模稜スルニ過キス特ニ外政ニ至テハ偷安姑息唯外人ノ歡心ヲ

失ハレムコトヲ是シ畏レ内外親疎輕重ノ辨別ヲ顛倒スルニ至ル是レ臣等カ偏ヘニ

聖旨ニ背戾セムコトヲ恐シ戰兢自ラ安スル能ハサル所以ナリ臣等區々ノ微衷恭ク 大詔ニ遵ヒ

努メテ經綸ヲ畫シ至誠以テ

天意ニ奉答セムト欲スト雖閣臣常ニ和協ノ道ニ背キ臣等ヲシテ 大政翼賛ノ重責ヲ全フスル能

ハサラシム此ヲ以テ臣等閣臣ニ信ヲ置ク能ハサルナリ今ニシテ之ヲ匡正セスムハ臣等竊ニ恐

ル憲政内ニ紊亂シ國威外ニ失墜セムコトヲ是レ臣等カ默セムト欲シテ默スル能ハス敢テ赤心

ヲ披瀝シ 闕下ニ陳奏スル所以ナリ仰キ願クハ

陛下天地覆載ノ恩ヲ敷キ日月ノ照鑒ヲ垂レタマハムコトヲ衆議院議長 臣楠本正隆誠惶誠恐謹

奏ス

右 上奏ニ對スル御沙汰 (宮内大臣ノ口達)(明治二十七年六月二日)

衆議院ノ上奏ハ御採用ニ御成ラス上奏ニ對セラレテハ別段書面ヲ以テ勅答アラセラレス

(九) 征清事件ニ關スル上奏

第七回(臨時)議會 (明治二十七年十月二十一日議決)

衆議院議長 臣楠本正隆本院ノ決議ヲ具シ誠惶誠恐謹テ奏ス伏テ惟ニ

天皇陛下神聖英武清國ノ兇暴ヲ赫怒シテ征討ノ師ヲ興シ

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (九)



皇祖

皇宗ノ遺烈ヲ紹キ親シク大纛ヲ進メ親シク戎事ヲ裁シ肝食宵衣ノ勞ヲ執ラセ給フ是ニ於テ民心益奮ヒ兵氣倍々張リ我カ帝國ノ光輝ヲ宇内ニ發揚ス中外孰レカ皇威ヲ仰カサルモノアラシヤ臣等景仰感激ノ至リニ堪ヘス謹テ奏ス

六十

第八回議會 (明治二十八年三月二十日議決)

衆議院議長 臣楠本正隆本院ノ決議ヲ具シ誠恐誠惶謹ミ奏ス  
伏テ惟ルニ

陛下嚮キニ六師ヲ整ヘ大纛ヲ進メ給ヒシヨリ烈暑祁寒艱苦ヲ士卒ニ同クシ以テ軍國ノ機務ヲ親裁シ給フ前後一日ノ如シ  
列聖ノ威靈

陛下ノ神武ニ頼リ民心内ニ奮ヒ兵氣外ニ震フ 皇師ノ向フ所雷擊電掣水陸風靡ス今ヤ陸海各軍愈々其歩ヲ進メ第二期作戰ヲ開始スヘキヲ勅シ給ヘリ中外孰レカ聖意ノ遠大ナルヲ欽仰セサルモノアラシヤ我武維レ揚リ我伐用テ張ル 皇威其レ八紘ニ發揚セ

ム臣等感激ノ至リニ堪ヘス謹テ奏ス

(10) 製艦費ニ關スル上奏並勅語

第十回議會 (明治三十年三月二十四日議決)

衆議院議長 臣鳩山和夫本院ノ決議ヲ具シ謹テ奏ス恭ク惟ルニ

天皇陛下威武慈仁曩ニ國家軍防ノ一日モ忽ニスヘカラサルヲ垂示シ特ニ内廷ノ費ヲ省キ六年ノ間毎歲參拾萬圓ヲ下シ賜ヒ又文武ノ官僚ヲシテ其ノ俸給十分ノ一ヲ納レ以テ製艦費ノ補足ニ充テシムルノ

詔勅ヲ下シタマフ臣等恐惶措ク所ヲ知ラス謹テ

綸旨ヲ奉戴シ誓テ此ノ優渥ナル

聖恩ノ萬一ニ報セムコトヲ期セリ

今ヤ神聖英武ナル

陛下ノ稜威ニ因リ東津ノ平和克復セラレテヨリ國威中外ニ揚リ

皇澤億兆ニ及ヒ國運日ニ隆昌ニシテ民力月ニ殷富ナリ而シテ國防ノ軍備亦政府ノ設計セル所

附錄

二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (一〇)

六十一



稍其ノ緒ニ就キ富士、八島二艦ノ廻航又近キニ在ラムトス是偏ニ至仁ナル  
聖詔ノ賜ニシテ我臣民ハ肝ニ銘シ長ク傳ヘテ逾々報効ノ途ヲ圖ラムトス此ノ時ニ當リ仍ホ  
恩賜ヲ辱ウスルハ臣等ノ洵ニ恐懼ニ堪ヘサル所ナリ仰キ願クハ  
陛下ノ聖明慈仁ナル臣等涓々ノ微衷ヲ納レ製艦費ノ

恩賜ヲ止メ又文武官僚ノ納付ヲ免除シ之ヲ一般國民ノ負擔ニ歸セシメ玉ハムコトヲ臣等誠  
惶誠恐頓首謹テ

奏ス

右上奏ニ對スル勅語 (明治三十年三月二十五日)

朕衆議院ノ忠實ナル奏議ヲ嘉ス

(一) 償金ノ一部ヲ帝室御料ニ編入ノ建議ニ對スル勅語

第十三回議會 (明治三十一年十二月十四日)

朕ハ償金ノ一部ヲ帝室御料ニ編入スルノ件ニ關シ衆議院ノ深厚ナル誠意ヲ嘉ス

(二) 上奏(日露戰役ニ關スル件)

第二十一回議會 (明治二十八年一月六日議決)

衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス伏テ惟ルニ宣戰ノ 大詔渙發セラレテヨリ未タ一載  
ナラス 皇師ノ向フ所戰ヘハ必ス勝チ攻ムレハ必ス取ル既ニ遼陽ヲ破リテ兵氣遠ク滿洲ノ野  
ニ振ヒ今ヤ旅順ヲ陷レテ敵艦全ク遼東ノ海ニ滅ヒ更ニ戰局ノ一大發展ヲ見ル  
陛下ノ稜威ニ頼ルニ非サレハ曷ソ能ク此ノ振古未曾有ノ偉功ヲ奏スルヲ得ムヤ  
陛下宵衣旰食軍國ノ事ニ軫念アラセ給フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス願フニ洗兵振旅ノ期前途尙遼遠  
ナリ臣等豈鞠躬努力以テ 聖明ニ奉答スルヲ期セサラムヤ茲ニ賀表ヲ上リテ赤誠ヲ披ク衆議  
院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹ミ奏ス

(三) 上奏(日露戰爭平和克復祝賀ニ關スル件)

第二十二回議會 (明治二十八年十二月二十八日議決)

衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ言ス伏シテ

惟ニ

附錄 二 上奏及之に關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (一一、一二、一三)



陛下天縱聰明宸極ニ臨御シ 徽猷ヲ恢弘シ内ハ文ヲ修メ武ヲ尙ヒ乾綱維レ張リ庶政維レ舉リ外  
ハ列國ト輯睦ヲ敦ウシ盟約ヲ英國ニ重ネ保護ヲ韓國ニ加フ中興ノ業裁成ノ功之ヲ古今ニ徵シ  
與ニ推校スル所ナシ不幸客歲露國ト釁ヲ開クヤ 大號渙發乃チ六師ヲ興シ貔貅鱗威遠近ニ  
震ヒ神籌授クル所海ニ陸ニ大捷ノ功ヲ奏セサルハ莫シ而シテ友邦ノ忠言ヲ呈スルヤ 聖衷恢  
廓進テ之ヲ容レ以テ平和ノ約ヲ結ハシメ旅ヲ振ヘ師ヲ班ヘス是レ寔ニ曠古ノ大業ニシテ 盛  
德中外ニ光被ス 臣等 聖世ニ遭遇シ斯盛事ヲ瞻仰シ 宏謨ヲ翼贊ス何ノ慶幸カ之ニ若カム爰  
ニ恭ク上表シ肅ミテ微忱ヲ敷ク 臣松田正久誠恐誠惶謹テ言ス

(一四) 憲法發布三十年記念祝賀上奏

第四十一回議會 (大正八年二月十日)

衆議院議長 臣大岡育造誠恐誠懼謹テ言ス  
伏シテ惟ニ

皇朝萬世一系刑聖承續德化洋溢百姓其澤ニ浹洽シテ親附欣戴セサルナシ而シテ維新ノ始首トシ  
テ宏謨ヲ萬機公論ニ決スルニ定メ漸次立憲爲治ノ基ヲ立テ竟ニ帝國憲法ヲ發布シタマヘリ是  
ニ於テ臣民大政ニ獻替スルコトヲ得テ 皇國ノ丕基更ニ隆固ヲ加フ洵ニ是レ萬代ノ徽範タリ

爾來茲ニ三十年 皇威四表ニ廣被シ國運八紘ニ遐暢ス而シテ今ヤ歐洲戰亂ノ慘禍方ニ殄熄シ  
テ世界平和ノ休祥將ニ光熙セムトシ帝國ノ光榮益宣揚ス 臣等幸ニ此昭代ニ遭逢シ忻歡已ムナ  
シ茲ニ嘉辰ヲトシ憲法發布三十年記念祝賀ノ典ヲ舉ケ上ハ以テ  
聖德ノ日ニ躋ルヲ頌シ下ハ以テ奉祝ノ微忱ヲ攄フ誠ニ歡抃欣躍ノ至ニ任ルナシ乃チ虔ミテ表ヲ  
捧ケ恭ク 寶祚ノ無疆ヲ祝シ 皇威ノ益震表ニ燦カムコトヲ禱リ奉ル 臣育造誠恐誠懼謹テ言  
ス

(一五) 上奏(世界戰爭平和克復祝賀ニ關スル件)

第四十二回議會 (大正九年一月二十二日)

衆議院議長 臣大岡育造誠惶誠懼頓首再拜謹ミテ言ス

恭ク惟ニ今次ノ大戰ハ交兵多年凶殘至ラサルナシ幸ニ我カ帝國及聯合友邦ノ奮武ニ賴リ氛埃  
ヲ掃蕩シテ平和ヲ克復ス實ニ是レ萬國ノ洪祥ニシテ生民ノ景福ナリ今ヤ 大詔煥發和平ノ協  
定新ニ成リ國際聯盟ノ規模斯ニ立ツコトヲ宣布シタマヒ  
聖諭優渥具ニ徹飭ヲ垂レタマフ 臣等感激恐懼ノ至ニ勝フルコトナシ伏シテ冀クハ 大詔ニ率由  
シテ惕厲自ラ彊メ

附錄 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (一四、一五)



聖諭ヲ遵奉シテ振作益々昂メ時勢ニ順應シ人心ヲ開導シ軌度ヲ逸セス秩序ヲ愆ラス紀綱ヲ振肅シテ

皇運ヲ扶翼シ微衷ヲ披瀝シテ

宸猷ヲ翊贊シ以テ報效ヲ圖ラムコトヲ臣等造誠惶誠懼頓首再拜謹ミテ奏ス

### 三 皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上

#### (一) 皇太子殿下御結婚御成約ニ付賀表及賀牋

嘉仁親王殿下御結婚御成約ノ際

第十四回議會 (明年三十三年二月十二日)

(兩陛下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣片岡健吉本院ノ決議ヲ具シ誠恐誠惶頓首上表ス今般

皇太子殿下御結婚御成約被爲在 臣等恭賀ノ至ニ堪ヘス謹テ奉祝ス

(皇太子殿下ニ捧呈シタルモノ)

・ 臣衆議院議員等誠恐誠惶頓首上表ス爰ニ

殿下御結婚御成約被爲在 臣等恭賀ノ至ニ堪ヘス謹テ奉祝ス

裕仁親王殿下御結婚御成約ノ際

(大正十一年九月二十八日)

(兩陛下ニ捧呈シタルモノ)

附錄 三 皇室ニ對スル賀表賀牋及言上

(一)



衆議院議長 臣奥繁三郎誠恐誠惶頓首上表ス今般

皇太子殿下御結婚御成約在ラセラレ臣等恭賀ノ至ニ勝ヘス謹テ奉祝ス

(皇太子殿下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣奥繁三郎誠恐誠惶頓首謹言今般

殿下御結婚御成約在ラセラレ臣等恭賀ノ至ニ勝ヘス謹テ奉祝ス

(二) 皇太子殿下御結婚ニ付賀表及賀牋

嘉仁親王殿下御結婚ノ際

(明治三十三年五月十日)

(兩陛下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ

皇太子殿下御結婚ノ大典ヲ奉賀ス

(兩殿下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶頓首

御結婚ノ大典ヲ肅賀シ

殿下無量ノ高壽ヲ奉頌ス

裕仁親王殿下御結婚ノ際

第四十八回議會 (大正十三年一月二十六日)

(兩陛下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣粕谷義三誠恐誠惶謹テ

皇太子殿下御結婚ノ大典ヲ奉賀ス

(兩殿下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣粕谷義三誠恐誠惶頓首

御結婚ノ大典ヲ肅賀シ

殿下無量ノ高壽ヲ奉頌ス

(三) 即位ノ大禮ニ付賀表捧呈ノ決議

第三十一回議會 (大正三年三月十三日)

議長ハ即位ノ大禮舉行ノ際本院ヲ代表シテ賀表ヲ捧呈スヘシ

右決議ニ依リ大正四年十一月九日京都御所ニ於テ議長ヨリ捧呈ノ賀表左ノ如シ

附錄 三 皇室ニ對スル賀表賀牋及言上

(11111)



(即位ノ大禮ハ諒闇ノ故ヲ以テ一年延期セラレ)

衆議院議長 臣島田三郎誠歡誠喜頓首頓首

伏シテ惟ミルニ

明治天皇夙ニ建國ノ宏謨ニ本ツキ

祖宗ノ遺訓ヲ明ニシ憲政ヲ布キ外交ヲ敦ウシタマヒ邦基既ニ鞏ク民福益々進ム 聖徳洪業振古

比ナシ

天皇陛下英明ノ資ヲ禀ケ久ク正ヲ

東宮ニ養ヒ既ニ祚ヲ九重ニ踐ミ今ヤ

登極ノ大典ヲ舉ケタマフ萬民咸無窮ノ頌ヲ唱ヘ四方皆

天位ノ崇ヲ仰ク洵ニ是レ邦家ノ慶事ナリ 臣等鴻恩ニ沐浴シ員ニ贊襄ノ任ニ備ハリ此盛儀ニ陪ス

ルノ榮ヲ荷フ悃款ノ至ニ任フル莫シ謹ミテ表ヲ上リ以テ奉賀ス大正四年十一月十日衆議院

議長 臣島田三郎誠歡誠喜頓首頓首

(四) 皇太子殿下(裕仁親王)立太子式ニ付賀表

(大正五年十一月三日)

(陛下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣島田三郎誠惶誠恐謹ミテ奏ス

天皇陛下文經武緯茲ニ千載ノ休曆ニ膺リ不磨ノ彝典ニ則リ立太子ノ式ヲ舉ケサセ給フ伏シテ惟  
ルニ

皇太子殿下天資英邁至仁至孝今ヤ斯ノ盛儀ニ由リテ 儲位正ニ定リ國礎愈々鞏ク 寶祚益々隆ナ

リ 臣等親ク盛典ニ遭遇シ欣躍悅懌ノ至ニ任ヘス肅ミテ表ヲ獻シ以テ 天闈ノ隆運ヲ頌ス 臣三

郎誠歡誠喜頓首頓首

(殿下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣島田三郎頓首頓首謹ミテ

皇太子殿下英明仁孝盛徳夙ニ高シ今ヤ立儲ノ禮ヲ行ハセラレ中外瞻仰シ四海謳歌ス 臣等斯ノ盛  
事ニ遭ヒ感喜措ク所ヲ知ラス恭ク膝ヲ奉シ賀ヲ稱ス 臣三郎誠歡誠喜頓首頓首

(五) 皇太子殿下(裕仁親王)御成年式ニ付賀表

第四十一回議會 (大正八年三月二十五日)

(陛下ニ捧呈シタルモノ)

附錄 三 皇室ニ對スル賀表賀賤及言上

(四、五)

七十一

七十



衆議院議長 臣大岡育造誠懃謹言奏ス

欽ミ惟ニ

陛下乾健維レ昌ニシテ盛徳天ノ如ク尙武崇文 皇圖四表ニ光被シ重熙累洽 聖澤八紘ニ布護ス  
茲ニ良辰ニ方リ

皇太子殿下成年ノ式ヲ舉ケサセタマフ和氣藹如朝野咸ナ歡ヒ祥光油然中外畢ク賀ス 臣等仰テ  
盛典ヲ拜シ忻懽已ムナシ恭テ賀表ヲ上リ

寶祚ノ無疆ヲ祝シ奉ル 臣育造誠懃謹言奏ス

(殿下ニ捧呈シタルモノ)

衆議院議長 臣大岡育造誠懃謹言奏ス

欽ミ惟ニ

殿下聰明睿達孝慈並至リ懿度淵深文武兼ネ脩メタマヒ往キニ宸極ニ忒ヒテ繼體ノ統ヲ正シ今冠  
儀ニ膺リ成年ノ式ヲ享ケサセタマフ雅頌洋溢海宇咸ナ慶ヒ謳歌紛郁萬姓畢ク賀ス 臣等休明ノ  
昌期ニ際シ欣躍ノ至ニ任フルナシ恭テ賀表ヲ上リ  
鶴算ノ無疆ヲ祈リ奉ル 臣育造誠懃謹言奏ス

(六) 皇太子殿下(裕仁親王)攝政御就任ニ付言上ノ辭

(大正十年十一月二十六日)

(天皇陛下へ言上)

昨日詔書ヲ宣布アラセラレタル儀ハ誠ニ恐懼ニ勝ヘマセハ本職ハ茲ニ衆議院ヲ代表シ謹ミテ

天機ヲ奉伺致シマス

右宜敷御執奏ヲ乞フ

(皇后陛下へ言上)

昨日詔書ヲ宣布アラセラレタル儀ハ誠ニ恐懼ニ堪ヘマセヌ本職ハ茲ニ衆議院ヲ代表シテ御機

嫌ヲ奉伺致シマス

右宜敷御執奏ヲ乞フ

(皇太子殿下へ言上)

殿下攝政ニ御就任アラセラレタル儀ニ付衆議院ヲ代表シ謹ミテ御機嫌ヲ奉伺致シマス

右宜敷御執奏ヲ乞フ



#### 四 外國ニ對スル祝電及表謝其ノ他ノ往復

##### (一) 土耳其帝國議會ノ開設ニ對スル祝電

第二十五回議會 (明治四十一年十二月二十六日)

大日本帝國衆議院議長長谷場純孝ハ第二十五回議會開會ノ劈頭ニ於テ全會一致ノ決議ニ依リ貴帝國議會ノ開設ヲ祝シ併セテ光輝アル發展ヲ希望スルノ光榮ヲ有ス

##### (二) 明治天皇 崩御ノ際列國議會ノ表明セル弔意ニ對シ謝意ヲ表スルノ決議

第三十回議會 (大正二年二月五日)

本日本院ハ明治天皇崩御ノ際列國議會ノ表明セシ同情アル弔意ニ對シ謝意ヲ表スルノ動議ヲ全會一致ヲ以テ可決致候間此段及通牒候也

右議長ヨリ内閣總理大臣ニ宛通牒セリ



(三) 聯合軍ノ戰捷ニ對シ各國議院ヨリ祝電ヲ受領ス

聯合軍ノ戰捷ニ對シブラジル國下院議長、南米ボリビヤ代議院、中華民國參議院議長同國衆議院議長及廣東支部議會ヨリ戰捷ニ對スル祝電ヲ受領シ之ニ對シ本院議長ハ夫々謝電ヲ發送セリ

(四) 大震災ニ付各國議院ヨリ見舞電報ヲ受領ス

大正十二年九月一日ノ大震災ニ付亞爾然丁共和國下院議長、中華民國衆議院議長同副議長、中華民國參議院同衆議院、玖馬共和國下院議長、洪牙利國會議議長、墨西哥衆議院議長同書記官、せるび、くろあととい、すらをに一王國會議議長及土耳其國會議議長ヨリ震災見舞ノ電報ヲ受領シ之ニ對シ本院議長ヨリ夫々謝電ヲ發送セリ

(五) 震災ニ際シ列國ノ同情ニ對シ感謝ノ決議

第四十七回議會 (大正十二年十二月十二日)

衆議院ハ振古未曾有ノ震災ニ際シ列國ヨリ寄セラレタル深甚ナル同情ニ對シ茲ニ院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表ス

(六) 講和條約成立ニ關スル通牒及答詞 (大正八年七月九日) (外務省經由)

日本帝國外務大臣子爵内田康哉閣下

余ハ我政府ノ命ニ由リ左ノ事項ヲ閣下ニ轉報ス西班牙國元老院及ヒ代議院ハゑるさいゆニ於ケル講和條約ノ調印ト共ニ戰爭終熄ノ爲メ西班牙國カ感得セル欣悅及ヒ此感念カ敦厚誠實ナル祝意ヲ伴フテ聯合諸國ニ通表セラレンコトノ冀望ヲ提ケテ之ヲ日程書中ニ登載スヘキコトヲ以テ大多數ヲ以テ可決シタリ

西班牙國元老院及代議院ハ日本天皇陛下ノ政府ヲ經テ在東京上下兩院各議長ニ上掲事項ヲ通告センコトヲ望ム余ハ此任務ノ完行ヲ以テ自ラ幸福ノ事ト認メ此機ヲ捉ヘテ閣下ニ最高ノ敬意ヲ表ス

橫濱 千九百十九年七月六日

在東京西班牙國公使 ぢよせ、かる(手署)

右ニ對シ貴衆兩院議長ヨリ外務大臣ヲ經テ西班牙國兩院議長へ答詞(七月十日)

講和條約締結ニ至リタルハ世界平和ノ爲誠ニ歡喜ニ不堪所ナリ右ニ付早速上下兩院議長閣下ヨリ熱誠ナル祝意ヲ表セラレタルヲ深謝ス



## 五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶

### (一) 戰功表彰ニ關スル決議、謝辭、謝電

第七回(臨時)議會 (明治二十七年十月二十一日)

我帝國ノ忠勇ナル陸海軍隊ノ備サニ遠征ノ艱苦ヲ嘗メ平壤ニ黄海ニ大捷ヲ奏シ帝國ノ威武ヲ宣揚セルハ國民ノ深ク感激スル所ナリ衆議院ハ爰ニ誠實ニ國民ノ意思ヲ表彰ス

第八回議會 (明治二十八年三月二十日)

本院ハ嚮キニ臨時帝國議會ニ於テ國民ヲ代表シ遠征軍隊ノ功勞ヲ感謝セリ爾來我軍隊ハ雪嶺ヲ踰ヘ凍海ヲ凌キ奮戰勇闘幾十回盛京ヲ風靡シ山東ヲ席卷シ北洋艦隊ヲ殄滅シ日章ノ光輝ヲシテ山海ニ照耀セシム抑、忠誠義烈國ニ報シ愾ニ敵スルニアラスムハ焉ソ絶大ノ偉功ヲ奏スル此ノ如キヲ得ムヤ今ヤ戰局愈、張リ已ニ第二期ノ作戰ヲ開始スルノ機會ニ際ス進ムテ全局ノ大捷ヲ收ムルニ於テ其勞苦愈、大ナルモノアラム是レ國民ノ深ク感謝スル所ナリ特ニ茲ニ議決シテ誠實ニ國民ノ意志ヲ表彰ス

第十五回議會 (明治三十四年一月二十九日)

附錄 五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶 (一)



曩ニ北清ノ擾亂ニ方リ我カ出征軍隊カ嚴肅ナル軍紀ノ下ニ在リテ克ク列國軍ト戮力シ備サニ  
辛苦ヲ嘗メ其ノ職任ヲ全ウシ以テ大ニ國光ヲ中外ニ發揚シタルハ國民ノ深ク感謝スル所ナリ  
衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ其ノ忠勇勤勞ヲ表彰ス

第二十回(臨時)議會 (明治三十七年三月二十五日)

我忠勇猛銳ナル帝國艦隊ハ連戰連捷敵國ヲシテ震懾セシメ以テ  
皇武ヲ輝揚シ方ニ海上ヲ掃攘シ偉大ノ勳功ヲ樹ツ是レ國民ノ深ク感謝スル所ナリ衆議院ハ茲  
ニ之ヲ言明シテ誠意ヲ表ス

右ニ對シ山本海軍大臣ヨリ回答(三月二十六日)

帝國艦隊ノ行動ニ關スル貴院ノ決議相添艦隊へ通報方御申越之趣了承感銘ニ堪ヘス則チ直ニ  
聯合艦隊へ通報取計置候間此段御挨拶及御回答候也

同上通牒 (三月二十八日)

本月二十五日貴院ニ於ケル決議ノ趣ハ御申越ニ依リ其節聯合艦隊へ通達方取計置候處同艦隊  
ヨリ別紙之通答辭差出候ニ付茲ニ及御轉送候間可然御取計相成度此段申進候也

(別紙)

東郷聯合艦隊司令長官ノ答辭電信 (三月二十八日東京著)

聯合艦隊ハ本月二十五日ノ決議ニ係ル衆議院ノ鄭重ナル頌詞ヲ辱ウシ一同感佩ノ至ニ堪ヘ  
ス尙ホ益々奮勵事ニ從ヒ其ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス  
右謹テ答謝ス

(明治三十七年九月四日)

我カ忠勇ナル滿洲軍ハ備サニ艱苦ヲ嘗メ露軍ノ據守セル防備堅固ノ諸要地ヲ攻略シ遂ニ遼陽  
ヲ占領シテ戰局面ニ一進轉ヲ見至ルニ是レ國民ノ欣躍止マサル所ナリ衆議院ハ茲ニ至誠以  
テ祝意ヲ表シ將校士卒ノ功勞ヲ感謝ス

右ニ對シ寺內陸軍大臣ヨリ通牒 (九月七日)

貴院ノ感謝狀ニ對シ大山滿洲軍總司令官ヨリ別紙寫ノ通り傳送方電報有之候間此段申進候也

(別紙)

大山滿洲軍總司令官ノ答辭電報

鄭重ナル祝辭ヲ辱ウシ感謝ニ堪ヘス

第二十一回議會 (明治三十七年十二月二日)

附錄

五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶

(一)



滿洲軍ニ對スル慰問狀

我カ滿洲軍ハ遠征萬里懸軍十月銳ヲ摧キ堅ヲ拔キ激戰奮鬪茲ニ數十回兵氣益々旺ニシテ我カ武維レ揚レリ是レ國民ノ感激シテ措カサル所ナリ時祁寒ニ際シテ勞劬更ニ大ナラム衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ熱誠ノ忱ヲ彰ハシ將校士卒ノ勇健ヲ祈ル

帝國聯合艦隊ニ對スル慰問狀

我カ帝國聯合艦隊ハ遠征以來茲ニ十閱月常ニ風濤ノ間ニ立チ萬死ヲ冒シ百難ヲ排シテ旅順ノ封鎖ヲ全ウシ今ヤ敵艦ヲシテ殄滅ニ瀕セシム其ノ功洵ニ偉ナリ是レ國民ノ感激シテ措カサル所ナリ時祁寒ニ際シテ勞劬更ニ大ナラム衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ熱誠ノ忱ヲ彰ハシ將校士卒ノ勇健ヲ祈ル

右ニ對シ寺內陸軍大臣ノ通牒 (十二月四日)

拜啓滿洲軍ニ對スル貴院ノ決議ヲ直ニ大山總司令官ニ通牒致シ候處左ノ答辭有之候ニ付及御送付候也

大山滿洲軍總司令官ノ答辭電報 (十二月四日午前十一時著信)

熱誠ナル謝辭ヲ辱ウシ感激ニ堪ヘス本職ハ全軍ヲ代表シ衆議院ノ誠意ヲ感謝ス

右ニ對シ山本海軍大臣ヨリノ回答 (十二月三日)

帝國聯合艦隊ノ行動ニ對スル貴院ノ決議同艦隊へ傳送方御申越相成承了感謝ニ堪ヘス則早速同艦隊司令官へ通達取計候間此段御回答旁不取敢換御挨拶申進候也

同上通牒 (十二月五日)

本月三日ノ貴院決議ニ對シ別紙之通聯合艦隊司令長官ヨリ挨拶申出候ニ付及御轉送候間可然御取計相成度此段申進候也

(別紙)

東鄉聯合艦隊司令長官答辭電報 (明治三十七年十二月四日東京著)

聯合艦隊ハ本月三日ノ決議ニ係ル衆議院ノ頌詞ヲ辱フシ一同感佩ノ至ニ堪ヘス尙ホ愈々勵精最終ノ目的ヲ達センコトヲ期ス

右謹テ答謝ス

第二十一回議會 (明治三十八年一月六日)

旅順ノ要塞タル天險ヲ利シ人工ヲ極メ防備ノ堅世界無比ト稱ス而シテ勁敵ノ全力ヲ竭シテ死守スル所タリ我カ旅順攻圍軍ハ帝國聯合艦隊ト相待テ奮戰力鬪茲ニ數閱月陸ニ堅壘ヲ拔キ海ニ巨艦ヲ滅シ今ヤ敵ヲシテ策盡キ力窮マリ城ヲ開キテ降ヲ乞ハシムルニ至レリ是レ我カ將校



士卒ノ忠勇堅忍克ク其ノ任務ヲ完クセシニ由ラスムハアラス衆議院ハ茲ニ院議ヲ以テ攻圍軍ノ功勞ヲ感謝ス

(明治三十八年三月十四日)

我カ滿洲軍カ奉天附近ノ會戰ニ於テ敵軍ヲ破摧シ大捷ヲ奏シタルハ國民ノ感激措カサル所ナリ茲ニ衆議院ハ將校士卒ノ偉勳ニ對シ深ク感謝ノ意ヲ表ス

右ニ對シ寺内陸軍大臣ヨリノ感謝通牒 (三月十六日)

貴院ヨリ滿洲軍ニ對スル感謝狀傳達致候處別紙ノ通大山總司令官ヨリ貴院ニ對シ答電有之候間此段及通牒候也

(別紙)

大山滿洲軍總司令官ノ答辭電報 (三月十六日午前十一時三十分著)

奉天附近ノ戰勝ニ對シ祝詞ヲ辱フシ感謝ノ至リニ堪ヘス

(明治三十八年六月一日)

我帝國聯合艦隊ハ籌畫遺算ナク克ク敵艦隊ヲ殄滅シテ其ノ將帥ヲ生擒ス其ノ效果ノ繁ル所豈

現下ノ戰局ノミナラムヤ衆議院ハ茲ニ振古未曾有ノ大捷ヲ祝シ深ク將校士卒ノ功勞ヲ感謝ス右ニ對シ山本海軍大臣ヨリ回答 (六月一日)

聯合艦隊ニ對スル貴院ノ感謝文同司令長官へ傳達方本日御申越之趣了承深ク感銘ニ堪ヘス候早速同司令長官へ傳達取計候間此段御回答旁不取敢御挨拶申進候也

同上通牒 (六月三日)

今回ノ戰捷ニ關スル貴院ノ感謝文ニ對シ別紙ノ通東郷聯合艦隊司令長官ヨリ挨拶申越候ニ付茲ニ及御轉送候可然御取計相成度此段申進候也

(別紙)

東郷聯合艦隊司令長官ノ答辭

日本海ノ戰捷ニ關シ貴院ヨリ鄭重ナル頌詞ヲ蒙リ一同感佩ノ至リニ堪ヘス尙ホ益勵精厚志ヲ空フセサラムコトヲ期ス艦隊ヲ代表シ茲ニ敬ミテ謝辭ヲ呈ス

(大正三年十一月七日)

青島陥落ニ付與議長ヨリ獨立第十八師團長陸軍中將神尾光臣宛祝電

青島ノ諸砲壘占領ノ報ヲ忝フシ欣喜ニ堪ヘス是閣下ノ籌畫違算ナキト將校士卒ノ堅忍能ク其

附錄 五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶 (一)



ノ任務ヲ完フシタルニ依ル本職ハ茲ニ本院ヲ代表シテ忝シク祝詞ヲ呈ス

同第二艦隊司令長官加藤定吉宛祝電

貴艦隊ハ陸軍ト協同シ青島ヲ占領セラレタルノ報ニ接シ欣喜ニ堪ヘス出征以來數旬ノ勞劬洵ニ感佩ニ勝ヘス本職ハ茲ニ本院ヲ代表シ謹テ祝詞ヲ呈ス

右ニ對スル神尾司令官ノ答電

深厚ナル御慰問ヲ感謝シ併セテ 陛下ノ御稜威ニ依リ青島堡壘砲壘ノ占領ヲ報知スルノ光榮ヲ有ス

同加藤司令長官ノ答電

青島陥落ニ對シ早速祝電ヲ辱フシ感謝ニ堪ヘス謹ミテ謝意ヲ表ス

第三十五回議會 (大正三年十二月八日)

我カ陸海軍ハ備ニ艱苦ヲ嘗メ東洋ニ於ケル敵ノ根據ヲ掃蕩ス衆議院ハ茲ニ院議ヲ以テ其ノ功勞ヲ感謝ス

右ニ對スル岡陸軍大臣ノ謝辭

唯今ハ陸海軍ノ作戰行動ニ關シ感謝ノ意ヲ表セラレマシタ私ハ陸軍ノコトニ關係シテ御挨拶

ヲ申上ゲマス鄭重ナル御感謝ノ意ヲ表セラレマシタノハ青島攻圍ニ從軍致シテ參リマスル將卒ノ光榮トスルノミナラス延イテ陸軍全般ノ名譽トスルトコロゴザイマス陸軍ヲ代表致シマシテ厚ク御禮申上ゲマス

同上岡陸軍大臣ヨリノ通牒 (十二月十一日)

去ル八日ノ貴院決議ニ對シ別紙ノ通神尾前獨立第十八師團長ヨリ挨拶申出候ニ付及御傳達候條可然御取計相成度此段申進候也

(別紙)

神尾前獨立第十八師團長ノ謝辭

陛下ノ御稜威ト海軍ノ協同竝國民ノ後援トニ依リ青島ヲ攻略セル獨立第十八師團ノ微功ニ對シ特ニ衆議院ノ決議ヲ以テ鄭重ナル感謝ノ辭ヲ寄セラレタルハ師團將卒ノ深く光榮トスル所ニシテ感謝ノ至リニ堪ヘス茲ニ團下一同ヲ代表シ滿腔ノ謝意ヲ表ス

右ニ對スル八代海軍大臣ノ謝辭

衆議院ハ院議ヲ以テ海軍ノ策戰行動ニ對シ御鄭重ナル謝意ヲ表セラレマシタ洵ニ感謝ノ至リデゴザイマス吾人海軍々人ハ將來ニ於テモ益々拮据精勵大命ニ奉答スルコト勿論デアリマス此院議ヲ承ハリマシテハ忠勇ナル戰死者竝ニ其遺族ハ定メテ喜ビ大満足デアラウト思ヒマス

附錄

五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶

(一)



謹ンデ海軍ヲ代表シテ厚ク御禮ヲ申上ゲマス

第四十回議會 (大正六年十二月二十八日)

戰局ノ擴大スルニ伴ヒ我カ艦隊ハ既ニ太平洋印度兩洋ニ敵艦ヲ擊攘シ更ニ歐洲ノ海上ニ遠征シ備サニ艱苦ヲ嘗メ屢、壯烈ナル行動ヲ以テ共同ノ作戰ヲ完ウス衆議院ハ特ニ院議ヲ以テ忠勇ナル海軍將卒ノ勳勞ニ對シ滿腔ノ敬意ヲ表ス

右ニ對スル枋内海軍次官ノ謝辭 (議場ニ於テ)

海軍大臣ガ宮中ニ召サレマシテ御不在ノ故ヲ以チマシテ、唯今ノ御決議ニ對シマシテ、私ヨリ海軍ヲ代表シマシテ感謝ノ意ヲ申上ゲマス

同上加藤海軍大臣ヨリ大岡議長宛通牒 (大正六年十二月二十八日)

十二月二十八日衆議院ニ於テ我カ出征艦隊ニ對シ鄭重ナル決議相成候次第ハ當日直ニ各出征艦隊指揮官ヘ電報通達致置候右申進ム

同上枋内海軍次官ヨリ通牒 (十二月三十日)

印度洋方面作動中ノ小栗海軍中將ヨリ別紙寫ノ通り電報有之候條右及御送付候也 (別紙)

小栗海軍中將ノ謝電 (十二月三十日海軍省著)

登錄セル以外ノ宛名ニ英文以外ノ發電出來難キニ付左記電文貴省ヨリ衆議院議長ヘ御傳ヘヲ乞フ、尙ホ同院決議ノ件ハ今三十日新嘉坡入港後受領セリ

衆議院ノ町重ナル決議ニ對シ麾下一同ヲ代表シ深厚ナル謝意ヲ表ス尙ホ益、奮勵與望ニ副ハン事ヲ期ス

右可然御披露ヲ乞フ

右ノ外森本常盤艦長ノ謝電(十二月二十九日著)並佐藤司令官ノ謝電(十二月三十日著)ハ略同意味ニ付略ス

第四十一回議會 (大正七年十二月二十八日)

本院ハ曩ニ決議ヲ以テ我カ出征軍ノ功勞ヲ感謝セリ爾來我カ軍ハ聯合各國ト協同シ艦隊ハ遠ク世界ノ各方面ニ策動シ以テ與國ノ作戰ニ資シ陸軍ハ兵ヲ西伯利ニ進メ以テ西隣ノ秩序ヲ保チ大ニ帝國ノ威武ヲ中外ニ宣揚ス衆議院ハ其ノ壯烈ナル行動ト偉大ナル功績トニ對シ特ニ院議ヲ以テ滿腔ノ敬意ヲ表ス

右ニ對スル田中陸軍大臣ノ謝辭

唯今國外ニ出動致シマシタ陸軍ニ對スル御決議ニ對シマシテハ、本大臣ハ全陸軍ヲ代表シテ、



深甚ナル感謝ノ意ヲ表シマス、尙此ノ御決議ノ次第ハ、直チニ之ヲ國外ニ出動シテ居リマスル部隊ニ傳達シ、尙全軍ニ之ヲ傳ヘルト云フコトノ手續ヲ致シマス  
同上加藤海軍大臣ノ謝辭

唯今滿場一致ヲ以テ御決議ニナリマシタ決議文ニ付キマシテハ、海軍ヲ代表致シマシテ、滿腔ノ謝意ヲ表シマス、尙御決議ノ次第ハ、最モ迅速ナル方法ヲ執リマシテ、各方面ニ於ケル艦隊指揮官ニ傳達方ヲ取計ラフ考デゴザイマス、茲ニ御禮ヲ述ベテ一言御挨拶ヲ申上ゲマス  
同上田中陸軍大臣ヨリ大岡議長宛通牒（大正八年一月十日）

曩ニ貴院ニ於テ決議相成候感謝ノ趣ハ早速出征部隊ニ傳達致置候處今般別紙ノ通謝辭傳達方來電有之候間此段及通牒候也

（別紙）

浦潮派遣軍司令官

我軍將士ニ對シ懇篤ナル謝電ヲ辱フシ感佩ノ至ニ堪ヘス茲ニ麾下一同ヲ代表シ深甚ナル謝意ヲ表ス

右ノ外第三、第七、第十二師團長及關東都督ヨリノ謝電ハ略同意味ニ付略ス  
右ニ對シ小林海軍省副官ヨリ通牒（大正八年一月二日）

別紙在新嘉坡千坂第一特務艦隊司令官電報茲ニ轉送致候

（別紙）

千坂第一特務艦隊司令官ノ謝電（十二月三十日海軍省著）

大岡衆議院議長へ

衆議院ノ叮重ナル決議ニ接シ感銘ノ至ニ堪ヘス茲ニ麾下一同ヲ代表シ深厚ナル謝意ヲ表ス  
右可然御披露ヲ請フ

右ノ外第二特務艦隊司令官ノ謝電（大正八年一月二日著）黒井第三艦隊司令官ノ謝電（十二月二十九日著）古川淺間艦長ノ謝電（十二月二十九日著）ハ略同意味ニ付略ス

第四十二回議會（大正九年一月二十二日）

歐洲ノ戰亂勃發スルヤ我カ陸海軍ハ聯合與國ト協力シテ海陸ニ策動シ交戰五箇年備サニ艱苦ヲ嘗メ報效ノ誠ヲ致シ皇國ノ威武中外ニ發揚セリ衆議院ハ茲ニ院議ヲ以テ陸海軍將卒ノ功勞ヲ感謝ス

右ニ對スル加藤海軍大臣ノ謝辭

唯今今回ノ戰役ニ出征致シマシタコトニ付キマシテ、此平和克復ノ機會ニ於テ、感謝ノ意ヲ表セラレル決議文ヲ、滿場一致ヲ以テ御可決ニナリマシタ、誠ニ感謝ニ堪ヘナイ次第デゴザイ

附錄 五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶（一）



マス、茲ニ海軍ヲ代表致シマシテ、深厚ナル謝意ヲ表シマス、尙御趣意ノ在リマス所ハ、速ニ各指揮官ニ傳達ヲ致シマス心得デゴザイマス、御禮ヲ申上ゲマス  
右ニ對スル田中陸軍大臣ノ謝辭

唯今ノ深厚ナル御決議ニ對シマシテ、私ハ茲ニ陸軍ヲ代表シテ、深ク感謝ノ意ヲ表シマス、此同情アル決議ハ、直チニ之ヲ在外ノ各部隊ニ傳ヘマス考デゴザイマス、之ヲ聞キマシタ各部隊ハ之ガタメニ一層ノ士氣ヲ旺盛ナラシメルコトト存ジマス、茲ニ御禮ヲ申上ゲマス  
右ニ對シ各駐在地司令官及師團長ヨリ議長宛ニ謝電二十七通ヲ受領セリ

(二) 軍隊慰問ニ對スル謝電及答電竝御下賜品

(大正七年十一月一日)

浦潮派遣軍隊慰問ニ關シ山梨陸軍次官ヨリ大岡議長宛通牒

曩ニ出征軍隊慰問ノ爲西伯利及北滿地方へ出張セラレタル衆議院議員望月圭介君一行ノ鄭重ナル慰問ニ關シ浦潮派遣軍司令官ヨリ左記ノ通り傳達方取計ハレ度旨電報有之候條及通牒候也

左記

海外遠路ノ處特ニ代表者ヲ差遣シ且慰問品ヲ贈與セラレ一同感謝ノ至リニ堪ヘス茲ニ部下

同ヲ代表シ謝辭ヲ述フ

大谷軍司令官

(大正八年六月十六日)

第二回浦潮派遣軍隊慰問ニ關シ司令官及師團長ヨリノ謝電竝答電

在浦潮川原第五戰隊司令官ヨリ大岡議長宛電報(小林海軍省副官ヨリ吉田翰長宛移牒)(六月十四日)

衆議院ハ特ニ慰問使ヲ當隊ニ派遣セラレ鄭重ナル慰問品ヲ忝ウシ誠ニ感謝ノ至ニ堪エス益報公ノ誠ヲ效シ興望ニ副ハムコトヲ期ス茲ニ麾下一同ヲ代表シ深厚ナル謝意ヲ表ス

在西伯利第三師團長ヨリ大岡議長宛謝電 (七月五日)

暑中遠路代表議員ヲ派遣セラレ親シク各部隊ノ慰問ヲ辱フシ感謝ニ堪ヘス一行ハ本三日無事當師團守備管區ヲ辭去セラレタルニ際シ茲ニ謹テ謝意ヲ表ス

右ニ對スル大岡議長ヨリ陸軍次官ヲ經テ第三師團長ヘノ答電 (同日)

慰問議員團貴管區滯留中種々御優遇ヲ受ケ今其ノ離去ニ際シ却テ鄭重ナル謝辭ヲ辱フシ感佩ニ堪ヘス茲ニ一行ニ代リテ深厚ナル謝意ヲ表シ併セテ閣下及將校士卒ノ健康ヲ祈ル

附錄 五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶 (二)



在西伯利第十四師團長ヨリ大岡議長宛謝電 (同九日)

貴院ヨリ特ニ其ノ代表者ヲ遠ク此地ニ派遣シ我師團ノ各隊ヲ親シク慰問シ其ノ實況ヲ視察セシメラレタルニ對シ隸下一同ヲ代表シ滿腔ノ謝意ヲ表スルト同時ニ益奮勵努力以テ國民ノ期待ニ添ハンコトヲ期ス

右ニ對スル陸軍次官ヲ經テ第十四師團長ヘノ答電 (同月十日)

我議員團貴師團訪問ノ際ハ種々御優遇ヲ受ケ今又鄭重ナル謝辭ヲ辱フシ感佩ノ至ニ勝ヘス茲ニ貴師團ニ對シ深甚ナル敬意ヲ表シ併セテ閣下及將校士卒ノ健康ヲ祈ル

在浦鹽大谷軍司令官ヨリ大岡議長宛謝電 (同十六日)

貴院西伯利派遣議員團ハ艱難ナル長途ノ旅行ヲ意トセス甚大ナル精勵ヲ以テ北滿並西伯利派遣軍全部ニ對シ一々懇篤ナル慰問ヲ與ヘラレ感謝ニ堪ヘス茲ニ麾下一同ヲ代表シ衷心ヨリ深厚ナル謝意ヲ表ス

右ニ對スル大岡議長ヨリ陸軍次官ヲ經テ在浦鹽大谷軍司令官ヘノ答電 (同日)

我議員團西伯利及北滿派遣軍訪問ノ際ハ種々御優待ヲ受ケ今又鄭重ナル謝辭ヲ辱フシ感佩ノ至ニ堪ヘス茲ニ閣下及御麾下一同ニ對シ深甚ナル敬意ヲ表シ併セテ閣下及將校士卒ノ健康ヲ祈ル大井第十二師團長ヨリ大岡議長宛謝電 (七月四日)

無事歸還ニ際シ出征中ハ深厚ナル御同情ト御援助ヲ深謝ス

陸海軍慰問ニ對スル御下賜品

日露戰後ノ際陸海軍傷病兵慰問ノ爲物品ヲ寄贈シ又其ノ釀金ノ過剩ヲ陸軍恤兵部ヘ寄贈シタルニ對シ左ノ通り金杯及木杯ヲ下賜セラレタリ

衆議院議員總代

正三位 松田正久

明治三十七八年戰役ノ際報國ノ旨意ヲ以テ恤兵用品寄附候段奇特ニ候條其賞トシテ金杯壹箇下賜候事

明治三十八年六月二十七日

賞勳局總裁 從二位勳一等 子爵 大給 恆

衆議院議員總代

松田正久

明治三十七八年戰役ノ際報國ノ旨意ヲ以テ恤兵費ノ内へ金貳百六拾圓寄附候段奇特ニ候條其



賞トシテ木杯壹組下賜候事

明治二十八年十月一日

九十六

東京府知事 正三位勳三等 男爵 千家 尊 福

(金杯及木杯ハ庶務課會計係ニ於テ保管ス)

### (三) 凱旋ニ關スル決議

第二十一回議會 (明治二十七年十二月二十八日)

帝國聯合艦隊ハ今ヤ旅順敵艦隊ヲ殲滅シ其封鎖ノ一部ヲ撤スルニ至ル是レ將校士卒ノ終始克ク其任務ヲ遂行セシニ由ルト雖モ東郷聯合艦隊司令長官ノ籌略機ニ中リ指揮宜キヲ得タルニ非スンハ馬ソ克ク今日ノ大勳ヲ樹ツルヲ得ンヤ衆議院ハ東郷聯合艦隊司令長官ノ凱旋ニ際シ茲ニ院議ヲ以テ特ニ歡迎ノ意ヲ表ス

### (四) 軍隊後援ニ關スル決議

第八回議會 (明治二十八年二月一日)

本院ハ征清ノ

大詔ヲ遵奉シ交戦ノ目的ヲ達シ帝國ノ光榮ヲ全フスルハ前途尙遠キヲ信ス故ニ之ニ伴フ軍資ノ支出ハ更ニ幾許ヲ要スルモ進テ之ヲ協贊スヘシ特ニ茲ニ決議シテ本院ノ意志ヲ明ニス

第二十回(臨時)議會 (明治二十七年三月二十九日)

征露ノ 聖詔ハ公明正大專ラ東洋ノ平和ヲ軫念シ給フニ出ツ我帝國ノ臣民タルモノ孰カ鞠躬盡瘁以テ

盛旨ニ獎順セサラムヤ本院ハ乃チ國民報國ノ誠意ヲ體シ政府求ムル所ノ軍資ヲ辨給シ以テ戰費ニ缺クル所ナカラムコトヲ圖レリ惟フニ今ヤ戰端僅ニ開ケ我艦隊ノ奏功偉大ナルモノアリト雖全局ノ大捷ヲ收メ東洋ノ平和ヲ克復スルハ前途猶遠ニ屬ス其ノ必要ノ戰費ノ如キハ本院ノ固ヨリ吝マサル所ナリ本院ハ切ニ望ム内閣大臣ハ宏謨ヲ翼贊シ運籌畫策能ク機宜ニ適シ速ニ戡定ノ功ヲ致サムコトヲ茲ニ特ニ決議シテ國民意志ノ在ル所ヲ表明ス

### (五) 「ジヨツフル」元帥歡迎ノ決議

第四十五回議會 (大正十一年二月一日)

歐洲大戰ニ於ケル佛國々民ノ義勇ト「ジヨツフル」元帥ノ偉勳トハ世界ノ平和ヲ促進シ人類ノ福祉ニ貢獻スルモノ大ナリ今ヤ元帥至高ノ使命ヲ齎シテ我カ國ヲ訪ハル兩國ノ交際益親善ヲ

附錄 五 帝國軍隊ニ對スル決議、慰問、答辭及挨拶 (三一五)

九十七



加フルハ我カ國民ノ洵ニ慶幸トスル所ナリ衆議院ハ茲ニ元帥ニ對シ特ニ院議ヲ以テ歡迎ノ誠意ヲ表ス

## 六 慰問及挨拶(帝國軍隊ニ對スル分ヲ除ク)

### (一) 伏見宮博恭王殿下御負傷ノ際御見舞書竝挨拶

(明治三十七年八月十日)

衆議院ハ海軍少佐勳一等博恭王殿下本月十日旅順口沖ニ於テ御勇戰中御負傷アラセラレタル報ニ接シ恐懼ノ至ニ堪ヘス茲ニ謹テ御容體ヲ奉伺シ併テ御平癒ノ速ナランヲ奉祈ス  
右ニ對スル御挨拶(同月二十九日)

衆議院ノ鄭重ナル御見舞ヲ受ケ満足ニ思召サル

### (二) 北白川宮成久王殿下同妃殿下竝朝香宮鳩彦王殿下ノ御奇禍ニ懼ラセラレタル際御見舞電報及御謝電

(大正十二年四月四日)

衆議院ヲ代表シ謹テ成久王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ妃殿下竝鳩彦王殿下ノ御快癒ヲ祈リ奉ル右夫々言上ヲ乞フ



右ニ對スル御謝電(大正十二年五月五日)

奇禍ニ際シ貴院ヨリ鄭重ナル御見舞ヲ受ケタルモ當時症狀許サザリシ處昨今逐次快方ニ向フニ及ヒ遅延ナカラ御厚意ヲ深謝ス

(三) 伊藤内閣總理大臣負傷セラレタル際ノ慰問 (十一月二十九日院議ニ依リ

議長往訪)ニ對スル挨拶

第四回議會 (明治二十五年十一月二十九日)

此開院早々ノ時ニ方リ此不幸ニ逢ヒ諸君ニ見ユルヲ得サルハ誠ニ遺憾ノ至ニ候

右ニ付早速諸君ノ御見舞ヲ忝フシ不知所謝次第ニ候何レ快癒早々自身出院ノ折ヲ以テ親シク御禮可致候幸ニ此意ヲ諒セラレンコトヲ冀フ

(四) 伊國大震災ノ際慰問並挨拶

第二十五回議會 (明治四十二年一月七日)

日本帝國衆議院ハ貴帝國「シシリ」及「カラブリア」ニ於ケル悲惨ナル震災ノ報ニ接シ痛歎ノ至ニ堪ヘス茲ニ本院ヲ代表シテ同情ノ誠ヲ致ス

衆議院議長 長谷場純孝

右ニ對スル在伊太利林大使ヨリ外務省ヘノ電報(同月十五日)

我衆議院ノ弔辭ハ直ニ外務大臣ヲ經テ伊國代議院議長ニ轉達方ヲ依頼シタルニ外務大臣ヨリ相違ナク送達セル旨回答アリ尙念ノ爲代議院ニ問合ハセタルニ右ノ弔辭ニ接セルト共ニ議長ヨリ謝電ヲ我衆議院議長ニ發送セル由ナリ

石井外務次官ヨリ林田書記官宛通牒(同年三月三日)

貴院議長ヨリ伊國代議院議長宛同國震災ニ關スル弔詞ハ本年一月七日林大使ヨリ伊國外務大臣ヲ經テ同議長ヘ轉達相成候處今般別紙寫之通回答有之候旨同大使ヨリ通知有之候間可然御取計相成度此段申進候也

(別紙)

一九〇九年一月九日羅馬府ニ於テ

大使閣下

本月七日付ヲ以テ閣下ヨリ御送達相成候通知書第五號領掌候段回答申上候  
予ハ閣下ニ貴國衆議院議長殿ヨリ過般當國「カラブル」及「シシール」ニ起リタル震災ニ對シ御慰弔ニ預リ候電報ノ儀ハ早速其寫ヲ當國下院議長殿ニ回送致候儀右御報知申上候

附錄

六 慰問及挨拶

(帝國軍隊ニ對スルヲ除ク)

(三、四)

百一



閣下ノ御懇篤ナル御通告ヲ感謝スルト共ニ閣下ハ予カ閣下ニ對スル最高ノ敬意ヲ嘉納セラレン事ヲ希望致候

チトニー(自署)

羅馬府ニテ

日本國大使林男爵閣下

(五) 聯合軍ニ對スル慰問ノ決議

第三十八回議會(大正六年一月二十三日議決)

歐洲ノ戰亂勃發已來年ヲ閱スルコト既ニ三歲我カ聯合諸國ハ正義ト人道トノ爲ニ不屈不撓以テ終局ノ目的ヲ達セスムハ已マサラムトス帝國衆議院ハ茲ニ聯合國民ノ剛健ナル意氣ト壯烈ナル犠牲ニ對シ滿腔ノ敬意ト同情ヲ表ス

(六) 佛國首相遭難ノ際慰問並謝電

第四十一回議會(大正八年二月二十五日議決)

佛國首相クレマンソー閣下遭難慰問(外務省ヲ經テ電報)

日本帝國衆議院ハ講和會議議長佛國首相クレマンソー閣下カ兇漢ノ爲負傷セラレタル報ニ接シ憂慮ニ堪ヘス特ニ院議ヲ以テ深甚ナル同情ヲ表シ併テ平癒ノ速ナラムコトヲ祈ル

右ニ對スル謝電譯文(大正八年二月六日)

余ハ深ク閣下カ日本衆議院ヲ代表シテ表明セラレタル感念ヲ感荷シ余ノ誠實ナル謝辭ヲ議會ニ傳ヘラレンコトヲ悃請ス

巴黎千九百十九年三月四日午後八時十分

佛蘭西共和國內閣議長

ヂエ、クレマンソー

東京衆議院議長大岡育造閣下



## 七 弔詞及通牒

### (一) 皇族及王族ノ薨去

第八回議會 (明治二十八年一月二十四日)

衆議院ハ陸軍大將大勳位熾仁親王殿下ノ薨去ヲ追悼シ奉リ恭シク弔詞ヲ奉呈ス

(明治二十八年十一月五日)

衆議院ハ陸軍大將大勳位能久親王殿下ノ薨去ヲ追悼シ奉リ恭シク弔詞ヲ奉呈ス

(明治四十二年十二月十一日)

神宮祭主大勳位賀陽宮殿下御薨去アラセラレ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ謹テ弔詞ヲ奉ル

衆議院議長 長谷場純孝

(大正二年七月十二日)

衆議院ハ議定官元帥海軍大將大勳位功三級威仁親王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭ク弔詞ヲ奉呈ス

第四十一回議會 (大正八年一月二十五日)

衆議院ハ大勳位李太王殿下薨去ノ報ニ接シ哀悼ノ至ニ勝ヘス茲ニ本院ノ決議ヲ以テ恭ク弔意ヲ



表ス

右ニ對シ原内閣總理大臣ヨリノ通牒

李王職長官ヨリ原内閣總理大臣宛電報(寫)(大正八年一月三十日著)

大勳位李太王殿下薨去ニ付衆議院ハ深厚ナル弔意ヲ寄セラレタル旨決議御傳達ノ趣拜承直ニ李王殿下ニ言上シタルニ衆議院ノ好意ニ對シ深く感謝セラル

右然ルヘク御挨拶ヲ希フ

(大正十一年七月三日)

衆議院ハ議定官元帥海軍大將大勳位功三級依仁親王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭ク弔詞ヲ奉呈ス

第四十六回議會(大正十二年二月六日)

衆議院ハ元帥陸軍大將大勳位功二級貞愛親王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ奉リ恭ク弔詞ヲ奉呈ス

## (二) 外國皇帝ノ崩御及大統領ノ逝去

第十五回議會(明治三十四年二月二日)

衆議院ハ深く大不列顛國皇帝ヴキクトリヤ陛下ノ崩御ヲ哀悼シ特ニ本日休會ス

右ニ對スル加藤外務大臣ヨリノ通牒

(二月十四日附ノ分)

故英國皇帝陛下御大葬ノ日貴院ニ於テ哀悼ノ意ヲ表シ休會セラレタルコトハ當時駐劄林特命全權公使ニ電報シテ同國政府ニ通知ニ及ハシメ候處右ノ件ニ關シ英國新皇帝陛下ノ最モ深厚ナル謝意傳致方別紙譯文ノ通二月九日附ヲ以テ同國外務大臣ヨリ申越候趣林公使ヨリ電報有之候ニ付此段及御通知候也

(電信譯文)

日本國貴族院及衆議院ハ故皇帝ノ紀念ノ爲メ陛下ノ大葬日ニ於テ休會セラレ以テ同情及尊敬ヲ表セラレタルハ皇帝ニ於テ最モ深く感謝セラレタル所ナリ本大臣ハ此懇篤ナル感情及尊敬ノ自然的發動ニ對シ陛下ノ最モ深厚ナル謝意ヲ閣下ヨリ其筋ヘ傳致セラレシコトヲ冀望ス

(五月二十七日附ノ分)

在本邦英國公使ハ曩ニ故英國皇帝陛下御大葬ノ當日帝國議會カ兩院同時ニ痛悼ノ意ヲ表彰スルノ決議案ヲ通過シ尙同日特ニ休會シテ築地トりにていー教會堂ニ於テ執行セラレタル弔祭式ニ代表者ヲ列席セシメタル次第ヲ本國政府ニ報告ニ及ヒタル處同國外務大臣ハ右報告ヲ新皇帝陛下



下へ奏上ニ及ヒタル趣ニテ 陛下ハ之ニ就キ帝國議會カ 故陛下ニ對シ表彰シタル深厚ナル敬意ヲ嘉納セラレ且ツ今帝位ニ 陛下ノ臣民ノ愁傷ニ對シ日本全國民カ一般痛惜ノ意ヲ表シタルコトヲ御承知相成リ深ク感動セラルルニ付其旨本邦英國公使ヲ經テ其向へ相通シ候様外務大臣へ勅令アリタル趣ニテ同公使ヨリ右ノ聖意ヲ閣下竝ニ貴院議員諸君ニ相通シ候様本大臣マテ依頼申出候間右御承知ノ上夫々通達方可然御取計相成度此段申進候敬具

(大正三年八月十三日) 亞爾然丁國大統領逝去ニ付加藤外務大臣ヨリ奧議長宛通牒

亞爾然丁國大統領さえんす、べにあ氏本月九日逝去致候旨同國政府ヨリ通知有之候趣在智利國飯島臨時代理公使ヨリ電報有之候條此段及御通牒候也

(大正五年六月七日) 支那共和國大統領袁世凱逝去ニ付石井外務大臣ヨリ島田議長宛通牒

支那共和國大統領袁世凱昨六日午前十時逝去セシ旨竝ニ約法ニ依リ副大統領黎元洪代リテ大統領ノ職權ヲ行ヒ同副大統領本日午前十時就職可致旨在京同國臨時代理公使ヨリ通知有之候條此段及御通牒候也

### (三) 元勳其ノ他ノ薨去

第一回議會 (明治二十四年二月十九日)

衆議院ハ明治ノ元勳國家ノ柱石タル内大臣正一位大勳位公爵三條實美公ノ訃音ニ接シ痛惜哀悼ノ至ニ耐ヘス恭ク茲ニ弔詞ヲ呈ス

第八回議會 (明治二十八年二月二十二日)

衆議院ハ忠勇ナル陸軍少將從四位勳三等大寺安純君戰死ノ訃音ニ接シ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

第十三回議會 (明治三十二年一月二十五日)

本院ハ國家ニ功勳アル樞密顧問官正二位勳一等伯爵勝安房君ノ訃音ニ接シ哀悼ノ至ニ耐ヘス茲ニ弔詞ヲ呈ス

第十五回議會 (明治三十四年二月七日)

衆議院ハ夙ニ開國ノ說ヲ唱ヘカヲ教育ニ致シタル福澤諭吉君ノ訃音ニ接シ茲ニ哀悼ノ意ヲ表ス

第二十一回議會 (明治三十八年二月四日)

衆議院ハ國家ニ勳功アル樞密顧問官正二位勳一等伯爵副島種臣君ノ薨去ヲ聞キ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

同上 (明治三十八年二月十四日)

衆議院ハ戰功顯著ナル陸軍中將從三位勳一等功三級松村務本君ノ薨去ヲ追悼シ茲ニ弔意ヲ表ス



右ニ對シ寺内陸軍大臣ヨリ通牒

貴院書記官長ヨリ御送付相成候貴院カ松村陸軍中將ノ薨去ニ對スル深厚ナル哀悼ノ決議ハ早速同遺族へ傳達致候處遺族一同感泣拜謝罷在候右御通知旁御挨拶申上候敬具  
右ニ對スル嗣子松村操君ヨリノ謝辭

貴院ハ父陸軍中將從三位勳一等功三級松村務本薨去ニ付特ニ院議ヲ以テ生前ノ戰功ヲ贊揚シテ弔意ヲ表セラレ寔ニ感激ニ堪ヘス茲ニ謹テ謝辭ヲ呈ス  
(明治四十二年十月二十六日)

樞密院議長從一位大勳位公爵伊藤博文君薨去セラル

公夙ニ皇政維新ノ大業ヲ贊襄シ開國進取ノ國是ヲ翼立シ入りテハ大鼎ヲ鹽梅シ出テテハ樽俎ニ折衝シ常ニ國運ノ興隆ヲ扶ケ文明ノ進歩ト平和ノ確保ニ心力ヲ注キ寔々匪躬五十年殊ニ公力千歲不磨ノ憲法ヲ起草シ其ノ濟美ニ盡瘁セラレタルハ國民ノ齊シク仰視スル所ナリ今ヤ老軀遙カニ滿洲ニ入り更ニ大ニ貢獻スル所アラムトシ不幸韓人ノ凶手ニ殪ル衆議院ハ國家ノ柱石ヲ喪ヒ哀悼已ムナシ茲ニ恭シク弔詞ヲ呈ス

第二十一回議會 (大正三年三月七日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ且本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル司法大臣正二位勳一等男爵

松田正久君ノ薨去ヲ哀悼シ特ニ院議ヲ以テ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正四年九月四日)

衆議院ハ國家ニ勳勞アル維新史料編纂會總裁臨時編修局顧問貴族院議員從一位大勳位侯爵井上馨君ノ薨去ヲ聞キ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正五年十二月十日)

衆議院ハ國家ノ元勳タル議定官内大臣元帥陸軍大將從一位大勳位功一級公爵大山巖君ノ訃音ニ接シ哀悼ノ至ニ堪ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正八年七月十九日)

衆議院ハ維新ノ鴻業ニ贊襄シ憲政ノ興隆ニ盡瘁セラレタル從一位勳一等伯爵板垣退助君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

(大正十年十一月六日)

衆議院ハ多年憲政ノ爲ニ盡瘁シ屢々輔弼ノ重任ニ膺リ現ニ内閣ノ首班タル議員正二位大勳位原敬君ノ不幸兇手ニ罹リ薨去セラレタルヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第四十五回議會 (大正十一年一月十七日)

衆議院ハ夙ニ維新ノ鴻業ニ參シ屢々輔弼ノ重任ニ膺リ憲政ノ發達文化ノ進展ニ貢獻セラレタル



國家ノ元勳從一位大勳位大隈重信君ノ薨去ヲ哀悼シ茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス  
同 (大正十一年二月七日)

議定官樞密院議長元帥陸軍大將從一位大勳位功一級公爵山縣有朋君薨去セラル  
君至誠純忠夙夜寤々心ヲ國事ニ勞シ文ニ武ニ勳績炳耀タリ衆議院ハ其ノ訃報ニ接シ哀悼ノ至ニ  
勝ヘス茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

大正十二年八月二十七日

衆議院ハ多年輔弼ノ重任ニ膺リ現ニ内閣ノ首班タル元帥海軍大將正二位功二級子爵加藤友三郎  
君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

#### (四) 議員ノ逝去

第一回議會 (明治二十三年十二月二十三日)

衆議院議員ハ議員法貴發君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

#### (備考)

第二回議會ヨリハ衆議院議員ヲ衆議院ト改メ位勳アレハ之ヲ記入セリ又第十八回議會  
以後ハ「追悼」ヲ「哀悼」ニ「恭シク」ヲ「恭ク」ニ改メ爾來之ヲ以テ例トス依テ以下之ヲ略ス

普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リタル場合左ノ如シ

(明治三十四年六月二十一日)

衆議院ハ議員星亨君ノ不慮ノ慘禍ニ罹リ長逝セラレタルヲ追悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

(明治三十六年十月三十一日)

衆議院ハ多年帝國議會ノ爲ニ盡瘁シ且本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル衆議院議長正四位勳三  
等片岡健吉君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

#### (議員總代哀悼ノ辭)

私ハ年長者ノ廉ヲ以チマシテ、滿場諸氏ニ代リ、故片岡議長ニ對スル哀悼ノ意思ヲ申述ベマス  
故片岡議長ハ、第六回議會ニ於テ副議長ノ任ニ當ラレ、其後第十二議會ニ於テ議長ニ當選セ  
ラレ、第十八議會マデ七回ノ會期ニ議長ノ職務ヲ執ラレ、議長トシテ不偏不黨嚴正ノ態度ヲ執  
ラレマシテ、國家ノタメニ盡瘁セラレタノデゴザイマス、然ルニ不幸ニシテ、本年十月三十日  
溘然長逝セラレマシタハ、實ニ愛惜痛嘆ノ至リニ堪ヘマセヌノデゴザイマス、私ハ本院諸氏一  
同ニ代リマシテ、茲ニ謹ンデ哀悼ノ意ヲ申述ベマス

(明治四十四年十月四日)

衆議院ハ多年帝國議會ノ爲ニ盡瘁シ且本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル議員正四位勳三等法學



博士鳩山和夫君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第三十一回議會 (大正三年二月十七日)

衆議院ハ帝國議會開設以來常ニ議席ニ列シ再度議長ノ職ニ勤勞セラレタル衆議院議長從三位勳二等長谷場純孝君ノ薨去ヲ哀悼シ本院ノ決議ヲ以テ恭シク弔詞ヲ呈ス

(大正十二年十一月十六日)

衆議院ハ帝國議會開設以來常ニ議席ニ列シ嘗テ本院議長ノ職務ニ執掌セラレタル議員從四位勳二等島田三郎君ノ長逝ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

第四十八回議會 (大正十三年一月四日)

衆議院ハ帝國議會開設以來常ニ議席ニ列シ嘗テ本院議長タリシ議員從三位勳一等河野廣中君ノ薨去ヲ哀悼シ恭ク弔詞ヲ呈ス

## 八 議長、副議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭

### (一) 議長就職ノ辭

第一回議會 (明治二十三年十一月二十七日)

議長中島信行君 諸君ノ推薦ヲ深ク感謝致シマス是ヨリ憲法及議院法ヲ確守シテ我職ヲ盡サウト思ヒマス

第三回議會 (明治二十五年五月四日)

議長星亨君 諸君私ハ諸君ノ推薦ニ依リ而シテ 陛下ノ勅裁ヲ得テ即チ茲ニ議長ノ重職ニ就キマシテ私ノ極メテ榮譽ト致ス所デゴザイマス而シテ私ハ自由黨員デゴザイマス然レドモ議長ノ職ハ——議長ハ即チ全院ノ推ス所デアリ全院ノ輿論ヲ代表スル所デアリマス左スレバ公平ヲ主トシナケレバナラヌコトデアリマス依テ私ハ議長ノ職ヲ執ルニ方ッテハ黨派ノ如何ニ關係セズ彼是ニ偏倚スルコトナク公平ニ事ヲ處スル積リデゴザリマス或ハサウ云フ心デゴザリマスケレドモ人ト云フモノハ随分過チナシト言ハレナイモノデゴザリマスカラ萬一偏倚スル様ナコトガゴザリマシタナラバ即チ諸君ニ於テハ御遠慮ナク其處ハイカナイ斯ウシタラ宜カ

附錄 八 議長副議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭 (二)



ラウト云フコトヲ御遠慮ナク仰シヤッテ貫ヒタイト考ヘマスサウシテ此議長ノ職ヲ行フニ當  
テハ即チ諸君ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌコトゴザイマスカラシテ若シサウ云フコトガアッ  
ナラバ私ハ即チ過ヲ改ムルニハ一向客カナイ即チドシクヤル積リデアリマス因テ聊カ謝辭  
ヲ述ベマシタ譯デゴザリマス

第五回議會 (明治二十六年十二月十五日)

議長楠本正隆君 本日ハ不肖正隆衆議院議長ノ勅任宣下ノ榮ヲ蒙リマシテゴザリマス就キマ  
シテ將來益、勉勵以テ諸君推薦ノ御厚意ニ對フルノ外ハゴザリマセヌ宜シク御頼ミ申上ゲマス  
第六回議會 (明治二十七年五月十四日)

議長楠本正隆君 諸君不肖正隆ハ一昨十二日衆議院議長勅任ノ宣下ヲ蒙リマシテゴザイマス  
是ハ全ク諸君ガ推薦ノ御厚意ニ依リマシタル結果ナルコトハ申上ゲルマデモゴザイマセヌ抑  
モ第六期ノ議會ハ解散後ノ議會デゴザイマシテ最モ大切ナル議會デゴザイマス此議會ヨリシ  
テ不肖正隆ガ議場整理ノ大任ヲ荷ヒマスルノハ諸君ニ謝スルト共ニ無上ノ光榮デゴザイマス  
就テハ益、注意精勵致シテ本職ノ事實ヲ舉ゲマシテ諸君ノ御厚意ニ應ヘマスル覺悟デゴザイ  
マス謹デ此ニ謝辭ヲ申シマス

第七回(臨時)議會 (明治二十七年十月十六日)

議長楠本正隆君 諸君昨十五日ニ於テ衆議院議長勅任ノ恩命ヲ蒙リマシタ今ヤ懸軍征清ノ秋  
ニ當リ又總選舉後初メテノ議會ニ際シ極メテ大切ナル時ニ於キマシテ議場整理ノ任ヲ擔ヒマ  
スルノハ一層光榮ニ存ジマスル就キマシテハ不行届ナガラ誠心誠意ヲ注ギ職務ヲ勵ミ法律規  
則ニ依ツテ公平ヲ期シ以テ諸君ガ御推薦ノ厚意ニ對ヘマスル覺悟ヲ致シマシテゴザイマス茲  
ニ議長ノ職ニ就キマスルノ披露ニ併セテ謹デ諸君ニ御禮ヲ申上ゲマス

第十回議會 (明治二十九年十二月二十二日)

議長鳩山和夫君 諸君ノ御推薦ニ依リマシテ昨日此ノ辭令書ヲ受ケマシテゴザイマス即チ  
從五位法學博士 鳩山和夫

議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任ス

明治二十九年十二月二十二日

內閣總理大臣從二位勳一等

伯爵 松方正義奉

茲ニ御報告ヲ申上ゲマス尙ホ申スマデモナイコトゴザリマスガ就職中ハ法律規則ノ命ズル  
所ニ依リマシテ誠實ニ其職務ヲ盡ス積リデアリマス

第十二回議會 (明治三十一年五月十七日)

附錄 八 議長副議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭 (一)



議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ昨十六日衆議院議長ノ宣下ヲ蒙リマシテゴザイマス誠ニ私ノ光榮ニ存ジマス然ルニ不肖ノ身ヲ以テ此重職ヲ瀆シマスノハ其職務ニ堪エザルコトヲ深ク恐ルルノデアリマス私ハ誠實ニ其職務ヲ努メマスルノ心得デアリマスルガ私ノ至ラザル所ハ何卒諸君ノ御補助アランコトヲ希望致シマス

第十三回議會 (明治三十一年十一月十日)

議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ諸君ノ御推薦ニ依リ衆議院議長宣下ノ榮ヲ辱ウスルニ至リマシタルノハ深ク感激スル所デゴザイマス就キマシテハ不學短才ヲモ願ミマセズ偏ニ諸君ノ御補助ニ依リマシテ其職務ヲ盡サウト思ヒマス諸君幸ニ此意ヲ諒セラレンコトヲ願ヒマスル

第十七回議會 (明治三十五年十二月八日)

議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ昨七日衆議院議長ノ宣下ヲ蒙リマシタ再度議長ノ職ニ就キマスルノハ誠ニ私ノ光榮デアリマシテ深ク諸君ニ謝シマス然ルニ菲才ノ身ヲ以チマシテ此重任ニ當リマスルノハ其職責ヲ盡ス上ニ於テ竊ニ私ノ憂惧スル處デアリマス唯私ハ誠心誠意以テ此職務ヲ行フ考デアリマス幸ニシテ諸君ノ御補助ヲ得マシテ其職務ヲ全ウスルコトヲ得マスルナラバ私ノ幸甚デアリマスル此一言ヲ以テ諸君ニ謝辭ヲ述ベマス

第十九回議會 (明治三十六年十二月七日)

議長河野廣中君 諸君謹ンデ諸君ニ御挨拶ヲ致シマス不肖廣中一昨日衆議院議長任命ノ宣下ヲ蒙リマシタ次第デゴザイマス是ハ浴ク御一同ノ御推薦下サイマシタ結果デゴザイマシテ感謝ニ堪ヘザル次第デゴザイマス固ヨリ不肖ノ身デゴザイマシテ誠ニ缺漏ノ多キコトデゴザイマスガ十分注意ヲ致シマシテ公正至誠議長ノ職ヲ勤メマス心得デゴザイマス尙ホ其至ラザル所ニ至リマシテハ諸君宜シク御扶助アランコトヲ希望スル次第デゴザイマス茲ニ御挨拶ヲ致シマス

第二十回(臨時)議會 (明治三十七年三月十九日)

議長松田正久君 議員諸君不肖正久ハ昨日午後四時十分ヲ以テ參内致スヘキトノ通知ニ接シマシテ議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任ストノ辭令ヲ拜受致シマシタ畢竟議員諸君ノ御推薦ノ結果ニ出デタルコトデゴザイマシテ我が短才微力此重任ヲ全ウシ能フヤ否ヤニ至ッテハ衷心甚ダ懼ルル所デゴザイマス唯諸君ノ御助ケニ依ッテ過チ少カラシコトヲ期スルノミデゴザイマス又私ハ一個人トシテハ政黨所屬ノ一議員デゴザイマスルガ議長ノ職務ヲ取扱フニ於テハ尙更最モ公平無私ヲ要スルコトハ承知致シテ居リマスル故ニ一毫モ偏頗心ノ無キコトニ至ッテハ私ハ神明ニ誓ッテ茲ニ言明ヲ致スノデゴザイマス私ハ元來議院ノ慣例ナドニ就イテハ甚ダ無頓著デゴザイマシテ一向通曉致シテ居ナイノデゴザイマスルニ必ズ時アッテ慣例ニ違



フコトガアルカモ知レマセヌ或ハ又自ラ信ズル處ガゴザイマシテ議院ノ神聖ヲ保チ又議院ノ威嚴ヲ持スルタメニ斯ク致シタナラバ宜カラウト云フコトガアルカモ知レマセヌ而シテソレ等ノ所ヨリシテ又從來ノ慣例ニ聊カ違フコトガナイトハ計ラレマセヌガ併シ是ハ決シテ惡意ヲ以テスルノデハナイノデアリマス故ニ諸君ノ理由アル御批難ニ至ッテハ甘ジテ之ヲ受ケマスルカラ御遠慮ナク十分ノ御忠告ヲ請ケタイノデゴザイマス御挨拶旁々茲ニ一言ヲ呈シタ次第デゴザイマス

第二十二回議會 (明治三十九年一月二十五日)

議長杉田定一君 不肖今般衆議院議長ノ御任命ヲ一昨日辱ウ致シマシタ、是レ全ク諸君御推薦ノ然ラシムルトコロト感謝ヲ致シマス次第デゴザリマス、退イテ願ミマスルニ、不肖ノ身ヲ以テ此重任ニ堪ユルヤ否ヤト云フコトニ付イテハ、甚ダ恐懼ノ至リニ堪ヘナイ次第デゴザリマス、併ナガラ誠實ニ公平ニ職務ヲ執ルノ考デゴザイマス、何卒諸君ノ御補助ニ依リマシテ、此職務ヲ全ウ致サンコトヲ希望致シマス次第デゴザイマス、茲ニ一言以テ就任ノ御挨拶ヲ致シマス

第二十五回議會 (明治四十一年十二月二十四日)

議長長谷場純孝君 諸君一昨日當院ニ於テ議長選舉ノ結果殆ド滿場一致トモ申スヘキ最大多

數ヲ以テ不肖私ニ同情ヲ寄與セラレ昨日午前十時議院法ノ第三條ニ據リ衆議院議長ニ任ズトノ大命ヲ蒙リマシタ實ニ私身上ニ取リマシテハ無上ノ光榮トスルトコロデゴザイマス全ク諸君最大多數御同情ノ結果ノ然ラシムルトコロト信ジマスカラ茲ニ慎ンデ諸君ノ御厚誼ヲ感謝致シマス元來私ハ短才淺識ニシテ此重大ナル責任ヲ竭シ了フスルヤ否ヤニ想到スレバ甚ダ恐懼ニ堪ヘナイ次第デゴザイマスサリナガラ既ニ大命ヲ拜シマシタ以上ハ最モ忠實最モ公平ニ心身ヲ職務ノタメニ捧ゲテサウシテ努力センコトヲ諸君ノ前ニ誓ヒマス勿論私ノ及バザルトコロハ懇切ナル御注意ト御遠慮ナキ御忠告ヲ垂レラレンコトヲ希望致シマス終リニ臨ミ諸君ノ此御同情ノ深カランコトト且ツ長カランコトヲ祈ルト同時ニ重ネテ茲ニ諸君ノ御厚誼ヲ感謝致シマス

第二十八回議會 (明治四十四年十二月二十五日)

議長大岡育造君 不肖育造ハ昨日議院法第三條ニ依リ、衆議院議長ニ任ズルノ榮ヲ拜シマシテゴザイマス、是ハ偏ニ一昨日諸君大多數ノ投票ノ結果ニ依ルコトデゴザイマシテ、深ク諸君ニ對シテ陳謝致シマス、唯今ヨリ職ニ就キマスルニ當リマシテハ、議院ノ法律規則ニ從ヒ典例ニ依リマシテ、公平無私諸君ノ議權ヲ尊重致シマシテ、我立法機關ノ穩健ナル發達ニ向ッテ裨補アランコトヲ期スルノガ衷心ノ願デゴザイマス、併ナガラ御承知ノ如ク微力短才且不徳ノ



身デゴザイマス、諸君ノ寛大ナル雅量ニ依ッテ、且議場ニ老練ナル御方、デゴザイマスカラ、十二分ノ御援助ヲ深ク仰ギマスル次第デアリマス、終リニ臨ミマシテ一昨日ノ議場ニ於テ、大多数ヲ以テ當選ノ榮ヲ得ルニ至リマシタ段ヲ深ク感謝致シマス

第二十九回(臨時)議會 (大正元年八月二十二日)

議長大岡育造君 不肖育造ハ微力短才且不徳ニシテ、再ビ諸君大多数ノ御推薦ニ依リマシテ、昨日議院法第三條ニ依ッテ、衆議院議長ニ任ズルノ恩命ヲ拜シマシテゴザイマス、偏ニ諸君寛大ノ雅量、深厚ナル御同情ノ結果ニ外ナラヌ次第デアリマシテ、深ク感謝ヲ表シマス、職ニ當リマシテハ法律規則ヲ守リ、典故ニ從ヒマシテ、公平無私、諸君ノ議權ヲ尊重シマシテ、我が憲政ノ穩健ナル發達ニ向ッテ、微力ヲ致シタイト考ヘマス、前任中ニ於キマシテ、往々不手際ナルコトモアリタルニ拘ラズ、茲ニ再ビ重職ヲ忝ウ致シマシタノハ、誠ニ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌ、我が衆議院ニ於キマシテハ、再選ノ榮ヲ荷ハレタル先賢ニハ、片岡楠本兩君アルノミデアリマス、私ガ此度再任ヲ得マシタルコトハ、謝スルニ言葉ヲ知ラザルトコロデゴザイマス、尙昨日ノ投票ハ稀ニ見ル程ノ大多数ヲ與ヘラレマシテ、重ネ、諸君ノ御厚意ニ對シマシテ、感謝スル次第デゴザイマス

第三十一回議會 (大正三年三月七日)

議長長谷場純孝君 諸君私ハ唯今議院法ノ第三條ニ依リ衆議院議長ヲ拜命致シマシタ私ハ曩ニ第二十五回ヨリ第二十七回議會ノ間此重職ヲ瀆シタノデゴザリマスガ再ビ諸君ノ御推薦ニ依リ本職ニ就キマスノ、洵ニ光榮トスル所デゴザリマス私ハ公平ニ誠實ニ其職務ニ從事致シマシテ諸君ノ御厚意ニ對スル考デゴザリマス諸君ニ於テモ一層ノ御同情ト御援助トヲ與ヘラレンコトヲ希ヒマス茲ニ一言ヲ述ベテ御挨拶ヲ申上ゲマス

同 (大正三年三月十七日)

議長奥繁三郎君 諸君、私ハ唯今議院法第三條ニ依リマシテ衆議院議長ノ大命ヲ拜シマシテゴザリマス御承知ノ如ク徳無ク才無ク殊ニ議院ノ典例ニ暗イ私ガ此大任ヲ拜シマシタノ洵ニ恐懼ニ堪ヘマセヌ次第デゴザリマス私ハ議院法並ニ規則等ニ遵ヒマシテ最モ公平ニ其職責ヲ竭シタイ考デゴザリマス願クハ諸君ノ御同情ト御援助ニ依リマシテ其職責ヲ竭スコトヲ希ヒマスデゴザリマス茲ニ諸君ノ御厚意ヲ感謝致シマシテ御挨拶ヲ申上ゲマス

第三十六回議會 (大正四年五月十八日)

議長島田三郎君 不肖ナル私、諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、昨日午後ニ議長ノ職任ヲ命ゼラレマシタ、甚ダ議院ノ慣例ニ疎イ不才ノ私デゴザイマス、誰心ヲ盡シテ公平ヲ維持スルノ精神ヲ御認メ下スツテ、諸君ノ御援助ヲ俟ッテ幸ニ過少キヲ得マシレバ、私ニ取ッテ甚ダ希望ニ副ウタ



譯デゴザイマス、要スルニ法律規則ニ遵ヒマシテ、又慣例ヲ重ンズル心得デアリマス、慣例ノ事ニ就テ諸君ガ斯ノ如キ事ハ改メタイト云フコトハ大抵ハ御協議ヲ俟ッテ左様ニ致ス心得デアリマス、總テノ事ニ就テ諸君ノ御援助ヲ俟タナケレバナラヌコトハ申スマデモナイコトデアリマス、何分ノ御心添ヲ切ニ願フノデアリマス

第三十九回議會 (大正六年六月二十二日)

議長大岡育造君 諸君、私ハ昨二十一日參内致シマシタ、議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任命スルノ辭令ヲ拜シマシタ、願ミマスレバ私ノ如キ不肖ヲ以テ、曩ニ既ニ二回此重職ヲ拜シマシタ、何等貢獻スル所モナク慚愧ノ至リニ堪ヘマセヌ、然ルニ今ヤ宇内ノ變局ニ際シテ、昨日諸君ノ御推薦ヲ蒙リマシテ二度此榮職ヲ汚シマス、洵ニ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌ、唯職ニ當リマシテハ、法規典例ニ從ヒマシテ、公平無私努メテ諸君ノ議權ヲ尊重致シマシテ、國民民福ノ増進ヲ期シ憲政ノ穩健ナル發達ヲ希望シテ已マヌノミデアリマス、唯今職ニ就キマスルニ當リマシテ、諸君ノ御推薦ヲ謝シマシテ、併セテ將來ノ御援助ヲ願ヒマス

第四十三回(特別)議會 (大正九年六月三十日)

議長奥繁二郎君 諸君、私ハ昨日議院法第三條ノ規定ニ依リマシテ、衆議院議長ニ任セラレマシタ、就キマシテハ嚴正ト公平ヲ旨ト致シマシテ、此重任ヲ全ウセンコトヲ期シテ居リマス、

何卒諸君ノ御援助ヲ希望致シマス、一言御挨拶ヲ致シマス

第四十六回議會 (大正十二年二月十七日)

議長粕谷義三君 諸君、私ハ此場合一言御挨拶ヲ申述ヘタイト思フノテアリマスルカ、只今當席ヲ保チマス其人カコサイマセヌカラ甚タ失禮テハコサイマスルカ、此席ヨリ申述ヘルコトノ御許ヲ得タイト思ヒマス、諸君、私ハ曩ニ諸君ノ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ、本院ノ副議長ニ就任致シマシテヨリ以來茲ニ二年有半、此間幸ニモ諸君ノ御同情ト御援助トニ依リマシテ、甚シキ過失モ無ク今日ニ至リマスルコトヲ得マシタノハ、洵ニ私ノ感謝措ク能ハサル所テコサイマス、今ヤ奥前議長ハ御病氣ノ爲ニ其職ヲ辭セラレマシテ、其結果トシテ本日ハ私ノ不肖ヲ以チマシテ、更ニ諸君ヨリ議長ノ候補者トシテ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ、只今議院法第三條ニ依リマシテ「衆議院議長ニ任ス」トノ恩命ヲ拜受致シマシタノテアリマス、洵ニ私ノ身ニ取リマシテハ、光榮之ニ過クルモノハコサイマセヌ、私ハ既ニ諸君ノ御承知下サレマスル如ク、微力短才テコサイマシテ、且ツ議院ノ法規、典例等ニモ慣熟致サヌノテコサイマス、今此大任ヲ拜スルニ方リマシテ、實ニ恐懼措ク所ヲ知ラヌノテコサイマス、サリナカラ既ニ大命ヲ拜シマシタ以上ハ、唯ニ誠實ト公平トヲ信條ト致シマシテ、私ノ此眇タル心身ハ此重要ナル職務ノ爲ニ捧ケマシテ、敢テ粉骨碎身、其職ニ膺リタイト考ヘル次第デアリマス、願クハ今後ハ諸君ノ



一層ノ御同情ト、厚キ御援助ヲ與ヘラレンコトヲ、私ハ偏ニ希望ニ堪ヘナイノテアリマス、茲ニ一言就任ノ御挨拶ヲ申上ケマスルト同時ニ、謹テ諸君ノ御厚誼ヲ感謝致シマス

(二) 副議長就職ノ辭

第一回議會 (明治二十三年十一月二十七日)

副議長津田眞道君 私ハ年ヲ取リマシテ甚ダ此ノ任ニ堪ヘナイカト考ヘマスケレドモ諸君ノ御推薦ヲ蒙リ且ツ 天皇陛下ノ重キ任命ヲ蒙リマシタカラ副議長ノ任ニ就キマスデ御座イマス極メテ賤劣ノ者デ御座イマスカラ何分諸君ノ御協贊ヲ得ナクテハナリマセヌ故ニどうか諸君ノ御協贊ヲ願ヒタイト思ヒマス

第三回議會 (明治二十五年五月四日)

副議長會禰荒助君 諸君私ハ圖ラズモ副議長ノ任ヲ受クルニ至リマシタ何卒宜ク御願申シマス  
第五回議會 (明治二十六年十一月二十七日)

副議長楠本正隆君 茲ニ謹テ皆サマニ御挨拶ヲ申上ゲマス今般衆議院副議長ノ勅任ノ宣下ヲ蒙リマシテゴザイマス是レ全ク諸君ガ御推薦ノ結果デゴザイマシテ一層光榮ニ存ジマスデゴザイマス茲ニ於テハ不肖ヲ願ミズ正ヲ履ミ情ニ泥マス公平ヲ以テ諸君ノ御高意ニ應ヘ此ノ職

ヲ保ツノ覺悟デゴザイマス諸君モ亦宜シク懇ニ御教授ヲ爲シ下サランコトヲ偏ニ冀上ゲ置キマス

第五回議會 (明治二十六年十二月二十九日)

副議長安部井磐根君 不肖磐根去ル二十日ヲ以チマシテ衆議院副議長勅任ノ宣下ヲ蒙リマシタ此段御吹聴ニ及ビマス茲ニ端ヲ更メテ御挨拶ニ及ビマス當職ハ時トシ議長ノ職務ヲ代理スベキタメ院ニ備フルモノデゴザイマシテ不肖磐根ノ如キノ當ルベカラザルコトハ自ラモ信ジテ疑ヒマセヌ然レドモ衆望ヲ集ムル公選ノ重キ衆望ヲ容レサセラレシ宣下ノ畏キ否ミ奉ルベキ様モゴザイマセヌ故ニ御受ヲ申上ゲマシテ扱テ退テ自ラ願ミマスルニ從來短才無識ノ上ニ老衰日ニ加ハリ氣力モ亦日ニ乏シウゴザイマスカラ此上ハ一層奮發一層勉勵而カモ勉メテ嚴格ニ事ニ從フ覺悟デハゴザイマスケレドモ其間豈ニ過ナキヲ得ンヤ多々過モアラント心苦シキ次第デゴザイマス從テ特ニ切ニ諸君ニ望ム諸君ハ磐根ガ職務ヲ行フニ當リ指揮ニ論ナク號令ニ異議ナク苟モ其ノ當宜シキヲ失スルアラバ溫顔假サズ之ヲ責メ之ヲ矯メテ成ルベク正ニ復シ以テ甚シキ失體ナカラヌ様ニ御注意アランコトヲ是レ磐根一己ノタメニ望ムデハゴザイマセヌ實ニ我衆議院ノ體面ノタメニ望ムノデゴザイマス各位諸君願クバ此ノ愚言ヲ容レラレンコトヲ敢テ豫メ懇請シマス

附錄 八 議長副議長ノ挨拶及議員ノ祝辭謝辭



第六回議會 (明治二十七年五月十四日)

副議長片岡健吉君 諸君不肖健吉ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ一昨十二日衆議院副議長ノ勅任ノ宣下ヲ蒙リマシタルハ誠ニ光榮ニ存ジマス併シ不學短才ノ身此ノ榮譽アル重職ニ堪ヘザランコトヲ恐レマス何卒諸君ハ健吉ノ至ラザル所ハ御注意下サレマシテ切ニ諸君ノ御幫助ヲ冀望致シマスノデアリマス聊カ謝辭ヲ呈シマス

第七回(臨時)議會 (明治二十七年十月十六日)

副議長島田三郎君 諸君ノ御推薦ニ依リマシテ副議長ノ任命ヲ辱ウ致シマシタ甚ダ不行届デゴザイマスカラ萬事御助成ヲ願ヒマス御挨拶ヲ……

第十二回議會 (明治三十一年五月十七日)

副議長元田肇君 私ハ諸君ノ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ昨日衆議院副議長ニ勅任ノ命ヲ賜ハリマシタ御好意ニ對シマシテ感謝致シマス御承知ノ通りノ私デゴザリマスルカラシテ議長片岡君ニ副トナリマシテ自分ノ出來ル限りハ公平ニ致シマスル考デアリマス宜シク

第十三回議會 (明治三十一年十一月十日)

副議長元田肇君 諸君私モ圖ラズ諸君ノ御推薦ヲ辱ウ致シマシテ昨日衆議院副議長ニ勅任セララルノ光榮ヲ荷ヒマシテゴザイマス就キマシテハ御承知ノ通りノ不肖ナ者デゴザイマスル

ガ謹デ法律規則ヲ恪守致シマシテ職責ヲ完ウセンコトヲ期シマス爰ニ謝辭ヲ述ベマス

第十七回議會 (明治三十五年十二月八日)

副議長元田肇君 私モ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ昨日衆議院副議長ノ任命ヲ辱ウ致シマシタ御承知ノ通り甚ダ不肖ノ者デアリマスルガ諸君ノ御贊助ニ依リマシテ自分ノ職責ヲ盡シマスル考デアリマスル何分共ニ宜シク願ヒマス

第十八回議會 (明治三十六年五月十一日)

副議長杉田定一君 私ハ今般諸君ノ御推薦ニ依リマシテ一昨日副議長ノ任命ヲ辱ウ致シマシタ誠ニ光榮ノ至リデゴザイマス誠ニ不肖ノ身ヲ以テ此重任ニ當リマスルコトハ恐懼ノ至リデゴザリマスル何卒諸君ノ御補助ニ依リマシテ職責ヲ盡シタイト考ヘマスル次第デゴザイマスルデ何分宜ク御願ヲ致シマス茲ニ一言御挨拶ヲ致シマス

第二十回(臨時)議會 (明治三十七年三月十九日)

副議長箕浦勝人君 諸君諸君ノ御推薦ニ基キマシテ昨日衆議院副議長ノ任命ノ榮ヲ得マシタ就キマシテハ諸君ノ御幫助ニ依ッテ職務ヲ全ウセンコトヲ希望致シテ居リマス謹デ謝辭ヲ呈シマス

第二十五回議會 (明治四十一年十二月二十四日)

附錄 八 議長副議長ノ挨拶及議員ノ祝辭謝辭



副議長肥塚龍君 諸君諸君多數ノ御賛同ニ依リマシテ昨日ハ衆議院副議長ニ任スルノ大命ヲ受ケマシテゴザイマス微力ニシテ慣例ニ不慣レナル拙者ガ此大任ニ當リマシテ何分ニモ諸君ノ御補翼ヲ願ヒマス一言御挨拶ヲ致シマス

第二十九回(臨時)議會 (大正元年八月二十二日)

副議長關直彦君 諸君、私ハ短才不徳ナルニモ拘ハリマセズ昨日ハ諸君ノ御推薦ニ預リマシテ、午後直ニ副議長ノ恩命ヲ戴キマシタ、誠ニ不慣デゴザイマシテ、此重職ヲ完クスルヤ否ヤト云フコトハ、自ラモ信ズルコトハ出來マセヌ位デゴザイマスガ、ドウカ將來ハ諸君ノ御誘掖ニ依リマシテ、議長ヲ補佐スルノ責ヲ完ウスルコトヲ得マシタナラバ、幸甚ト存ジマスル次第デアリマス、一應御禮ヲ申上ゲマス

第二十六回議會 (大正四年五月十八日)

副議長法學博士花井卓藏君 諸君、私ハ昨十七日ヲ以チマシテ衆議院副議長タルノ勅命ヲ拜シマシタ、洵ニ光榮ニ存ジマス、而シテ是レ全ク諸君ノ御推薦ニ基クモノト存ジテ居リマス、任重クシテ力足ラズ、法令ニ通ゼズ、典故ニ熟セズ、就中禮節ニ嫻ハズ、職責ヲ完クスル上ニ於テ甚ダ憂慮致シテ居リマス、諸君ノ御指導ニ依リ庶幾クハ過ヲ少ナウ致シタイト存ジテ居リマス、謹ンデ諸君ニ敬意ヲ表シマス

第三十七回議會 (大正四年十二月二十六日)

副議長早速整爾君 諸君、私ハ諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、先刻衆議院副議長ニ任ゼラルルノ光榮ヲ荷ヒマシタ、固ヨリ淺學短才ノ者デゴザイマシテ其任ヲ竭シ能ハザランコトヲ恐ルルノデゴザイマスルガ、幸ニ諸君ノ御援助ニ依リマシテ、其職責ヲ竭サンコトヲ期シテ居リマス、茲ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス

第二十九回議會 (大正六年六月二十二日)

副議長濱田國松君 諸君、私ハ諸君ノ御推薦ニ基キマシテ、今回本院副議長タルノ任命ヲ得タルコトヲ光榮ト致シマス、御承知ノ如ク不徳短才、素ヨリ其器デアリマセヌガ、唯此任務ニ服スルニ就キマシテハ、特ニ誠意ヲ以チマシテ、憲法議院法竝ニ本院規則ノ趣旨ニ對シマシテ、特ニ忠實ナルコトヲ諸君ノ前ニ宣誓ヲ致シマス、今後諸君ノ御庇護ニ依リマシテ、議長輔佐ノ職責ヲ完ウスルコトヲ得マシタナラバ幸甚ノミ、一言御挨拶ヲ申上ゲマス

第四十三回議會 (大正九年六月二十日)

副議長粕谷義三君 私ハ昨日諸君ノ御推薦ニ依リマシテ、圖ラズモ本院副議長ニ任命セララルノ光榮ヲ忝ウ致シマシタ、御承知ノ通り微力短才ノ者デゴザイマスルガ、幸ニ諸君ノ御同情ト御援助トニ依リマシテ、此重職ヲ盡シタイト考ヘマスル、何分宜シク御願致シマス



## 第四十六回議會 (大正十二年二月十九日)

副議長松田源治君 諸君、私ハ一昨日諸君ノ御推薦ニ基キマシテ衆議院副議長タルノ勅命ヲ拜シマシタ、誠ニ光榮ニ存ジマス、諸君モ御承知ノ通り不徳短才、任重クシテ力足ラズ、其職責ヲ完ウスルコトニ付テ憂慮致シテ居リマス、唯諸君ノ御援助ニ依リマシテ、過ノ少キ事ヲ期シテ居ルノデアリマス、茲ニ謹デ御挨拶ヲ申上ゲマス

## (三) 年長議員ノ祝辭

## 第一回議會 (明治二十三年十一月二十七日)

出席年長者増田繁幸君 最年長者遠藤君ハ事故アルニ依リ私ハ次ノ年長者デアリマスルカラ茲ニ議長副議長ノ御任命アリシニ際シ代リテ聊カ其ノ健康ヲ祝シ一言祝詞ヲ呈シマス——議長君副議長君——議長副議長ハ議院ヲ代表スル榮譽アル職デアリマスガ兩貴下ハ多數ノ推薦ニヨリ候補ノ投票ニ多數ヲ得ラレ而シテ 天皇陛下ハ我々ノ希望ヲ容レテ速ニ兩貴下ヲ勅選シ給ヒシハ我々ノ太ダ満足スル所デアリマス茲ニ一同ニ代ッテ祝詞ヲ述ベマス

## 第三回議會 (明治二十五年五月四日)

最年長者安東九華君 本員ハ最高年者ノ故ヲ以チマシテ諸君一同ニ代リマシテ議長副議長ノ

任命ニ付キマシテ聊カ祝詞ヲ述ベマス議長副議長ノ榮職タルコトハ今更喋々ヲ要シマセヌ 天皇陛下ニ於キマシテ本院ノ多數ノ推薦ニ因リマシテ兩貴下ヲ議長及副議長ニ勅任シ給ヒマシタ誠ニ我々感謝ノ至リニ堪ヘザル所デアリマス仍テ兩貴下ノ榮任ヲ賀シマシテ聊カ祝詞ヲ呈シマス

## 第五回議會 (明治二十六年十一月二十七日)

最年長者安東九華君 私ハ一日諸君ニ長タルヲ以テ諸君一同ニ代ハリマシテ祝詞ヲ述ベヤウト存ジマス從三位勳二等楠本正隆君ハ本院多數ノ投票ヲ以チマシテ此ノ衆議院副議長ニ當選セラレマシタ素ヨリ副議長ノ榮職タルコトハ敢テ喋々ヲ俟チマセヌ 天皇陛下ニ於キマシテモ議院多數ノ推薦ニ依リマシテ早速ニ任命アラレマシテゴザリマス誠ニ満足ノ至リデゴザリマス依ッテ國家ノタメ楠本正隆君ノタメニ聊カ祝詞ヲ呈シマス

## 第五回議會 (明治二十六年十二月十五日)

出席年長者佐藤昌藏君 祝詞ヲ述ベマス本員ハ年長ノ故ヲ以テ三百議員ニ代リマシテ祝詞ヲ述ベマス楠本正隆君ハ衆ノ推ス所ニ依ッテ高點ヲ得ラレ 皇帝陛下ニ於テハ速ニ衆望ヲ御容レニナリマシテ今日ノ勅命デゴザリマシタハ誠ニ我々ノ満足ニ堪ヘマセヌ所デ楠本君ノ爲メニ祝詞ヲ述ベマス



第六回議會 (明治二十七年五月十四日)

最年長者安東九華君 私ハ年長タル故ニ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス楠本正隆君片岡健吉君ハ本院多數ノ推薦ニ依リマシテ正副議長ノ任命ヲ蒙リマシテ誠ニ本院一同満足ノ至リデゴザイマス因テ楠本正隆君片岡健吉君兩君ノタメニ祝詞ヲ呈シマス

第七回(臨時)議會 (明治二十七年十月十六日)

最年長者寺田彦太郎君 私ハ年長ニ依リマシテ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス楠本正隆君島田三郎君ハ本院多數ノ推薦ニ依リマシテ正副議長ノ任命ヲ蒙ラレマシタ誠ニ本院一同満足ノ至リデゴザイマス依ッテ楠本正隆君島田三郎君兩君ノタメ祝詞ヲ呈シマス

第十回議會 (明治二十九年十二月二十三日)

最年長者寺田彦太郎君 私ハ年長デゴザイマスルデ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス鳩山和夫君ハ本院多數ノ推薦ニ依リマシテ衆議院議長ノ任命ヲ得ラレマシテ誠ニ本院ノ満足スル所デゴザイマスル因テ鳩山和夫君ニ祝詞ヲ呈シマス

第十二回議會 (明治三十一年五月十七日)

最年長者寺田彦太郎君 私ハ年長デゴザイマスルデ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス帝國議會モ歲月ヲ重ネマシテ既ニ十二議會トナリマシタ稍々經驗ノ度ヲ重ネマシタ今ヤ國家内外多事ニゴ

ザイマス施政ノ整理スベキモノ國家ノ經綸ノ立ツベキモノ多々益有望ナル本議會ニ當リマシテ本院多數ノ推薦ヲ以テ議長片岡健吉君副議長元田肇君兩君ノ任命アラレマシタルハ誠ニ本院ノ満足スル所デアリマス因テ祝詞ヲ呈シマス

第十三回議會 (明治三十一年十一月十日)

最年長者寺田彦太郎君 私ハ年長デゴザイマスルデ祝詞ヲ述ベヤウト思ヒマス議長片岡健吉君副議長元田肇君兩君ニ本院多數ノ推薦ヲ以テ任命アラレマシタルハ誠ニ本院議員ノ満足スル所デアリマス之ヲ祝シマス

第十七回議會 (明治三十五年十二月八日)

最年長者富永發叔君 議長片岡健吉君副議長元田肇君私ハ本院ノ年長者デアリマスル故ニ諸君ニ代リマシテ議長副議長ノ御任命ニナリマシタル祝詞ヲ一言致サント欲シマス議長副議長ハ本院ヲ代表セラレマスル最モ榮譽アル重大ノ職務デアルト申スコトハ私ノ喋々ヲ待タヌ所デゴザイマスル兩君ニハ従前議長副議長ノ椅子ヲ占メラレマシテ老練熟達ニシテ公平ニ議事ヲ整理ナサレマスルコトハ吾ミガ明カニ承知シテ居ル次第デゴザイマス而シテ此度ハ總選舉後初メテノ議會殊ニ國家經綸ノ上ニ於キマシテ重要ナル問題モ將ニ現ハレントスル時ニ方リマシテ兩君ニハ本院ノ最多數ノ推薦ニ依リマシテ昨日議長副議長ノ御任命ニナリマシ



タルノハ吾々ノ深く満足致ス所デゴザイマスル茲ニ兩君ニ對シマシテ一言ノ祝詞ヲ呈シマス

第十八回議會 (明治三十六年五月十一日)

最年長者岩本晴之君 議長片岡健吉君副議長杉田定一君私ハ本院出席議員中年長者デアリマスルカラ先例ニ依リマシテ一同ニ代リマシテ兩君ガ本院最多數ノ推薦ニ依リ議長副議長ノ御任命ニナリマシタル祝詞ヲ呈シマス惟フニ本期議會ニ於キマシテハ前議會ニ現ハレタル同様ノ國家重要ノ問題ヲ討議スルコトト信ジマス兩君ノ老練ナル手腕ハ此間ニ於ケル職責ヲ全ウセラレベキハ吾々ノ深く信任スル所デアリマス兩君ガ議長副議長ノ御任命ニナリマシタルニ付キマシテハ吾々一同ノ欣喜ニ堪ヘザル所デアリマス茲ニ兩君ニ對シテ一言ノ祝詞ヲ呈シマス

第十九回議會 (明治三十六年十二月七日)

出席年長者對馬嘉三郎君 私ハ例ニ依ッテ年長者ノ廉ヲ以テ新任議長ニ一言呈シマス河野君ハ衆望ノ歸スル所大多數ヲ以テ當院議長ノ榮職ニ當選セラレ續イテ御裁可ヲ蒙リマシタ次第デ御光榮ノ至リト存ジマス就イテハ我が國家ノタメ當院ノタメ偏セズ黨セズ嚴肅方正ノ態度ヲ執ラレマシテ當議場ノ整理ニ盡瘁セラレンコトヲ望ミマス一言ヲ呈シマシテ祝詞ニ代ヘマス

第二十回(臨時)議會 (明治三十七年三月十九日)

最年長者岩本晴之君 議長松田正久君副議長箕浦勝人君私ハ本院議員中ノ年長者タルヲ以テ茲ニ望外ノ光榮ヲ得テ今回ノ御任命ニ對シ祝詞ヲ呈シマス議院ニ於ケル正副議長ノ任務ハ固ヨリ輕カラザルコトハ申スマデモナイコトナガラ今日ノ時局ハ更ニ一層其重大ナルヲ示スモノニシテ我帝國ガ未曾有ナル國際上非常ノ行動ヲ取ルノ時ニ當リ國民ノ輿論ヲ代表シ參政ノ責任ヲ完カラシメ議會ノ經過ト其結果ヲシテ遺憾ナキコトヲ期スルハ兩君ノ聲望ト其手腕ニ俟ツヘキハ勿論ノ事デアリマス本院ハ既ニ多大ノ推薦ニヨリ兩君ニ信賴ノ實ヲ舉ゲ兩君ハ勅命ニ依リテ茲ニ此重任ヲ荷ハルルニ至リマシタルハ誠ニ本院ノ光榮トスル所デアリマス私ハ一同ニ代リ祝詞ヲ呈シマス

第二十二回議會 (明治三十九年一月二十五日)

最年長者岩本晴之君 私ハ先例ニ從ヒマシテ年長者タルノ故ヲ以テ議員一同ヲ代表シテ議長杉田定一君ニ御挨拶ヲ申上ゲマス君ハ本院ノ衆望ニ依リ今般前議長松田正久君ノ後任トシテ補缺ニ本院議長ニ御當選ニナリマシテ去ル二十三日本院議長ニ御任命ニナリマシタル段ハ吾吾一同祝スルトコロデアリマス本期議會ハ戰後ノ經營ト豫算ニ法律案ニ重要ナル問題ガ極メテ多ク且ツ世界ノ大勢ト我國ノ發展トニ伴ヒ益々立法部ノ任務ニ至ッテモ亦重キヲ加ヘマスル



ガ此時ニ當ラレマスル君ノ御勤勞ハ實ニ察スルニ餘リアルコトト存ジマス希クハ慎重御自愛御勉勵御盡力下サルコトヲ希望シマス

第二十五回議會 (明治四十一年十二月二十四日)

最年長者岩本晴之君 此度ハ議長長谷場純孝君副議長肥塚龍君此兩君ハ本院ノ輿望ニ依リ大多數ヲ以テ長谷場君ハ衆議院議長ニ肥塚龍君ハ衆議院副議長ニ御當選ニナリマシタ尙昨日ハ宮中ニ於テ御任命ニソレトナラレマシタニ付キマシテ一應御挨拶ヲ申シ上ゲマス思フニ兩君ハ博學宏才ニシテ清廉潔白實ニ申分ナイ適任者ヲ得マシタコトデアリマス吾々一同ニ於キマシテ非常ニ大慶ニ存ジマス且ツ蓋シ上下一般ニ於キマシテモ定メシ満足ヲ致スコトト信ジテ疑ヒマセヌソレデ茲ニ議員一同ヲ代表致シマシテ——年長者ノ故ヲ以テ議員一同ヲ代表致シマシテ謹ンデ兩君ノ御當選ヲ祝シ茲ニ御健康ヲ祈リマス

第二十八回議會 (明治四十四年十二月二十五日)

出席年長者大井ト新君 私ハ年長者トシテ新任ノ議長大岡育造君ニ祝詞ヲ呈シマス今回本院最大多數ノ推薦ニ依リ長谷場前議長ノ後任トシテ議長ニ任命ニナリマシタノハ吾々一同ノ欣喜ニ堪ヘザルトコロデゴザイマス惟フニ本期議會ハ内外多事ニ際シ幾多ノ國家重要問題ヲ審議スルコトト存ジマス、立法院ノ任務益々其重キヲ加フル今日大岡君ノ達識老練ナル能ク議長

ノ重職ヲ完ウシ輿望ニ副ヘラルベキハ吾々ノ深ク信ジテ疑ハザルトコロデゴザイマス茲ニ一言御挨拶ヲ申シ上ゲ議長ノ御榮任ヲ祝シマス

第二十九回(臨時)議會 (大正元年八月二十二日)

出席年長者藏内次郎作君 諸君、私ハ本日御出席ノ議員諸君ノ年長者ト致シマシテ例ニ依リマシテ、一言申上ゲマス、今回本院ノ議長副議長候補者選舉ニ於キマシテ、大岡育造君關直彦君ハ衆望ニ依リ、最大多數ヲ以テソレト當選ノ榮ヲ得ラレ、大岡君ハ議長ニ重任、關君ハ副議長ニ御任命ニナリマシタルハ、吾々一同ノ満足スルトコロデアリマス、國家重大ノ任務ヲ荷ヘル立法院ニ於テ、老練博識ナル御兩君ガ、此重職ニ任セラレタルニ付テハ、必ズヤ其任務ヲ完ウセラレ益々憲政ノ發展ニ資セラルベキコトヲ深ク信ズルノデアリマス……

第三十一回議會 (大正三年二月七日)

出席年長者長谷川敬一郎君 諸君私ハ年長者ノ故ヲ以テ再ビ其演壇ニ登リマスルノハ如何ニモ恐縮ニ堪ヘマセヌケレドモ暫時拜借ヲ致シマス議長長谷場純孝閣下ノ御挨拶ニ對シテ一言申上ゲマスル此度閣下ハ絶對多數ノ推薦ニ依ッテ大岡君ノ後任トシテ議長ニ御任命ニナリマシタ吾々一同ノ欣幸トスル所デゴザイマス閣下ニハ既ニ前年來御經驗モアラセラレマスルコトデゴザイマスルカラ議長ノ職責ヲ全ウシ憲政ノ發展ニ付テ一層ノ光彩ヲ添ヘラルルコト



ハ一點ノ疑ヲ容レザル所デゴザイマス茲ニ私ハ御當選ヲ祝シ御挨拶トシテ一言述べマス  
同 (大正三年三月十七日)

出席年長者長谷川敬一郎君 是ヨリ私ハ諸君ニ代ッテ議長ニ御挨拶ヲ申上ゲマス奥繁三郎君  
ハ此度多數ノ推薦ニ依リマシテ議長ニ御任命ヲセラレマシタ洵ニ吾々一同ノ満足スル所デゴ  
ザイマス閣下ハ多年本院ノ議員トシテ盡瘁セラレ今又議長トナラレマシタニ付キマシテハ勿  
論此職責ヲ竭サルル上ニ於テ最モ公平無私ニシテ議場ニ臨マレルニハ一視同仁ナルコトハ吾  
吾信ジテ疑ヲ容レヌ所デゴザイマス茲ニ一言御挨拶ヲ申上ゲテ置キマス

第三十六回議會 (大正四年五月十八日)

最年長者大村和吉郎君 諸君、私ハ年長ト致シマシテ議員一同ヲ代表シテ、正副議長ノ御任命  
ニ付キマシテ茲ニ祝辭ヲ述べマスル光榮ヲ有シマス、尊敬致シマヌル、正六位勳三等島田三郎  
君ハ衆望ノ榮ヲ荷ハレ議長ノ重職ニ、同ジク勳三等法學博士花井卓藏君ハ副議長ノ重職ニ、各  
勅任ノ大命宣下ニ對シマシテ、謹ンデ祝辭ヲ呈シマス、而シテ現下有史以來未曾有ノ時局内外  
國事多端ニ際シ、立法部ノ責任モ亦其重キヲ増シ來リマスルノ今日、老練博識ナル兩君ノ御任  
命ニ接シマシタノハ、本院ノ深ク光榮ト致シマスル所デゴザイマス、國家ノ爲メ正副議長ノ御  
健康ヲ祝シマス

第三十七回議會 (大正四年十二月二十六日)

最年長者市原又次郎君 私ハ年長者ノ故ヲ以チマシテ一言祝詞ヲ呈シマス、早速整爾君ハ本  
院多數ノ推薦ニ依リ、花井君ノ後任トシテ副議長ニ御任命ニナリマシタノハ、吾々一同ノ欣喜  
ニ堪ヘザルトコロデゴザイマス、茲ニ一言祝詞ヲ呈シマス

第三十九回議會 (大正六年六月二十二日)

最年長者藏内次郎作君 諸君、私ハ年長者タル故ヲ以チマシテ先例ニ依リマシテ議員全體ヲ  
代表致シマシテ、議長副議長ニ對シ祝詞ヲ申上ゲマス、大岡君濱田君ハ今回ハ本院多數ノ推薦  
ニ依リ、議長副議長ニ御任命ニナリマシタルハ、洵ニ吾々一同ノ満足スル所デアリマス殊ニ大  
岡君ハ三度本院議長ニ重任セラレテ、十分ノ御經驗アラセラレ、又濱田君ハ多年本院議員トシ  
テ盡瘁セラレ、孰レモ老練達識ノ御方ミデアリマスカラ、其職ヲ行フニ當ッテ、間然スル所ナク  
憲政ノ穩健ナル發達ニ貢獻スル所多カルベキハ、信ジテ疑ハザル所デアリマス茲ニ謹ンデ祝  
詞ヲ呈シマス

第四十三回議會 (大正九年六月三十日)

最年長者藏内次郎作君 諸君、私ハ年長者タルノ故ヲ以チマシテ議員一同ヲ代表シテ、正副議  
長御任命ニ就キマシテ、一言祝詞ヲ述べマス、昨日本院ノ多數ヲ以テ選舉セラレタル議長候補



者奥繁三郎君ハ議長ニ、同ジク副議長候補者粕谷義三君ハ副議長ニ各々勅任セラレマシタノハ、吾々一同ノ満足スル所デアリマス、兩君ガ老練達識ノ御方デアリマスコトハ更メテ申スマデモゴザイマセヌ、吾々ハ兩君ノ手腕力量ニ信賴シテ相俱ニ憲政ヲ運用シ目下ノ時局ニ處シテ、帝國ノ國策ニ貢獻セラレンコトヲ期スル者デアリマス、茲ニ一言ヲ述ベテ兩君ノ勅任ヲ祝賀致シマス

第四十六回議會 (大正十二年二月十七日)

出席年長者齋藤壽雄君 諸君私ハ年長者ノ故ヲ以テ、議員一同ヲ代表シテ祝辭ヲ述ベヤウト存ジマス、閣下ハ從前副議長ノ職ニ在リテ公平無私ニ議事ヲ整理セラレマシタコトハ、吾々ノ深ク感謝スル所デゴザイマス、然ルニ今日新ニ全會一致ヲ以テ議長ノ候補者ニ當選セラレ、續テ任命セラレタルコトハ、吾々一同欣幸トスル所デゴザイマス、閣下ノ人格高潔ニシテ熟練達識ナル、皆人ノ知ル所デアリマス、憲政ノ發展ニ一層ノ光彩ヲ添ユルコトハ、深ク信ジテ疑ハザル所デゴザイマス、茲ニ謹デ祝辭ヲ呈シマス

議長粕谷義三君 唯今ハ年長者ヨリ本院ヲ代表サレマシテ、御懇篤ナル御挨拶ヲ辱ウ致シマシテ、洵ニ感激ノ至リニ堪ヘマセヌ、茲ニ謹デ重ネテ謝意ヲ表シ上ゲマス

第四十六回議會 (大正十二年二月十九日)

出席年長者齋藤壽雄君 諸君、私ハ年長者ノ故ヲ以テ茲ニ議員一同ヲ代表シテ、副議長松田源治君ニ祝辭ヲ述ベマス、松田君ハ今回大多數ヲ以テ副議長ノ候補者ニ當選セラレ、引續キ御任命セラレ、誠ニ吾々ノ深ク満足スル所デゴザイマス、君ハ多年衆議院議員トシテ國政ニ參與セラレ、此最適任者ヲ得タルコトハ吾々ノ大慶ニ存ズル次第デアリマス、茲ニ一言祝辭ヲ申上ゲマス

松田源治君 只今ノ祝辭ニ對シマシテハ謹デ感謝ヲ致シマス

(四) 議長副議長辭任ノ挨拶並年長議員ノ謝辭

第二十二回議會 (明治三十九年一月二十二日)

前議長松田正久君 諸君唯今議長ヨリ報告セラレタル通私ハ不肖ノ身ヲモチマシテ大命ヲ蒙リ内閣ノ末班ヲ汚スコトナリマシテ誠ニ菲才微力恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌガ此場合唯一身ヲ國家ニ致シ忠誠以テ萬一ヲ報ゼント期スルノミデゴザリマスル從ッテ職務ノ都合上衆議院議長ノ職務ヲ辭退致シタキ旨願出ダタルノニ去十九日ヲ以テ願ノ通御裁許ヲ得タノデゴザリマスル諸君ノ之ヲ諒セラレンコトヲ希ヒマス諸議長ノ在職中諸君ノ御助力ヲ受ケマシテ執務ノ上ニ大過失ナキコトヲ得マシタノハ誠ニ私ノ光榮トスルトコロデゴザリマシテ諸君ニ感謝仕ルトコロデ



アリマスル殊ニ兩度ノ軍國議會ヲ重ネマシテ當時政府ガ戰時ニ必要ナル經費及諸般ノ經畫ニ對シ諸君ト與ニ共ニ協贊ノ任務ヲ盡シマシテ其戰爭ノ國民ノ戰爭タル性質ヲ表スルノ點ニ於テ聊カモ遺憾ナカラシムルコトヲ得マシタノハ本院ノ特筆スベキ一大事項デゴザリマシテ此光榮ハ實ニ諸君ニ歸スルノデゴザリマスル而シテ又私モ聊カ之ヲ頌ツコトヲ得マスルノハ大幸ト存ズルノデゴザリマスル今ヨリ始ラク身ヲ政府部内ニ置キマスルガ憲政ノ美ヲ濟シ代議政體ノ效ヲ舉グルニ努メント欲スルノ精神ニ至ッテハ終始一貫渝ラサルコトハ神明ニ誓フトコロデゴザリマスルガ是又諸君ノ諒セラレンコトヲ希フノデゴザリマスル今ヤ將ニ後任ノ議長ヲ選舉セラレントスルニ當リ私任職中諸君ノ御同情ヲ得テ厚誼ヲ恭ウシタルトコロニ對シ聊カ感謝ノ意ヲ表スルタメニ一言ヲ呈シタノデゴザリマスル

最年長者岩本晴之君 私ハ先例ニ從ヒマシテ年長者タルノ故ヲ以テ議員一同ヲ代表シテ謹デ前議長松田正久君ニ御挨拶ヲ申述ベマス君ハ今般内閣ノ更迭ニ際シ入リテ司法大臣ノ顯職ニ御親任ヲ得サセラレマシタル段ハ御光榮ノコトトシテ吾々一同ノ深ク祝スルトコロデゴザイマス從ッテ右御入閣ノ結果トシテ本院議長ヲ辭セラレマシテ御裁可ヲ得サセラレマシタルニ付イテ唯今御鄭重ナル御挨拶ニ與リマシタルハ吾々ノ感激ニ堪ヘザルトコロデアリマス抑々君ガ御在職中ハ戰時ノ議會ニシテ上下一致國力傾倒之ニ當ラレシ最モ大切ナル時デアリマシタ此時ニ當

リ幸ヒ君ハ本院ニ議長トナリ非常ナル熱誠ト老練ナル手腕トヲ以テ能ク敏活ニ公平ニ美事職責ヲ盡サレ毫モ遺憾ナカラシメラレタハ吾々一同ノ厚ク敬謝シ且國民ノ永ク記念ニ存シ忘ルベカラザルコトト存ジマス希クハ國家ノタメ益々御奮勵アラシムコトヲ

前議長松田正久君 唯今岩本君ヨリ年長者トシテ御鄭重ナル御挨拶ヲ辱ウ致シ感激ノ至リニ堪ヘマセヌ謹デ御禮ヲ申上ゲマス

第二十八回議會 (明治四十四年十二月二十二日)

前議長長谷場純孝君 豫テ敬愛ヲ拂ヒツアルトコロノ滿場ノ諸君、本員ハ去ル八月内閣ノ更迭ニ依リ文部大臣ノ大命ヲ拜シマシテ内閣ノ末班ニ列スルコトヲ得タノデゴザイマス固ヨリ不才魯鈍誠ニ恐懼ニ堪ヘマセヌ唯一身ヲ國家ニ捧ゲ忠誠以テ報公ヲ圖ランコトヲ期スルノミデゴザイマス隨ッテ職務ノ都合ニ據リ衆議院議長ノ辭表ヲ捧呈致シマシタトコロガ御裁可ヲ得マシタノデゴザイマス願ミマスレバ去ル四十一年ノ冬諸君ノ御同情ニ依リ衆議院議長ニ推薦セラレ爾來三箇年ノ間大過無クシテ議長ノ職責ヲ盡シマシタノハ全ク諸君ノ深厚ナル御同情ト御援助ニ依リシコトト信ジマス是ニ對シテハ私ハ衷心ノ至誠ヲ捧ゲ謹デ感謝ノ意ヲ表シマスト同時ニ將來ニ於キマシテモ尙一層ノ同情ヲ垂レラレンコトヲ冀ヒマス此場合ニ於キマシテ一言諸君ニ對シテ感謝ノ意ヲ表シ併セテ御挨拶ヲ致シマス



大井ト新君 私ハ前例ニ從ヒマシテ年長タル故ヲ以テ議員一同ヲ代表シテ謹デ前議長長谷場君ニ御挨拶ヲ申述ベヤウト思ヒマス今般内閣ノ更迭ニ際シマシテ文部大臣ノ顯職ニ御親任セラレタル段ハ御光榮ノコトトシテ吾々一同ノ深く祝スルトコロデゴザイマス從ツテ御入閣ノ結果トシテ本議長ヲ辭セラレ御裁可ヲ得セラレタルニ付テ唯今御鄭重ナル御挨拶ニ與リマシタノハ吾々ノ感激ニ堪ヘザルトコロデアリマス抑々君ハ在職中熱誠ト老練トヲ以テ職責ヲ盡サレマシタノハ吾々一同ノ深く感謝スルトコロデゴザイマス冀クハ國家ノタメニ益々御奮勵アラシムコトヲ希望致シマス

前議長長谷場純孝君 唯今本院ヲ代表サレテ年長者ヨリ誠ニ痛入リマシタ御鄭重ナル御答辭ヲ拜承致シマシタ更ニ謹デ感謝ノ意ヲ表シマス

### 第三十七回議會 (大正四年十二月二十六日)

前副議長法學博士花井卓藏君 諸君、唯今議長ヨリ報告セラレマシタ如ク、本日ヲ以テマシテ辭職ノ御聽許ヲ蒙リマシテゴザイマス、在任中ハ容易ナラザル御援助ニ依リマシテ、幸ニシテ大過ナキヲ得マシタノハ、誠ニ私ニ取リマシテハ諸君ニ厚ク御禮ヲ申上ゲナケレバナラヌ點デアリマス、尙將來トモ相替ラズ御情ヲ下サラムコトヲ切望致シマス、茲ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス最年長者市原又次郎君 私ハ年長者ノ故ヲ以テマシテ議員一同ヲ代表シテ謹ンデ前副議長花井

卓藏君ニ御挨拶ヲ申述ベヤウト思ヒマス、目下幾多ノ大問題横ハツテ居ルニ拘ラズ、閣下此度ノ御辭職ハ吾々ノ深く遺憾トスルトコロデアリマス、閣下副議長トシテ御就職ノ日淺キニ拘ラズ、種々御配慮ヲ煩ハシ、常ニ公明、克ク其職責ヲ盡サレタルコトヲ感謝致シマス、茲ニ一同ニ代リ一言御挨拶ヲ申上ゲマス

### 第四十六回議會 (大正十二年二月十三日)

議長奥繁三郎君 議長ハ此際諸君ニ一言御挨拶ヲ申上ゲマス、不肖奥繁三郎諸君ノ推薦ニ依リマシテ衆議院議長ノ宣下ヲ蒙リ、以來茲ニ二年有半、以テ今日ニ至リタルハ熱誠ナル諸君御後援ノ致ス所デアリマス、實ニ感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ、而シテ任期ハ尙ホ一年有半餘ニシマシテ、私ノ心ハ竊ニ蹇々匪躬ノ節ヲ效サンコトヲ期シテ居リマシタガ、不幸ニシテ昨年春頃ニ豎ノ冒ス所トナリマシテ、荏苒歳ヲ越エテ猶愈ヘマセヌ、屢々事ヲ缺キ休養ノ已ムナキニ至リタルモ、一念君國ノ事ニ及ベバ夢寢憂慮ニ堪ヘザルモノガアリマス、病軀ヲ提ゲテ登院致シ、斃レテ後已ムノ決心ナキニアラザリシモ、若シ今日ノ如クニシテ徒ダ曠日彌久セバ、尸位素餐ノ責避クルニ所ナク、延イテハ諸君ノ倚託ニ背カンコトヲ惧レマス、因テ本日ヲ以テマシテ議長ノ重職ヲ辭シマス、是レ敢テ我が一身ノ安ヲ偷ム所以デアリマセヌ、更ニ他日ノ報效ヲ庶幾スルノ微意ニ外ナラヌノデアリマス、謹デ諸君ノ高諒ヲ仰ギマス、一言御挨拶申上ゲマス



齋藤壽雄君 私ハ年長者ノ故ヲ以テ議員諸君一同ニ代リマシテ、議長奥繁二郎君ノ御辭任ノ意ヲ表明セラレタルニ對シマシテ、謹デ御挨拶ヲ申上ゲマス、奥議長閣下ハ議員ニ當選セラルルコトガ八回、其間重ネテ議長ノ御重職ニ就カレマシタ、是レ偏ニ衆望ノ繫ル所ニシテ、常ニ熱誠ト老練ナル手腕トヲ以テ、克ク敏活ニ公平ニ其職責ヲ盡サレマシタ、然ルニ承レバ最近兎角御健康勝レズ、御靜養ノ意味ヲ以テ今回議長ノ職ヲ辭退サレルト云フコトハ、現時内外諸般ノ事項倍々多事ヲ加フルノ秋ニ際シ、寔ニ遺憾ノ次第デゴザイマス、併ナガラ御病氣ト云フニアレバ、是亦餘儀ナキ次第デアリマス、何卒國家ノ爲メ折角御攝養、一日モ早ク御恢復ノ程ヲ切ニ希望致ス次第デゴザイマス

### (五) 前議長、副議長ノ挨拶並年長議員ノ謝辭

第二十五回議會 (明治四十一年十二月二十四日)

前議長杉田定一君 諸君私ハ曩ニ短才微力ヲ以テ議長ノ重任ヲ辱ウシ本年春任期満ツルヤ尙議院法第十五條ノ命ズルトコロニ依リ議長ノ職務ヲ繼續シ其間戰後經營財政整理等ノ時局ニ當リ幸ニ大過ナクシテ職ヲ奉ズルヲ得タルハ是偏ニ前後代議士諸君ノ御援助ノ然ラシムルトコロニシテ深ク感謝スル次第デアリマス願ルニ國家最近ノ大事業ハ舉國一致ノ實ニ成リ舉國一致ハ憲

政ノ賜ニシテ將來愈々國民ノ意思堅實ニシテ立法府ノ益々健全憲政ノ益々發達センコトヲ祈リマス茲ニ謹デ在職中ノ御挨拶ヲ致シマス

最年長者岩本晴之君 私ハ本院全員中ノ年長者デアリマスカラ前例ニ依リマシテ前議長杉田定一君副議長箕浦勝人君兩君ニ御挨拶ヲ申上ゲマス兩君ハ戰後ノ經濟又戰後ノ國事多端ノ折柄ニ緩急其宜シキヲ取り議會ヲ圓滿ニ四箇年無事ニ終リ其間國家ノタメニ盡サレマシタコトハ一點ノ間然スルトコロナク上下大満足ニ一期間ヲ終リマシテ誠ニ吾々一同ニ於キマシテハ非常ニ大慶ニ存ジマス御前任中完ウ御勤メニナリマシタ御禮並ニ御名譽ノ段ヲ茲ニ併セテ謝シテ置キマス

第二十九回(臨時)議會 (大正元年八月二十二日)

前副議長肥塚龍君 私ハ不肖淺學ヲ以テ既往四年間無事ニ此重要ナル職務ヲ完クサセテ貰ヒマシタノハ、偏ニ諸君ノ御高庇ニ依ルト存ジマス、今日此職ヲ去ルニ臨ミマシテ、既往約四年間ノ諸君ノ御厚意ヲ深ク謝スルトコロデアリマス、尙此上相變リマセズ、御厚誼ノ程ヲ願ヒマス、一言御挨拶ヲ致シマス

出席年長者藏内次郎作君……又前副議長肥塚龍君ハ御在職中ハ能ク其職責ヲ完ウセラレ、國家ノタメ御盡力アリシニ對シ、茲ニ謝辭ヲ呈シマス、議員一同ニ代リマシテ、右御挨拶ヲ致シマス



第三十一回議會（大正三年三月七日）

百五十

前議長大岡育造君 私ハ昨日揣ラズモ文部大臣ノ大命ヲ拜シマシテ閣班ニ列スルコトナリマシタ誠ニ微力重任ニ堪ヘズ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌ同時ニ昨日職務ノ都合ニ依リマシテ本院議長ノ職務ヲ辭退致シマシタ直チニ御許可ヲ蒙リマシテゴザイマス願ミマスレバ明治四十四年ノ十二月諸君ノ厚キ御同情ニ依リマシテ本院議長ニ御推薦ヲ蒙リマシタ尋デ大正元年八月改選後ノ議會ニ於キマシテ再ビ當選ノ榮ヲ荷ヒマシタ次第デゴザイマス洵ニ微力短才且ツ不徳ニシテ議長ノ職責ヲ盡スニ就キマシテハ一ニ諸君ノ深甚ナル御同情ニ依リ御援助ニ依ルコトデゴザイマス殊ニ本期議會ニ於キマシテハ屢々議場ノ紛擾ヲ見マシテ甚ダ遺憾ニ存ジマス次第デアリマス併シ是モ亦諸君ノ御同情御援助ニ依リマシテ兎ニ角議事ノ進行ヲ爲スヲ得マシタ、總テ今日マデノ結果、其ノ多クハ諸君ノ賜トシテ滿腔ノ赤誠ヲ捧ゲテ感謝ヲ表シマスル次第デアリマス、尙今後モ十分ノ御同情ヲ以テ御援助アランコトヲ切ニ希望致シマス、茲ニ謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス

出席年長者長谷川敬一郎君 私ハ年長者ト致シマシテ前議長大岡育造閣下ニ一言ノ御挨拶ヲ是ヨリ申上ゲマス此度文部大臣ニ就任セラレ御入閣ノ爲メ議長ノ職ヲ辭セラレマシタニ付テ唯今鄭重ナル御挨拶ニ接シマシテ恐縮ノ至リニ存ジマス閣下ガ御在職中就本期議會ハ種々重大

ナル問題ガ出來致シマシテ屢々御心配ヲ懸ケマシタガ其都度處置宜シキヲ得テ各派共ニ満足致シテ居リマスルノハ全ク閣下ガ公明能ク其ノ職責ヲ盡サレタルニ依ルモノデアルト信ジマスル吾々感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ尙今後幾多大問題ノ横ッテ居ルニモ拘ラズ此度議長ノ職ヲ辭セラレマシタノハ實ニ吾々遺憾ニ堪ヘマセヌ併シナガラ惟フニ文部大臣ノ榮職ニ就カレマシタ以上ハ一層其技倆ヲ發揮セラレマシテ國家ノ爲ニ本院ガ失ヒマシタトコロヲ補フテ餘リアルコトト信ジマスル依テ就職ヲ祝シマスルタメニ茲ニ一言ノ御挨拶ヲ申上ゲマス



九 辭職願、死亡届、失格ノ通告（例示ニ止ム）

(一) 議長及副議長ノ辭職願竝奏上

(イ) 議長辭職奏上ノ件

衆議院議長(位勳功)某議長辭職ノ件  
右謹テ奏上ス

年 月 日

衆議院副議長 某  
衆議院書記官長 某

辭職願

某 儀

今般職務ノ都合ニ依リ衆議院議長辭職仕度此段御執奏被下度候也

年 月 日

附錄 九 辭職願、死亡届、失格ノ通告 (一)



衆議院議長 某

衆議院副議長

殿

(□) 副議長辭職奏上ノ件

衆議院副議長(位勳功)某副議長辭職ノ件  
右謹テ奏上ス

年 月 日

衆議院議長 某  
衆議院書記官長 某

辭職願

私儀

衆議院副議長辭職仕度此段奉願候也

年 月 日

衆議院副議長

某

衆議院議長

殿

(二) 議員ノ辭職願

辭職願

私儀

今般病氣ニ罹リ醫師ノ勸告ニ基キ靜養ノ必要有之到底職務ニ難堪候間辭職仕度此段奉願候也

何縣何區選出

年 月 日

衆議院議員 何

某

衆議院議長宛

(三) 死亡届

死亡届

何縣第何區選出何派所屬

衆議院議員位勳 何

某

右何地ニ於テ何々ノ爲 年 月 日午 時死亡致候間此段及御届候也



年月日

百五十六

縣 郡 町村 番地

嗣子 何 某 ㊦

衆議院議長宛

(四) 議員資格喪失ニ關スル通告

明治四十二年十月十二日家資分散ノ決定ヲ受ケタル議員某氏へ通告

本月十二日貴下ニ對スル家資分散ノ決定確定ノ旨大審院ヨリ通報有之就テハ貴下ハ衆議院議員選舉法第十一條二號議院法第七十七條ニ依リ退職者ト認メ候ニ付爲念此段及通告候也

明治四十二年十月二十九日

某 宛

議 長

書記官 長

一〇 議員資格ニ關スル報告書並照會往復

(一) 議員資格審査ノ報告書

第一 審査ヲ爲シタル場合

(一) 西山志澄君資格審査ノ件(第四回議會)

被告議員西山志澄ハ高知市外三箇所ニ於ケル地所四筆ノ外地租金拾參圓五錢六厘ヲ納ムヘキ高知市所在ノ地所ヲ植木家離退ノ際身附所有トシテ持歸リタリト云フト雖其自己ノ名義ニ書換ヘ登記ヲ經タルハ明治二十六年二月九日ニ在ルヲ以テ右地所ノ地租ハ其當日迄ハ被告ノ納稅資格ニ算入スヘキモノニ非ス又被告ハ明治二十五年八月三十日地租金九圓五拾壹錢五厘ヲ納ムヘキ高知市所在ノ地所ヲ購買シタリト云フト雖被告ハ前ニ即チ同月二十七日長岡郡高須介良兩村所在ノ地所二筆ヲ他人ヘ賣却セルヲ以テ同日ヨリ同月二十九日ニ至ル間ハ納稅資格ニ必要ナル期限ヲ中斷シタルモノノ如シ然リト雖右地所二筆ノ賣買ハ高知地方裁判所ノ判決ニ依リ全然解除セラレ且ツ其登記ハ取消サレタルヲ以テ全ク原狀ニ復シ期限ヲ中斷スルニ至ラサリシ故ニ被告西山志澄ハ滿一年以上地租拾五圓以上ヲ納ムヘキ土地ヲ所有シ之ヲ納メ仍

附錄

一〇 議員資格ニ關スル報告書並照會往復 (一)

百五十七



引續キ所有シ及ヒ納ムル者ニシテ議員タル資格ニ缺クル所ナキモノトス

(二) 高野孟矩資格審査ノ件(第十八回議會)

第一 臺灣法院判官ハ衆議院議員選舉法第十五條ノ制限内ニ入ラス

第二 高野君ハ當初抗議ヲ爲シ本院並貴族院ニ於テ之ヲ相當ト爲シタルニ拘ラス同君ハ其ノ

後ニ至リ自ラ辭表ヲ呈出シ辭任ノ意思ヲ表示シタルノミナラス事實ニ於テモ司法官ト兩立

セサル辯護士ノ職ニ從事シタルヲ以テ今日最早臺灣法院判官ノ職ニ在ラサルモノト認ム

(三) 佐竹作太郎君、根津嘉一郎君資格審査ノ件(第二十一回議會)

本件ニ於テハ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ政府ノ爲請負ヲ爲ス法人トアルハ民法第六

百三十二條ニ規定セル請負ト同意義ナルヤ將タ民法規定以外ノ意義ヲ有スルモノナリヤヲ審

究スルヲ緊要ナリトス

一 凡ソ公法中特ニ公法ノ語トシテ特有ノ意義ヲ示サスシテ私語中ノ語ヲ引用シタルトキハ

其ノ意義ハ私法中ニ用キタルモノト同一ナリト認ムルヲ當然ナリトス

一 請負ナル法語ハ法律上一定ノ意義ヲ有シ即チ民法第六百三十二條中ニ掲ケタル定義ノ通

ニシテ他ニ公法中別段ノ定義ヲ有セシメタル例ナシ

一 衆議院議員選舉法ヲ通覽スルニ民法刑法商法及破産法ノ法語ヲ用ヒタル場合少カラズ殊

ニ第二章選舉人被選舉人ノ資格ニ關スル規定ニ於テ然リトス然ルニ此ノ數多ノ法語ハ孰  
レモ其ノ關係私法ノ定義ナルニ獨リ請負ナル法語ノミ民法商法ノ定義ト異ナル意義ヲ有  
スルモノト解釋スルハ失當ナリ

一 商法第二百六十四條ニ商行爲ヲ列舉シタル第三ニ電氣又ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲トア

リ其ノ第五ニ作業又ハ勞務ノ請負トアリテ電氣ノ供給ハ請負ナル法律行爲ト明カニ區別

セラル

右ノ諸點ヲ綜合スルニ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ請負ナル法語ハ民法及商法ニ規  
定スル所ト同一意義ヲ有スルモノト斷定セサルヲ得ス

本件東京電燈株式會社ノ營業ハ電流ヲ供給スルモノニシテ民法ノ所謂或仕事ノ完成ヲ約シ其  
ノ仕事ノ結果ニ對シ報酬ヲ受クルモノニ非ス況ヤ該株式會社ハ其ノ電流ヲ公衆一般ニ供給ス  
ルヲ以テ目的トスルモノニシテ偶々政府ノ需要ニ應スルニ過キサレハ衆議院議員選舉法第十  
三條第二項ノ政府ノ爲請負ヲ爲ス者ニ非サルオヤ

依テ東京電燈株式會社ノ重役タル被告議員佐竹作太郎同根津嘉一郎ハ政府ノ爲請負ヲ爲ス會  
社ノ重役ニ非サルヲ以テ衆議院議員ノ資格ニ於テ缺クル所ナキモノト斷定スル所以ナリ

(四) 田坂初太郎君資格審査ノ件(第二十五回議會)

附錄 一〇 議員資格ニ關スル報告書並照會往復 (一一)



議員田坂初太郎君ハ明治四十一年十二月十九日廣島地方裁判所尾道支部ニ於テ私書變造行使詐欺取財被告事件ニ付重禁錮一年ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定セサルモノナレトモ衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ該當シ被選舉權ヲ有セサルモノトス  
右ノ事實及理由ニ依リ議院法第七十七條ニ則リ退職者トスルヲ相當トス

(五) 高野孟矩君資格審査ノ件(同上)

議員高野孟矩君ハ明治四十一年十二月二十六日東京地方裁判所第一刑事部ニ於テ詐欺取財被告事件ニ付重禁錮一年六月ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定セサルモノナレトモ衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ該當シ被選舉權ヲ有セサルモノトス  
右ノ事實及理由ニ依リ議院法第七十七條ニ則リ退職者トスルヲ相當トス

(六) 上出長次郎君資格審査ノ件(同上)

上出長次郎君ハ明治四十一年七月三十日衆議院議員選舉法第八十七條第一號ニ該當スルモノトシテ金澤地方裁判所ニ於テ輕禁錮四月ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルモ同氏ハ之ニ服セス名古屋控訴院ニ控訴シ其ノ裁判ハ未タ確定セサルモノナリ

衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ所謂禁錮ノ刑ナルモノハ同法第一百一條其ノ他ノ條文ニ鑑ミ選舉法以外ノ法令ニ定メタル禁錮ノ刑ヲ指定スルモノト解スルヲ相當トス故ニ上出長次郎

君ハ退職者トスヘキモノニ非ス

(七) 中村舜次郎君資格審査ノ件(第二十六回議會)

中村舜次郎君ハ明治四十二年十一月二十二日衆議院議員選舉法第八十七條第一號ニ該當スルモノトシテ横濱地方裁判所ニ於テ輕禁錮一月ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルモ同氏ハ之ニ服セス東京控訴院ニ控訴シ其ノ裁判ハ未タ確定セサルモノナリ

衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ所謂禁錮ノ刑ナルモノハ衆議院議員選舉法以外ノ法令ニ定メタル禁錮ノ刑ヲ指定スルモノト解スルヲ相當トス故ニ中村舜次郎君ハ退職者トスヘキモノニ非ス

第二 審査ヲ爲ササリシ場合

(一) 二田是儀君資格審査ノ件(第一回議會)

第一 議員ノ資格ハ議員ノ「クオリフィケーション」即チ議員ノ具フヘキ必要ノ條件ヲ稱スルモノニシテ議員選舉ノ手續ヲ包含スルモノニアラサルコトハ政府ニ於テ憲法成文ト同時ニ公ニセラレタル英譯憲法中本條ノ資格ナル文字ニ「クオリフィケーション」ナル英語ヲ用ヒタルヲ以テ知ルヘシ

第二 選舉ノ手續ハ司法ニ屬シテ裁判セシメ議院ハ單ニ議員ノ資格即チ議員ノ具フヘキ必要



ノ條件ヲ審査スルニ止マルコトハ彼ノ選舉ノ手續ニ關シテハ選舉法第二十六條第二十七條第五十二條第六十八條等ノ設ケアリテ或ハ始審裁判所或ハ控訴院ニ投票ノ手續又ハ效力ヲ判決セシメ判然立法司法ノ區別ヲ立テタルヨリ推測シ得ヘシ

第三 投票ノ有效無効ヲ審査セントスレハ勢ヒ其ノ事實ヲ求ムルカ爲ニ人民ヲ召喚シ又ハ議員ヲ派出シテ先ツ其ノ事實ノ眞偽ヲ審査セサルヘカラス然ルニ議院法第七十三條ニ「各議院ハ審査ノ爲ニ人民ヲ召喚シ及議員ヲ派出スルコトヲ得ス」トアリテ議院ハ其ノ手續ヲ盡ス能ハス是レ衆議院ハ其ノ議員タル資格ノ有無ヲ法律ニ據リ審査スルノ職權アルモ事實ニ據リ投票ノ有效無効ヲ審査判定スルノ權限ナキ確證ナリ

第四 貴族院令第九條ニ「貴族院ハ其ノ議員ノ資格及選舉ニ關スル爭訟ヲ判決ス」トアリテ議員ノ資格ト選舉トハ判然タル區別アリ而シテ議院法第七十八條ニハ單ニ衆議院ニ於テ議員ノ資格ニ付云々トアリ然ラハ衆議院ハ選舉ノ事ヲ判定スヘキ權限ナキコト明カナリ

第五 衆議院ニ其ノ議員ノ選舉手續ニ關スル判定權アリトセハ貴族院議員資格及選舉爭訟判決規則ノ如キ規定ナカルヘカラス然ルニ其ノ規定ナキハ其ノ權限ナキ一證ナリ

第六 選舉法第七十八條ニ當選訴訟ノ期限ヲ制限シテ當選人ノ姓名告示ノ日ヨリ三十日以内トセリ若シ選舉ノ有效無効ノコトヲ資格審査トシテ衆議院カ判定スルノ權限アリトスレハ

何時ニテモ議員ヨリ異議ノ申立アルニ於テハ當選ノ有效無効ヲ判定シ得ヘキモノトナリ三十日ノ制限ハ實際冗文トナルヘシ立法者ノ立法ノ精神豈ニ如斯冗文ヲ設クルモノト解釋スルヲ得ンヤ若シ此ノ七十八條ヲ有效ナラシムル様解釋スレハ衆議院ニ於テ資格審査ヲ名トシ投票ノ有效無効ヲ判定スヘキ權限ナキモノトセサルヘカラス

第七 憲法議院法選舉法等ノ大體ヨリ解釋スレハ選舉ノ手續ヲ履行スルハ行政部内ニ屬シ選舉手續ノ有效無効ヲ判決スルハ司法部内ニ屬シ正當ノ手續ヲ履ミ議員トナリタル後其ノ人ノ議員タル資格即チ身分ヲ具備スルヤ否及其ノ資格ヲ失ハサルヤ否ヲ審査スルノ權ハ議會其レ自身ニ屬シ三種各區分ヲ爲ササルヘカラス而シテ選舉ノ手續即チ投票ノ有效無効ヲ判決スルハ其ノ性質司法ノ權内ニ屬スヘキモノナリ

第八 選舉ノ手續ニ付議院ト裁判所ト抵觸シタル場合ニ如何ナル手續ヲ履ムヘキヤノ規定ナシ今若シ同一ナル選舉ノ手續ニ付裁判所モ衆議院モ判定ノ權限アリトセハ雙方ノ意見抵觸スル場合ニ如何トモスル能ハス蓋シ如斯不都合ナル規定ヲ立法官ニ於テ設ケタルモノト解釋スヘカラス果シテ然ラハ選舉ノ手續及投票ノ效力等ニ付裁判所カ判定ノ權限アリトスレハ衆議院ハ其ノ判定ノ權限ナキヲ推測シ得ヘシ

第九 投票有效無効ハ單ニ被選人タル議員ノ權利ノミニ關係スルモノト看做スヘカラス之ヲ



投票シタル選舉人ノ選舉權ノ消長ニ影響スルコト大ナリ若シ衆議院ニ投票ノ有效無效ヲ判定スヘキ權限アリトスレハ衆議院ハ議院ノ外ニ於テ選舉人ノ權利ニ就キ裁判權ヲ有シ其ノ權利ヲ消長シ得ヘキモノトナルヘシ衆議院カ院外人ノ權利ヲ裁判スルカ如キハ決シテ爲シ能ハサルナリ

(二)赤松新右衛門君資格審査ノ件(同上)

一本案ハ明治二十三年七月一日茨城縣第四區衆議院議員選舉會ニ於テ選舉長ハ森隆介君ノ得點六百二十一點ヲ以テ最高點ヲ得タルモノト宣告シ同年七月六日同縣知事ハ其ノ當選確定ノ告示ヲ發シ尙同月十一日當選證ヲ森隆介君ニ付與シタリシカ是レヨリ先キ選舉長カ明治二十三年七月三日赤松新右衛門君ノ得點ニ係ル投票廿七點ヲ無効ト決定シ及投票一點ヲ他人ノ得點ニ計入シ合計廿八點ヲ減シタルニ付新井球三郎君外一名ハ其處分ニ付異議ヲ爲シ同月九日選舉長ヲ對手トシテ投票效力決定ノ件ヲ水戸始審裁判所下妻支廳ヘ起訴シ水戸始審裁判所下妻支廳ハ同月廿二日右廿八票ヲ以テ何レモ赤松新右衛門君ノ得點ト判定シタルヲ以テ赤松新右衛門君ノ得點ノ合計六百三十七點トナリ森隆介君ノ得點ニ勝サル十六點トナルノ結果ヲ生シタリ

一選舉長長河田景雄君ハ明治廿三年七月廿四日前項ノ結果及赤松新右衛門君ノ當選人タル

コトヲ茨城縣知事安田定則君ニ届出テ明治廿三年八月一日茨城縣知事安田定則君ハ一方ニ於テ森隆介君ノ當選ヲ取消シ一方ニ於テハ赤松新右衛門君ノ當選ヲ告示シ同人ヘ當選狀ヲ付與シタリ

一森隆介君ハ前項ニ掲ケタル茨城縣知事ノ取消處分ヲ不法トシ明治二十三年八月日未詳東京控訴院ヘ不法告示取消ノ訴訟ヲ提起セリ然ルニ東京控訴院ハ茨城縣知事カ森隆介君當選告示ヲ取消シタルハ不法ニアラスト判決セリ

一本案ニ於テ論争スル處ハ異議申立書及答辯書ニ審カナル如ク左ノ數項ニ外ナラス

第一 行政官カ一日當選確定ノ告示ヲナシ當選狀ヲ付與シタル後他ニ高點者アリトシテ其處分ヲ取消スノ權限アリヤ否ヤ

第二 東京控訴院ニ於テ内閣ノ裁可ヲ經スシテ茨城縣知事ノ當選取消處分ヲ不當ニアラスト裁判セシハ正當ナリヤ否ヤ

第三 茨城縣知事ノ當選取消處分及東京控訴院ノ裁判ニ依リ其取消處分ヲ正當ナリト認めラレタルニ係ラス森隆介君ニ於テ當選狀ヲ有スル以上ハ當選訴訟ヲ以テ取消ササルニ非ラサレハ當選者ト認め可キヤ否ヤ

以上ノ論點ヲ按スルニ第一第二ハ何レモ當選ノ手續ニ付キ行政官ノナシタル行政處分ノ當



否司法官ノナシタル裁判ノ正當不正當ニ付キ争フモノ又ハ第三ハ行政司法ノ處分ヨリ及キ  
シテ當選ノ效力如何ヲ論スルモノニ止リ議員ノ資格即チ議員ノ具フヘキ必要ノ條件ヲ具備  
スルヤ否ヤニ付異議アルモノト認メサルニ付キ本院ハ之ヲ議員ノ資格トシテ議院法第七十八  
條ニ依リ審査スヘキ限リニアラストス何トナレハ若シ夫レ議院法第七十八條ニ所謂議員ノ  
資格ナル文字中ニ正當ナル選舉手續有效ナル投票ノ多數等當選ニ關スル一切ノ事柄ヲ包含  
スルモノトシ本案争點ノ如キ行政官ノ行政處分ノ當否司法官ノ確定裁判ノ正當不正當迄ヲ  
審査スルニ至テハ單ニ議員而已ノ權利ニ關セス行政官ノ行政權限司法官ノ裁判ノ効力ヲ左  
右スルニ至リ三權分立ノ精神ニ背反スルニ至ル可ク立法ノ精神決シテ如スキモノト解釋ス  
ルヲ得サレハナリ

(二) 議員資格ニ關スル裁判確定ノ通報方ニ關スル回答

議員資格ニ關スル裁判ノ言渡通報方ニ關シ林田書記官長ヨリ平沼司法省民刑局長へ照會ニ對ス  
ル回答

衆議院議員ニシテ禁治産準禁治産ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判効力ヲ生シタルトキ家資分散又ハ破産ノ宣  
告確定シタルトキ及禁錮以上ノ刑ノ言渡ヲ受ケタル場合ニ於テ貴官ニ通報方ノ儀ニ付本日別紙寫

ノ通裁判所ニ訓令相成候條右様御了知相成度此段及通牒候也

(別紙)

司法省民刑甲第五一號

裁 判 所

衆議院議員ニシテ左記第一乃至第三ノ各號ノ所ニ該當スルモノアルトキハ第一第二ニ付テハ確定  
ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ長又第三ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ長(區裁判所ノ一人ノ  
判事又ハ監督判事ヲ包含ス)ヨリ其都度速ニ衆議院書記官長ニ通報スヘシ

右訓令ス

明治四十二年三月五日

司法大臣 子爵 岡 部 長 職

左 記

- 一、禁治産又ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケ其裁判効力ヲ生シタルトキ
- 二、家資分散又ハ破産ノ宣告確定シタルトキ
- 三、禁錮以上ノ刑ノ言渡ヲ受ケタルトキ

(此ノ項ハ明治四十三年法律第六十號ヲ以テ衆議院議員選舉法第十一條第四號削除ノ結果

附錄

一〇 議員資格ニ關スル報告書並照會往復 (二)



四、帝國議會開會中選舉訴訟若ハ當選訴訟ニ關スル裁判確定シタルトキ  
(此ノ項ハ大正五年十一月九日司法省法務局民第一七〇一號ニテ追加)

五、衆議院議員選舉法第百一條ニ該當スルトキ及同法ニ依ル選舉犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラ  
レ被選舉人タルコトヲ禁スルノ裁判確定シタルトキ  
(此ノ項ハ大正八年十二月二十四日司法省刑事局刑甲第一四五五號ニテ追加)

### (三) 補闕選舉ノ請求ニ關スル照會及回答

林田書記官長ヨリ内務次官宛照會(明治四十二年六月十八日)  
衆議院議員ニシテ選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ當選無効トナリタルトキ又ハ其選舉ニ關  
スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキハ選舉ノ日ヨリ一箇年以内ナルト  
以後ナルトニ不拘衆議院議員選舉法第七十條ニ依リ直ニ補充ノ手續ヲ爲スヘキモノニシテ議院  
法第八十四條ニ依リ衆議院議長ヨリ補闕ノ請求ヲ爲スヲ要セサル儀ト存候得共爲念御省議承知  
致度此段及御照會候也

右照會ニ對シ内務次官ノ回答(明治四十二年六月十九日内務省衆甲第二七號)

衆議院議員ニシテ選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ當選無効トナリタルトキ又ハ其選舉ニ關  
スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキニ於ケル補充方法其他ノ件ニ就キ  
御照會ノ趣了承右ハ本省ニ於テモ御來旨ノ通省議決定致居候間右様御承知相成度此段及御回答  
候也

### (四) 當選證書取消ノ際通報方照會及回答

林田書記官長ヨリ内務次官宛照會(明治四十二年六月十八日)

衆議院議員選舉法第七十六條ニ依リ地方長官ニ於テ衆議院議員ニシテ選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ  
判決ニ依リ當選無効ト爲リタル者又ハ其選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効  
ト爲リタル者ニ對シ其當選證書ヲ取消シ之ヲ管内ニ告示シタル場合ハ其都度本局へ通報相成候  
様御取計有之度此段及照會候也

右照會ニ對シ一木内務次官ノ回答(明治四十二年六月二十二日内務省衆甲第二八號)

衆議院議員選舉法第七十六條ニ依リ地方長官ニ於テ當選證書ヲ取消シ管内ニ告示シタル場合通  
報方ノ件御照會ノ趣了承右ハ本省へ報告ノ都度直ニ御通報可申候間御了知相成度此段及回答候



也

## 一一 議決又ハ要求ニ對スル政府ノ覆牒

### (一) 憲法第六十七條ニ依レル修正議決ニ對スル政府ノ覆牒

第一回議會 (明治二十四年二月二十四日)

衆議院ハ明治二十四年度歲計豫算ニ對シ確定議ノ前ニ當リ憲法上ノ手續ニ隨ヒ政府ニ同意ヲ求メタリ

政府ハ之ヲ審査スルニ修正案ハ官制ヲ變革セントスルノ點ニ於テ豫算議定權ノ區域ヲ超越シタリ

法律ノ結果ニ關スル歲出及契約ノ義務ニ屬スル歲出ヲ廢除削減セントシタルハ政府ノ同意セサル所ナルノミナラス法律ノ正文ヲ以テ規定シタル事件ヲ豫算ニ依リテ變革セントスルハ又其ノ分界ヲ誤レリ

況ンヤ削減セル金額ニ對シ政府ハ及フ丈ケ議院ノ議決ヲ敬重スルノ方向ヲ取ルコトヲ怠ラサルヘシト雖モ此ノ如キ豫算ノ變更ハ行政ノ責ニ當ルモノノ實施シ能ハサル所ナリ茲ニ議院ノ再考ヲ望ム

附錄

一一 議決又ハ要求ニ對スル政府ノ覆牒 (一)



第四回議會 (明治二十六年一月十七日)

政府ハ憲法第六十七條ノ歲出ニ關スル衆議院ノ要求ニ對シ不同意ヲ表シタルニ拘ラス今復タ政府ノ再考ヲ求メラレタルモ政府ハ斷シテ不同意ヲ表セサルヲ得ス  
同上 (同日)

憲法第六十七條ノ歲出ニ關シ政府ハ既ニ憲法ノ明許セル權能ニ依リ不同意ヲ表シタルニ拘ラス政府ノ再考ヲ請求セラレタルニ因リ政府ハ再應不同意ヲ表シタルニ今復五日間休會シテ政府ノ處置ヲ待ツヘシトノ決議通牒ニ接セリ政府ハ憲法保障ノ歲出ニ付不同意ノ理由並政府自ラ處置スルコトナキ理由ハ既ニ之ヲ辯明シタル以上政府ノ意見ハ終始一貫更ニ異動ナキ事ヲ斷言ス

(二) 國務大臣出席ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒

第一回議會 (明治二十三年十二月十八日)

昨日貴院ノ決議ニ依リ更ニ答辯御請求有之候處本大臣ニ於テハ既ニ昨日答辯シ盡キタリト信シ候ニ付御求メニ應シ難ク此段及回答候也

同上 (明治二十四年二月三日)

政府ハ豫算問題ノ範圍外ニ於テ工商諸會社ニ對スル保護政策ノ方針如何ノ質問ハ議院法第四十

八條ニ依リ主意書ヲ以テ質問アランコトヲ望ム

政府ハ議院ト共ニ法律ノ明文ヲ遵守スルノ義務ヲ有ス依テ前陳ノ覆牒ニ及フモノナリ

第四回議會 (明治二十五年十二月七日)

二十五年十二月三日及同月五日ノ通牒ニ於テ貴院ハ國務大臣ノ出席ヲ請求セラレタリ國務大臣ハ何時ニテモ衆議院ニ出席スルノ權ヲ有スルカ故ニ其ノ出席ノ爲ニ特ニ貴院ノ請求ヲ煩ハスヲ要セス此段覆牒ニ及ヒ候也

第五回議會 (明治二十六年十二月十六日)

二十六年十二月十五日ノ通牒ニ於テ貴院ハ國務大臣ノ出席ヲ請求セラレタリ國務大臣ハ何時ニテモ各議院ニ出席ノ權ヲ有スルカ故ニ其ノ出席ノ爲ニ特ニ貴院ノ請求ヲ煩ハスヲ要セス此段覆牒ニ及ヒ候也

第六回議會 (明治二十七年五月二十八日)

鈴木充美君外二名提出判事ノ退職ニ關スル質問ニ對スル本大臣答辯ノ旨趣ハ曩ニ提出シタル答辯書ニ盡シタルコトヲ信スルヲ以テ更ニ議院ニ出席シテ辯明スルノ必要ヲ認メス

(三) 政府委員交換ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒



第一回議會 (明治二十四年二月二日)

百七十四

政府委員ハ其ノ權限内ニ於テ答辯シ又ハ答辯セサルノ自由ヲ有スル者ニ就キ政府ハ一ツノ政府委員カ議員ノ問ニ答辯セサルヲ以テ理由トナシ之ヲ交換スルコト能ハス

(四) 勾留中ノ議員ニ關スル決議及司法大臣ノ覆牒並通知

第一回議會 (明治二十三年十二月四日)

衆議院議員ニシテ會期前ニ逮捕セラレ開會ノ後仍勾留中ノ者ハ衆議院ノ許諾アルニ非サレハ引續キ勾留スルコトヲ得ス

右決議(議長ヨリ司法大臣ニ送付セリ)ニ對シ司法大臣ノ覆牒

本大臣ハ憲法ノ明文ニ從ヒ司法權ノ施行ヲ爲サシムルノ外已ニ著手シタル刑事訴追ヲ停止セシムルノ權ヲ有セス從テ他ノ權勢ノ諾否ニ因リ司法權ノ必要ナル處分ヲ張弛セシムルコト能ハス故ニ議會ノ議決ニ對シテ何等ノ關係ヲ有スルコトナシ

召集ノ前日右勾留中ノ議員ニ對スル通知

衆議院議員當選者森時之助ハ當今委託物費消被告事件ニ付東京地方裁判所ニ於テ審問勾留中ニ有之候依ツテ此段及通知候也

明治二十三年十一月二十四日

司法大臣 伯爵山田顯義

衆議院書記官長 曾禰荒助殿

同上議員刑ノ宣告ヲ受ケタルトキノ通牒

去月二十四日付衆議院書記官長宛ヲ以テ及御通牒置候森時之助被告事件ハ本日落著依託金費消罪ニシテ刑法第三百九十五條ニ依リ重禁錮一箇年ノ刑ニ處セラレ候此段及御通知候也

明治二十三年十二月四日

司法大臣 伯爵山田顯義

衆議院議長 中島信行殿

附錄

一一 議決又ハ要求ニ對スル政府ノ覆牒 (四)

百七十五



一一 議案ノ提出、送付、奏上其ノ他ノ様式

(一) 議長副議長候補者奏上ノ形式 (用紙鳥ノ子)

議長候補者

氏

氏

氏

副議長候補者

氏

氏

氏

名

名

名

名

名

名

右議院法第三條ニ依リ本院ニ於テ選舉セリ因テ奏上相成度候也

年月日

書記官長印

附錄 一一 議案ノ提出、送付、奏上其ノ他ノ様式 (一)



內閣總理大臣宛

同添書案 (用紙美濃)

議長候補者選舉概況

第一回投票ニ於テ過半数得點

決選投票ニ於テ多數得點

何 何

何 何

何 何

何 何

何 何

何 何

何 何

何 何

何 何

氏 氏

氏 氏

氏 氏

氏 氏

氏 氏

氏 氏

氏 氏

氏 氏

氏 氏

氏 氏

副議長候補者選舉概況

第一回投票ニ於テ過半数ヲ得タル者ナク多數得點者左ノ六名ニ付決選投票ヲ行フ

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 點 | 點 | 點 | 點 | 點 |
| 氏 | 氏 | 氏 | 氏 | 氏 |
| 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |

(二) 政府提出議案提出文ノ形式

(甲) 某案(法律案、豫算案、豫算追加案及決算)

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

年 月 日

內閣總理大臣 某  
主務大臣 某

(乙) 大正年勅令第何號(又ハ豫備金、豫算超過、豫算外支出ノ件)

右憲法第八條第二項(又ハ憲法第六十四條第二項、憲法第七十條第二項)ニ依リ承諾ヲ求ムル

附錄 一二 議案ノ提出、送付、奏上其ノ他ノ様式 (二)



爲

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

年月日

各大臣 連署

(三) 議員提出議案及修正案提出文ノ形式

某案(法律案、上奏案、建議案、決議案及是等ニ對スル修正案)

右成規ニ據リ提出候也

年月日

提出者 某  
贊成者 某

(四) 政府提出議案緊急議決ノ要求、修正、撤回及正誤ノ様式

(一) 議院法ノ規定ニ依レル要求

某案

右法律案ハ緊急ノ事件ニ付議院法第二十七條但書及第二十八條但書(又ハ單ニ第二十七條但書若ハ第二十八條但書)ニ依リ議定相成度此段及要求候也

年月日

內閣總理大臣 某

議長宛

(備考)

第四回議會ニ於テ兩條但書ニ依リ要求セルトキ其ノ但書ニ依リノ下ニ議會ノ順序ヲ省略シ且委員ノ審査ヲ經スト記載シタリ  
又第二十三回議會ニ於テ第二十八條但書ニ依リ要求セルトキ右ノ下「法律案ハ緊急ノ事件ニ付」ヲ省ケリ

(二) 單ニ緊急事件トシテノ要求(口頭又ハ書面)

某案ハ緊急事件トシテ議決相成度此段及要求候也

年月日

內閣總理大臣 某

議長宛

附錄 一二 議案ノ提出、送付、奏上其ノ他ノ様式 (三、四)



某案 (三) 修正

右議院法第三十條ニ依リ別紙ノ通修正ス  
年月日

内閣總理大臣 某  
主務大臣 某

某案 (四) 撤回

右議院法第三十條ニ依リ撤回ス  
年月日

内閣總理大臣 某

(五) 正誤  
年月日

衆議院書記官御中

内閣書記官

正誤通知

某案印刷物中

頁行「某」ハ「某」ノ誤(又ハ「脱ス」「衍」)

(五) 議案ノ送付、回付、通知等ノ様式

(以下總テ衆議院議長ヨリ貴族院議長ニ宛ツルモノトス)

(一) 送付  
(イ) 政府提出議案(豫算案、豫算追加案、法律案)

某案

右政府提出案(豫算案ハ政府提出案ヲ省ク)本院ニ於テ可決(修正議決)セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及  
送付候也

年月日

(ロ) 事後承諾案

勅令第何號(又ハ豫備金、豫算超過、豫算外支出ノ件)

附録 一二 議案ノ提出、送付、奏上其ノ他ノ様式 (五)



右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
年月日

(ハ) 兩院協議會成案

本院ハ某案兩院協議會ノ成案ヲ可決セリ因テ議院法第五十六條ニ依リ及送付候也  
年月日

(ニ) 本院提出案某案

某案

右本院提出案及送付候也

年月日

(二) 回付

某案

貴族院送付政府提出議案及貴族院提出議案

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案(又ハ貴院提出案)本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十

五條ニ依リ及回付候也

年月日

(三) 兩院協議會請求

某案

右案ニ付本院ハ貴院ノ修正(又ハ議決)ニ同意セサルコトニ決議セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求候也

年月日

(四) 通知(貴族院へ)

(イ) 政府提出議案

一、前議ノ場合

某案

右政府提出案本院ニ於テ否決セリ因テ及通知候也

年月日

二、後議ノ場合

附錄

一二 議案ノ提出、送付、奏上其ノ他ノ様式 (五)